

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E-00	図面目録	—			
E-01	電気設備工事 特記仕様書（１）	—	A-01	建築工事 特記仕様書	—
E-02	電気設備工事 特記仕様書（２）	—	A-02	防球ネット平面図・共通仮設図	S=1/200
E-03	配置図、付近見取図	S=1/1000	A-03	防球ネット展開図	S=1/200
E-04	サッカー場照明配線系統図	—	A-04	防球ネット詳細図（No. 9～No. 10）	S=1/50・100
E-05	構内配線図	S=1/400	A-05	防球ネット詳細図（No. 2～No. 3）	S=1/50・100
E-06	サッカー場照明柱配置・配線図	S=1/250	A-06	防球ネット詳細図（No. 18～No. 19）	S=1/10・50・100
E-07	照明柱点灯パターン図	—	A-07	防球ネット詳細図（No. 26/No. 27）	S=1/10・50・100
E-08	受変電設備単線結線図（改造）	—			
E-09	受変電設備配置・立面図（改修前・後）	S=1/30			
E-10	照明操作盤結線図・参考姿図	S=1/10・20			
E-11	照明柱盤結線図・参考姿図	—			
E-12	照明柱参考図（１）・照明器具参考図	S=1/50			
E-13	照明柱参考図（２）	S=1/50			
E-14	照明柱参考図（３）	S=1/50			
E-15	照度分布図	S=1/250			

電 気 設 備 工 事 仕 様 書

I. 工 事 概 要

1 工事場所 東伯郡琴浦町田越560

2 建物概要

番 号	建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備 考
1	サッカー場（屋外）				() 項	
2	WC棟（電気室）				() 項	
3					() 項	
4					() 項	
5					() 項	

3 工事種目 (☉印の付いたものが対象工事種目)

番 号	1	2	3	4	5	屋外	備 考
工事種目							
☉電 灯 設 備	○						
☉動 力 設 備	○	○					照明幹線
●電 熱 設 備							
●雷 保 護 設 備							
☉受 変 電 設 備		○					既設改造
●電 力 貯 蔵 設 備							
●発 電 設 備							
●構内情報通信網設備							
●構 内 交 換 設 備							
●情 報 表 示 設 備							
●映 像 ・ 音 響 設 備							
●拡 声 設 備							
●誘 導 支 援 設 備							
●テレビ共同受信設備							
●監 視 カ メ ラ 設 備							
●駐 車 場 管 制 設 備							
●防犯・入退室管理設備							
●火 災 報 知 設 備							
●中央監視制御設備							
●医 療 関 係 設 備							
●機 械 設 備 工 事							
●建 築 工 事							
☉構 内 配 電 線 路						○	
●構 内 通 信 線 路							
●テレビ電波障害防除設備							

4 設備概要 (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)

☉の付いたものを適用する。

電 灯 設 備	●電 気 方 式 ●非 常 用 照 明 器 具 ●誘 導 灯	幹線 ● 単相3線式100／200V ● 直流2線式100V 分岐 ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 直流2線式100V 光源 ● LED ● 白熱灯 ● 電源 ● 電池内蔵形 ● 電源別置形 ● 避難口 ● 階段通路 ● 廊下通路 ● 室内通路 ●
動 力 設 備	☉電 気 方 式	幹線 ☉ 三相3線式200V ● 単相2線式200V ● 単相3線式100／200V 分岐 ● 三相3線式200V ☉ 単相2線式 (● 100V ☉ 200V)
雷 保 護 設 備	●受 雷 部 ●避 雷 導 線 ●接 地 極	●突針 ● 横上げ導体 ● その他金属体 () ● 建築構造体利用 ● 引下げ導線 ● 建築構造体利用 ● 接地極埋設
受 変 電 設 備	☉電 気 方 式 ●契 約 電 力 ☉設 備 方 式 ☉機 器 類	高压 三相3線式 6.6kV 低圧 ☉ 三相3線式200V ● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) 改修工事 既存設備 ● kW 新営工事 ● 100kW未満 ● 100kW以上500kW未満 ● 500kW以上 ☉屋内形 ● 屋外形 ●キュービクル式配電盤 (☉PF形 ● CB-1形 ● CB-2形) ● 高压スイッチギア、変圧器盤 (CB-3形) 変圧器 三相100・(150)kVA、単相 (30)kVA ☉ 油入 ● モールド 主遮断器 ☉ 限流ヒューズ ● VCB
電 力 貯 蔵 設 備	●直 流 電 源 装 置 ●交 流 無 停 電 電 源 装 置 (UPS)	用 途 ● 非常用照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ● 受変電設備制御電源専用 ● 非常用照明器具電源専用 蓄 電 池 ● H S 形鉛蓄電池 ● M S E 形鉛蓄電池 ● (Ah) 形 式 ● 標仕によるUPS ● 簡易形UPS 用 途 ● 電算機用 ●

発 電 設 備	●自 家 発 電 装 置 ●太 陽 光 発 電 装 置 ●風 力 発 電 装 置	電 気 方 式 三相3線式 ● 6.6kV ● 210V 機 器 類 形 式 ● キュービクル形 ● 簡易形 ● オープン形 発電機 (kVA以上) 原動機 ● ディーゼル ● ガスタービン 防 油 堤 ● コンクリート製 ● 鉄板製 (● 本工事 ● 別途工事) モジュール ● 結晶シリコン ● 薄膜 ● 風 車 ● プロペラ形 ●
通 信 情 報 設 備	●構内情報通信網設備 ●構 内 交 換 設 備 ●情 報 表 示 設 備 ●映 像 ・ 音 響 設 備 ●拡 声 設 備 ●誘 導 支 援 設 備 ●テ レ ビ 共 同 受 信 設 備 ●監 視 カ メ ラ 設 備 ●駐 車 場 管 制 設 備 ●防 犯 ・ 入 退 室 管 理 設 備 ☉自 動 火 災 報 知 設 備 ●自 動 閉 鎖 設 備 ●非 常 警 報 設 備 ●ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	●機器 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ●交換機 ● 局線中継台 ● 電話機 ● ボタン電話装置 ● 配管のみ ● 配管及び配線 ●マルチサイン装置 ● 出退表示装置 ● 時刻表示装置 ●増幅器 ● スピーカー ● プロジェクタ ● スクリーン ● その他 () 用 途 ● 一般放送 ● 非常放送 ● 個別放送 ●音声誘導装置 ● 身体障害者用インターホン装置 ● トイレ等呼出し装置 ●インターホン ● テレビインターホン ● ナースコール ●アンテナ (● UHF ● BS ● CS) ● CATV ●カメラ ● ビデオモニタ ● タイムラプスVTR ● 配管のみ ● 配管及び配線 車両検知方式 ● 光線式 ● ループコイル式 機器 (● 本工事 ※ 別途工事) 配管 (※ 本工事 ● 別途工事) 配線 (● 本工事 ※ 別途工事) ●受信機 (● P型 ● R型) ● 副受信機 ● 中継器 ☉ 感知器 ● 空気管 運動制御器 (回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体) 感知器 (● 共用 ● 専用) 複合装置 ● 一体形 (※ 一般型 ● 防雨型) ● 単独 受信機 (回線 ● 単独 ● 火報受信機と一体 ● LPガス用 ● 都市ガス用)
中 制 央 監 御 監 視 設 備	●形 式 ●監 視 制 御 対 象 設 備 ●伝 送 方 式	●警報盤 ● 表示操作盤 ● 監視制御装置 ●動力設備 ● 受変電設備 ● 自家発電設備 ● 防災設備 ● 照明制御 ● 給排水設備 ● 空調設備 ●アナログ方式 ● デジタル方式
構 内 配 電 線 路	●電 気 方 式 ●施 工 方 法 ●外 灯 点 滅 方 式	三相3線式 (● 6.6kV ● 200V) ● 単相3線式100／200V ● 単相2線式 (● 100V ● 200V) ● 地中埋設式 ● 架空線式 ● 手動 ● 自動 (● タイマー ● 自動点滅器 ● 中央監視)
構 信 内 線 通 路	●用 途 ●施 工 方 法	●電話用 ● 時計拡声用 ● 火災報知用 ● インターホン用 ● 情報通信網用 ● CATV ● 地中埋設式 ● 架空線式

II. 特 記 仕 様

1 一 般 事 項

- (1)現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち☉印の付いたものによる。
- ☉公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）
- ☉公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
- ☉公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準図」という。）
- (2)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。
- (3)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの標準仕様書等及び監理指針を適用する。

2 特 記 事 項

- (1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2)特記事項のうち選択する事項は☉の付いたものを適用する。
- ☉の付かない場合は、☉印の付いたものを適用する。☉と☒の付いた場合は共に適用する。
- (3)一般共通事項のうち () 項は、● 建築 ● 機械設備 工事仕様書による。

	項 目	特 記 事 項															
一 般 共 通 事 項	①官公署その他への手続	工事の施工に伴い必要な官公署その他への手続き、検査並びにその費用は、請負者の負担とする。															
	②電気保安技術者	電気保安技術者の資格は標準仕様書第1編第1章第3節1.3.2によるものとし、一般用電気工作物に係る工事についても、自家用電気工作物の場合と同様の業務を行うものとする。															
	③電気工事士	資格の区分 ㊦ 1種 ※ 2種															
	④工事安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。															
	⑤発生材の処理等	引渡しを要するもの ※ 無し ● 有り (● 機器類 ● 配管材料 ●) 引渡しを要するもの以外は、構外搬出適切処理とする。 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り (● PCB使用機器 ●) PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 再生資源の利用を図ると指定されたもの ※ 無し ㊦ 有り (㊦ コンクリート塊 ● 鉄筋コンクリート塊 ㊦ アスファルト・コンクリート塊 ● 建設発生木材 ● 蛍光管 ●)															
	⑥施工図等	提出した施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は発注者に移譲するものとする。															
	⑦完成写真等	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成24年版）」によるほか監督職員の指示による。 下記ものを提出する。															
		<table><tr><th>区 分</th><th>分 類 ・ 規 格</th><th>撮 影 箇 所</th><th>部 数</th><th>電子データ・ネガの提出</th></tr><tr><td>※ 工事写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工程工程毎</td><td>※ 1部 ● 部</td><td>㊦ 要 ● 不要</td></tr><tr><td>㊦ 完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>監督職員の指示による</td><td>※ 2部 ● 部</td><td>㊦ 要 ● 不要</td></tr></table>	区 分	分 類 ・ 規 格	撮 影 箇 所	部 数	電子データ・ネガの提出	※ 工事写真	カラーサービス判	各工程工程毎	※ 1部 ● 部	㊦ 要 ● 不要	㊦ 完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	㊦ 要 ● 不要
	区 分	分 類 ・ 規 格	撮 影 箇 所	部 数	電子データ・ネガの提出												
	※ 工事写真	カラーサービス判	各工程工程毎	※ 1部 ● 部	㊦ 要 ● 不要												
㊦ 完成写真	カラーサービス判	監督職員の指示による	※ 2部 ● 部	㊦ 要 ● 不要													
⑧工事用水・電力	本工事に必要な工事用水、電力などの費用はすべて請負者の負担とする。																
⑨表示板	設ける。（建築工事、機械設備工事等と一緒に表示する） ※ 工事表示板 ㊦ お園い表示板 記入要領等は監督職員の指示による。																
10 足 場	足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。																
⑪工事用仮設物	構内につくことが ※ できる ● できない																

一 般 共 通 事 項

⑩完 成 図 等

区 分	名 称	部 数
※ 完成図原図	完成図 ※ 原紙 ※ CADデータ ※ PDFデータ 施工図 ● 原紙 ☉ CADデータ ☉ PDFデータ	1 部
※ 完成図 2つ折製本	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 完成図原図の陽面複写紙（縮小版） ☉ 施工図原図の陽面複写紙	※ 3部 ● 部
※ 完成図 ● A 4 版黒表紙製本 ※ A 4 版市販ファイル	※ 完成図原図の陽面複写紙 ※ 主要機器図 ※ 試験成績書	※ 2部 ● 部
※ 保守用説明書 A 4 版ファイル	※ 保守に関する指導案内書 ※ 機器取扱説明書 ※ 主要機器一覧表	※ 2部 ● 部
※ 保証書		1 部
※ 官公署届出書類		1 部

13 他 工 事 と の 取 合 い

他 工 事 と の 取 合 い	電 気 設 備	機 械 設 備	建 築
● コンクリート壁、床、梁貫通部	補 強 スリーブ・箱入	※	● ● ※
● 鉄骨造の開口及び補強		● ● ※	
● 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（くぎ処理共）		※	● ●
● 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		※	● ●
● 埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮 枠 補 強	※	● ● ※
● O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		● ● ※	
● 埋込形機器取付用の天井、壁の下地材・仕上材	切 り 込 み 補 強	※	● ● ※
● 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		● ● ※	
● 電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（蓋を含む）		● ● ※	
● 機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線		● ※	●
● 機器用コントロールスイッチ（空調機、給湯器等）の取付及び配線		● ※	●
● テレビアンテナ	基 礎 アンカーボルト	● ● ※	● ●
● 天井点検口		● ● ※	
● 自立型制御盤の基礎		※	● ●
● 機器類のコンクリート基礎	屋 内 ・ 屋 外 設 置 屋 上 設 置	※	● ● ※

⑭土 工 事

⑮電 線 類

埋 め 戻 し 土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類 () ● 真砂土 () 建設発生土の処理 ☉構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積 本工事で環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 EM電線類で規格等の定めのないものはハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。 ハルネスジョイントボックス用OAタイプのケーブルはハロゲン及び鉛を含まない材料とする。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 メッキ付着量 300g/m以上とする。(※ 屋外 ●) 塗装する部分 ● 居室、廊下等 ● 機械室 ● 屋外 ● 波付硬質合成樹脂管 (FEP) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) を使用する場合は不燃又は難燃性とする。 20 フラッシュプレートの材質 21 カバープレートの用途別表示 22 耐 震 施 工

⑯電 線 本 数 ・ 管 路 等

⑰厚鋼電線管の溶融垂鉛メッキ 18 露 出 配 管 の 塗 装 ⑱ 波 付 硬 質 合 成 樹 脂 管 (FEP) 20 フラッシュプレートの材質 21 カバープレートの用途別表示 22 耐 震 施 工
--

⑰屋上、屋側の支持金物等

24 結 露 防 止

⑳補 修 な ど

㉑は っ ぽ り

㉒は っ ぽ り

㉓は っ ぽ り

㉔は っ ぽ り

㉕は っ ぽ り

㉖は っ ぽ り

㉗は っ ぽ り

㉘は っ ぽ り

㉙は っ ぽ り

㉚は っ ぽ り

㉛は っ ぽ り

㉜は っ ぽ り

㉝は っ ぽ り

㉞は っ ぽ り

㉟は っ ぽ り

㊱は っ ぽ り

㊲は っ ぽ り

㊳は っ ぽ り

㊴は っ ぽ り

㊵は っ ぽ り

㊶は っ ぽ り

㊷は っ ぽ り

㊸は っ ぽ り

㊹は っ ぽ り

㊺は っ ぽ り

㊻は っ ぽ り

㊼は っ ぽ り

㊽は っ ぽ り

㊾は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

㊿は っ ぽ り

一般共通事項

⑳接 地 極

接地極の材料は次による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
● 共 同 接 地	E A E D	1 0 Ω以下	E B×3連－2組
● 共 同 接 地	E A E C E D	1 0 Ω以下	E B×3連－2組
● A 種	E A	1 0 Ω以下	E B×3連－2組
● B 種	E B	Ω以下	E B×2連－2組
● C 種	E C	1 0 Ω以下	E B×3連－2組
㊦ D 種	E D	1 0 0 Ω以下	E B×1
● 雷 保 護 設 備 用	E L A	Ω以下	● E P－0. 6×2 ● E B× 連－ 組
● 高 圧 避 雷 器	E L H	1 0 Ω以下	E B×3連－2組
● 交 換 機 用	E t	Ω以下	E B×3連－1組
● 通 信 用	E A t	1 0 Ω以下	E B×3連－2組
● 通 信 用	E D t 及び E D a	1 0 0 Ω以下	E B×1
● 電話引込口の保安器用	E L t	1 0 0 Ω以下	E B×1
● 測 定 用	E o	－	E B×1

（連結又は単独の場合、E BはD＝1 4 L＝1 5 0 0 または W＝4 0 L＝1 2 0 0とする）
（測定用の場合、E BはD＝1 0 L＝1 5 0 0 または W＝3 0 L＝1 2 0 0とする）
建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。
※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
※ 官公署その他への手続きは、建築改修標準仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて必要な手続きを行う。

- 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。
分析方法はJ I S A 1 4 8 1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。
- アスベスト粉じん濃度測定を行う。
（測定時期： 測定場所： 測定点： ）
- 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。
- 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。
対象箇所（ ）

実施する。
工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。
（保険の加入期限は、工事完成引渡しまでとする。）
グリーン購入は次のものとする。

- 照明制御システム ㊦ 変圧器 ●

30 室内空気中の化学物質の濃度測定

㉑火 災 保 険 等

㉒グ リ ー ン 購 入

①電 灯 設 備

①照 明 器 具

②一般照明の照度測定
3 非常用照明の照度測定
4 照明制御の照度測定等

2 動力設備

3 雷保護設備

㊦受電設備

5 電力貯蔵設備

6 発電設備

7 情報表示設備

1 交換機

8 構内交換設備

9 映像音響設備

10 拡声設備

11 誘導支援

12 火災報知設備

㉑構内配電線路

14 構内通信線路

15 テレビ

㉑その他

停電補償時間（ 分）
※ 本工事 ● 別途工事
※ モジュラージャック ● 電話用プレート
内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用／実装／容量）
● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台
● デジタルコードレス電話機 台 ● I P電話機 台
卓上電話機1台につき次のものを見込む。
● ボタン電話機（● EM-BTIEE 0. 5－2P ● ）（※ 1 5 m ● ）
● 内線電話機（● EM-TIEF 0. 65－2C ● TIVF 0. 65－2C）（※ 1 5 m ● ）
● 多機能電話機（● EM-BTIEE 0. 4－2P ● ）（※ 1 5 m ● ）
● I P電話機（● EM-UTP 0. 5－4P ● ）（※ 1 5 m ● ）

1 プロジェクタ

1 増幅器

1 音声誘導装置

12 自動火災報知設備
2 自動閉鎖設備

3 ガス漏れ火災警報設備

㉑施工方法

㉑地 中 箱

3 高圧負荷開閉器

4 高圧ケーブルの端末部

5 高圧ケーブルの屋外端末処理

㉑標 識 シ ー ト

7 照 明 用 ポ ー ル

1 施 工 方 法

2 地 中 箱

3 標 識 シ ー ト

1 調 査 仕 様

2 テレビ電波受信障害調査

3 受信する受信波及び地点数

4 報告書提出部数

㉑機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

名 称	測 点	取付高 (mm)	
電力共通	取引用計器	地上～窓中心 1, 800～2, 000	
	引込開閉器	地上～中心 1, 800～2, 200	
電 灯	分電盤	床上～中心 1, 500（上端1, 900以下）	
	スイッチ	” 1, 300	
	”（多機能トイレ）	” 1, 100	
	コンセント（一般）	” 300	
	”（和室）	” 150	
	”（台上）	台上～中心 150	
	”（土間）	床上～中心 800～1, 300	
	”（車椅子用）	” 900	
	”（ラケット）	” 2, 100～2, 300	
	”（踊場）	” 2, 000～2, 500	
”（鏡上）	鏡上端～中心 150		
動 力	壁掛形制御盤	床上～中心 1, 500（上端1, 900以下）	
	手元開閉器	” 1, 500	
	操作スイッチ	” 1, 300	
構内交換	端子盤	床上～下端 300	
	保安器箱	天井下～上端 200	
	壁付アウトレット	床上～中心 300	
電気時計計	”（和室）	” 150	
	壁掛形親時計	床上～中心 1, 500（上限1, 900以下）	
拡 声	子時計	” 天井高×0. 9	
	壁掛形スピーカ	床上～中心 天井高×0. 9	
	壁付アッテネータ	” 1, 300	

㉑工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めること。

〔Ⅲ〕機 材 等

この工事に使用する機材は下記に記載されているものの他、同等品以上とする。
設計図書の製品番号は、特定の製品を限定しない。
同等品以上とする場合には、同等品承諾願いを提出し監督員の承諾を得ること。

品 名	製 造 業 者
1. 電 力 ケ ー ブ ル 3. 通 信 ケ ー ブ ル 4. 耐 火 ・ 耐 熱 ケ ー ブ ル 5. 波 付 硬 質 合 成 樹 脂 管 6. 銅 製 電 線 管 7. 硬 質 塩 化 ビ ニ ル 電 線 管 8. 合 成 樹 脂 製 可 とう 電 線 管 9. 蛍 光 灯 10. 白 熱 灯 ・ L E D 11. 非 常 用 照 明 器 具 12. 誘 導 灯 13. 誘 導 灯 14. 配 線 器 具 15. 高 圧 配 電 盤 16. 低 圧 配 分 電 盤 17. 端 子 盤 18. 配 線 用 遮 断 器 19. 電 磁 開 閉 器 20. 保 護 継 電 器 21. 水 位 継 電 器 22. コ ン デ ン サ ー 23. 変 圧 器（高 圧 用） 24. 高 圧 遮 断 器 25. 高 圧 気 中 開 閉 器 26. 自 家 発 電 機（制御盤を含む） 27. 蓄 電 池 28. 整 流 装 置 29. 電 話 交 換 機 及 び 電 話 機 30. イ ン タ ー ホ ン 31. 火 災 報 知 装 置 32. 自 動 閉 鎖 装 置 33. 非 常 警 報 装 置 34. 表 示 器 35. 電 気 時 計 36. 拡 声 ・ 非 常 放 送 装 置 37. テ レ ビ 共 同 受 信 機 器 38. ハ ン ド ホ ー ル 39. 避 雷 針 40. コ ン ク リ ー ト 柱 41. ケーブルラック・レースウェイ 42. ガス漏れ警報受信機 43. ガ ス 検 知 器 44. セ キ ュ リ テ ィ 、 H A 機 器 45. 中 央 監 視 制 御 機 器	矢 崎 、 日 立 、 住 友 同 上 同 上 耐火・耐熱電線認定業務委員会の認定（J CMAマーク）の表示をしたもの。 古河電工、未来工業、カナフレックス パナソニック、丸一、日鉄 積水化学工業 パナソニック、古河電工、未来工業 パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、達磨 パナソニック、東芝、日立、三菱、大光、達磨、光電気通信 上記製造業者のうち（財）日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの。 上記製造業者のうち誘導灯認定委員会の認定証票が貼付されたもの。 パナソニック、東芝、日立、三菱 パナソニック、東芝 かわでん、東芝、永井、日立、増岡、三菱、パナソニック、内外、豊島、小林、富士オートメーション 同 上 同 上 パナソニック、東芝、日立、三菱、富士 パナソニック、東芝、日立、三菱、富士、戸上 パナソニック、東芝、日立、富士、オムロン パナソニック、日立、三菱、富士、オムロン パナソニック、東芝、日立、三菱 同 上 東芝、日立、三菱、富士 東芝、三菱、戸上、エナジーサポート 東芝、日立、三菱、川崎、ヤンマー ただし防災用は左記のうち（社）日本内燃力発電設備協会の認定証票が貼付されたもの。 新神戸、日本電池、GS } ただし建築基準法用及び消防法用使用する別置用のものは、左記のうち 同 上 蓄電池設備認定委員会の認定証票が貼付されたもの。 沖電気、日立、パナソニック、東芝、富士通 ただし（財）電気通信端末機器審査協会の 認定を受けている旨の表示をしたもの。 パナソニック、東芝、アイホン 沖、東芝、能美、ホーチキ、パナソニック ただし、日本消防検定協会の検定合格証票が貼付されたもの。 同 上 ただし、（財）日本建築センターの性能評定マークが貼付されたもの。 同 上 ただし、非常警報設備認定業務委員会の認定証票が貼付されたもの。 パナソニック パナソニック T O A 、 J V C ケンウッド、パナソニック、東芝 ただし、非常放送装置は非常用放送設備委員会の基準適合ラベルが貼付されたもの。 マスプロ、ホーチキ、パナソニック イーエムシー西部、インテックス、ランデス、オーコ、カナフレックス 大阪、日本 ダイニチ、日本ネットワークサポート、中国高圧 ネグロス、パナソニック、東芝 矢崎、パナソニック ただし日本消防検定協会又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。 同 上 ただし、（財）日本ガス機器検査協会の合格証票又は高圧ガス保安協会の検定合格証票が貼付されたもの。 東芝、三菱、山武、アイホン、パナソニック 山武、ジョンソンコントロール、パナソニック

※ 送電線の近くで作業するときは、前もって中国電力へ連絡すること。
※ 不許複製
※ （一社）鳥取県設備設計事務所協会 作成

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

電気設備工事特記仕様書（2）

CHECKED, BY

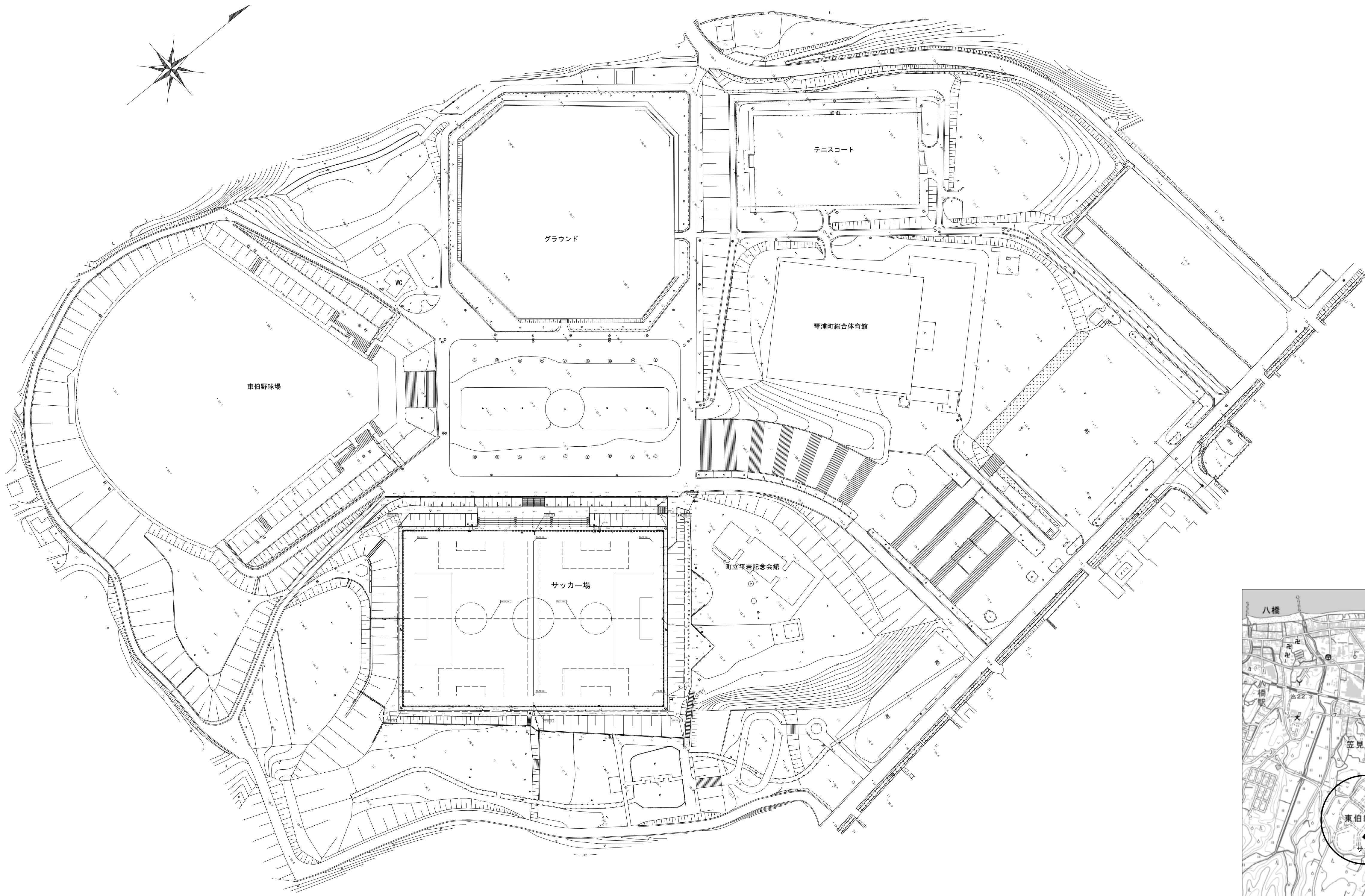
株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士（一級建築士登録番号 318668） 田中 一義

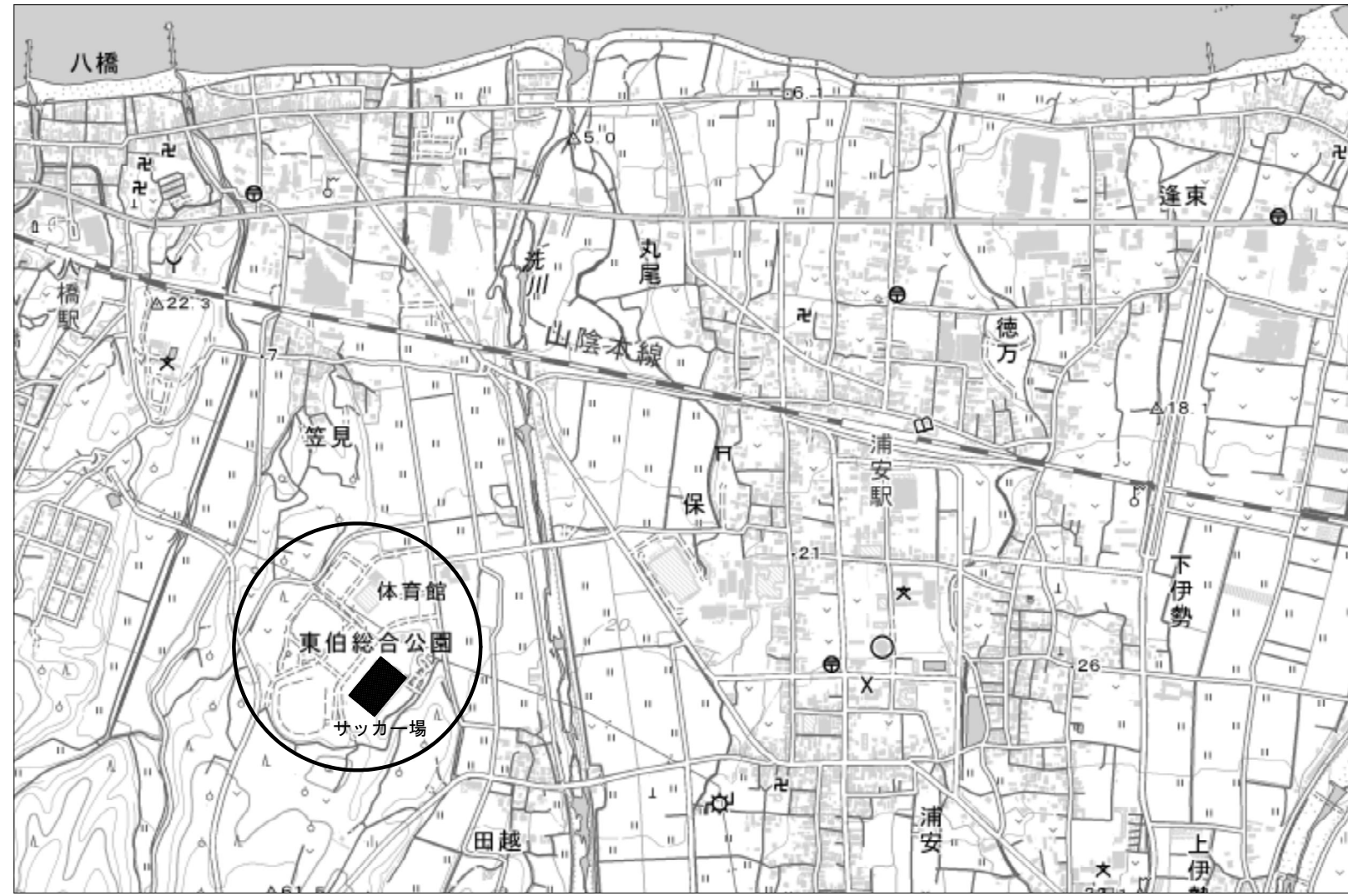
PROJECT NO・
2023K-10
DRAWING NO・
E-02

DATE
2024.3
SCALE
A1: -
A3: -

DRAWING, BY
一級建築士登録番号
第318668号
田中 一義



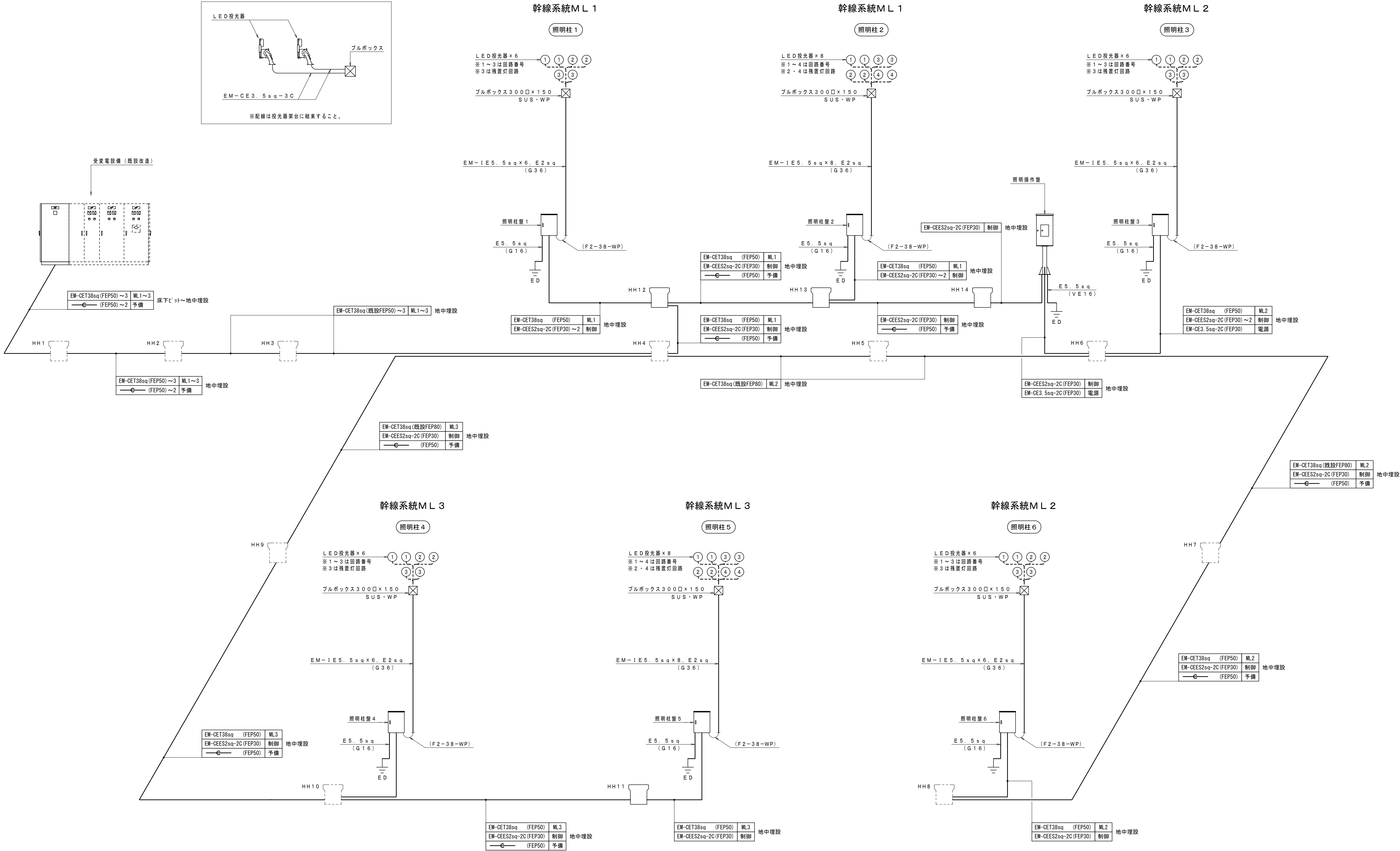
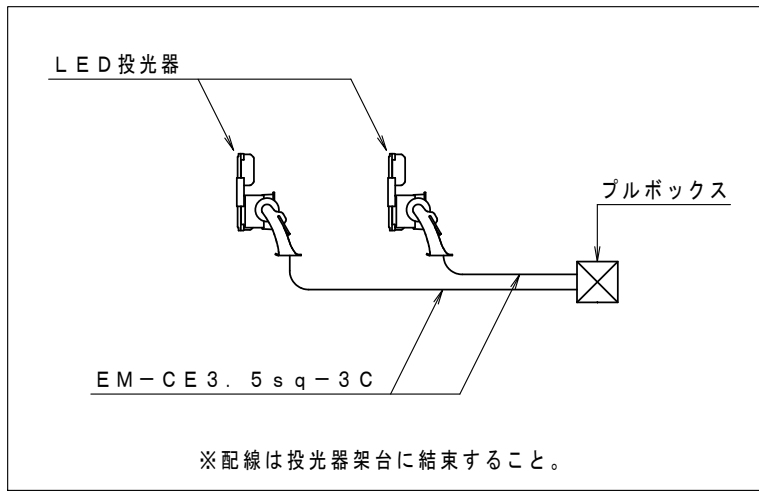
配置図 S=1/1000



付近見取図

サッカー場照明配線系統図

投光器廻り配線系統図



東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

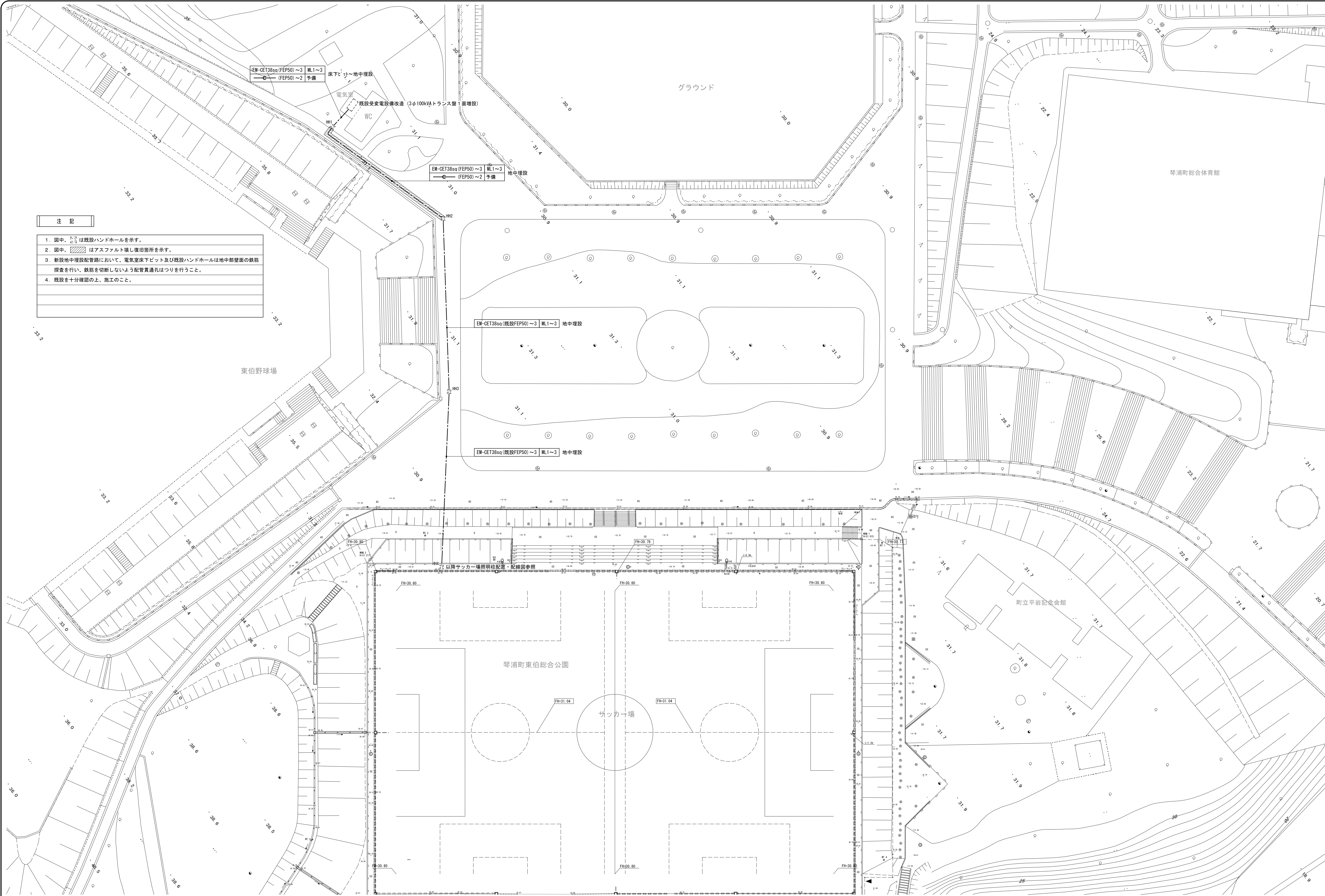
サッカー場照明配線系統図

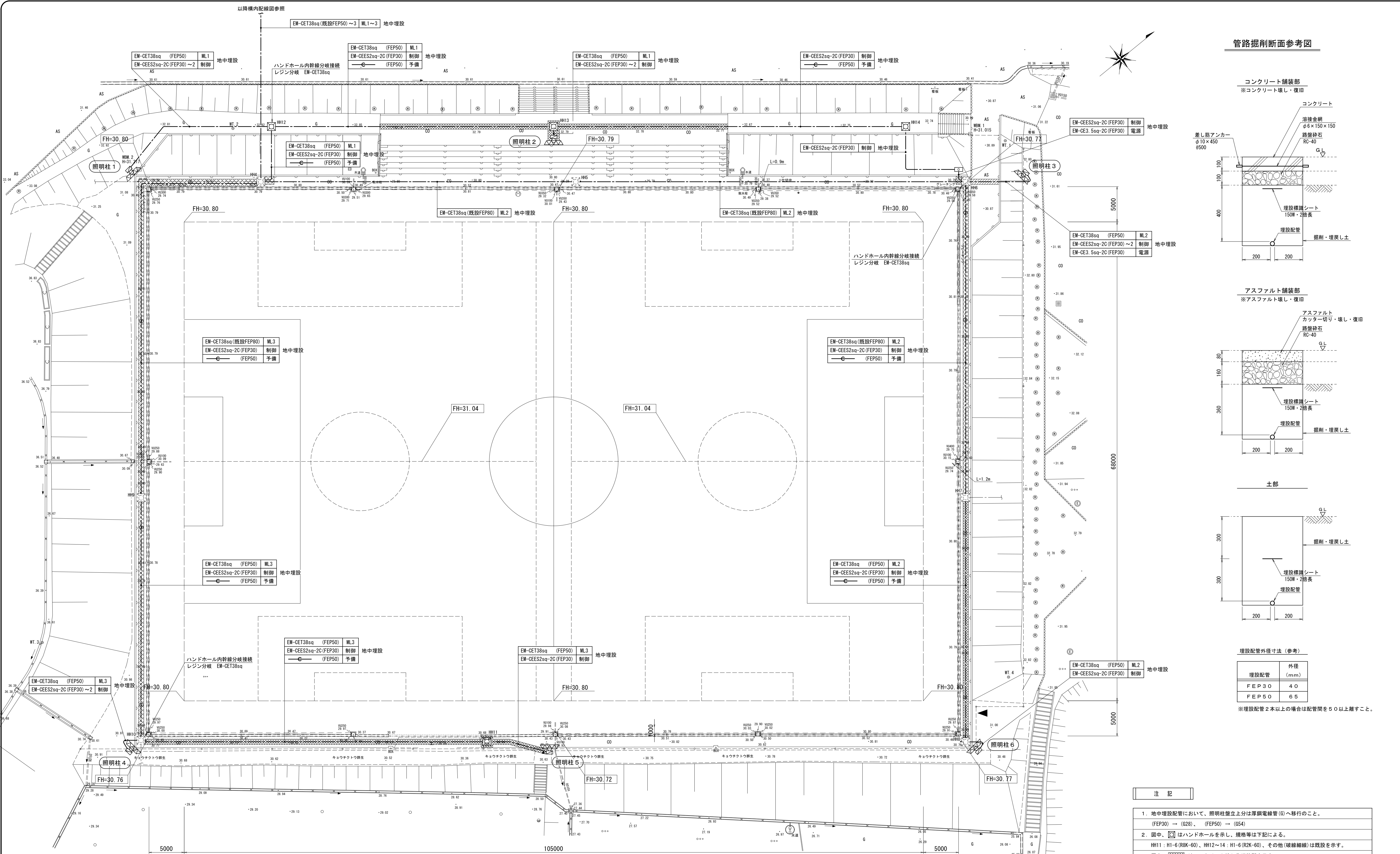
CHECKED, BY

株式会社 白兔設計事務所

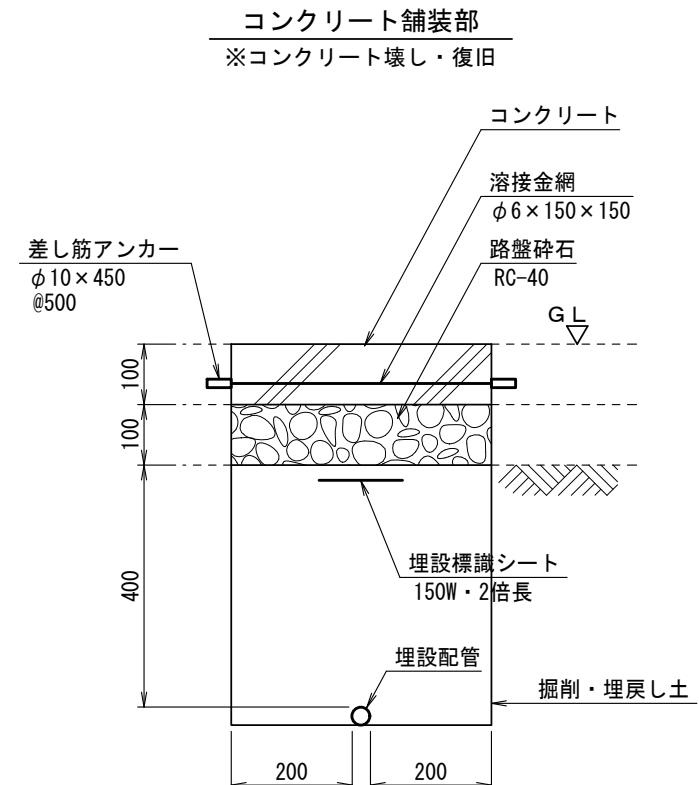
鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士 (一級建築士登録番号 318668) 田中 一義

PROJECT NO.	DATE	DRAWING, BY
2023K-10	2024.3	一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
DRAWING NO.	SCALE	
E-04	A1: - A3: -	

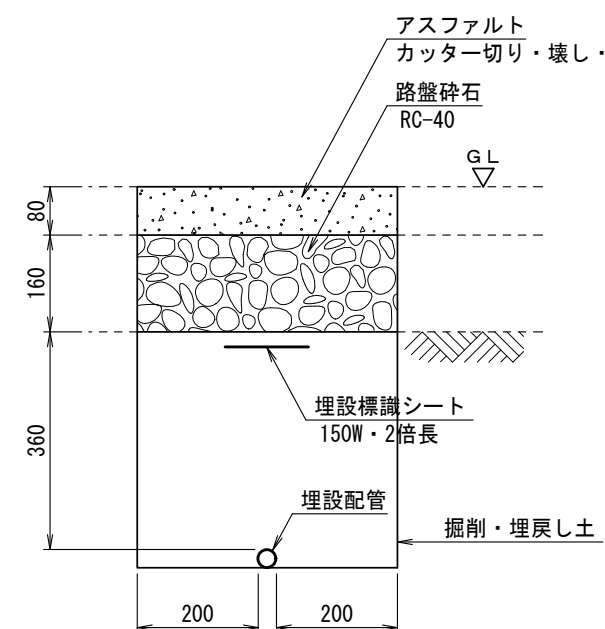




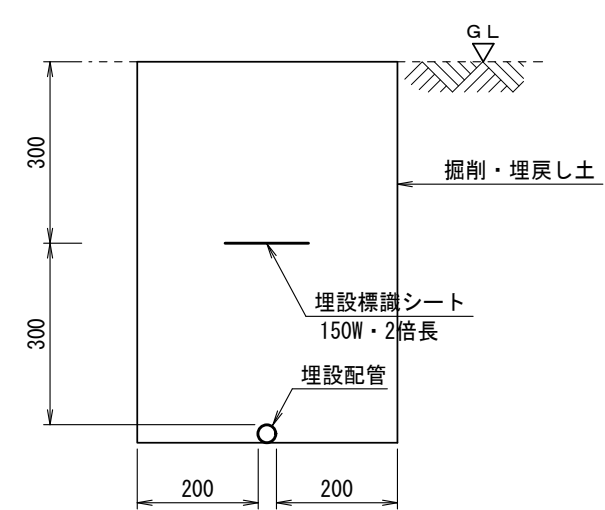
管路掘削断面参考図



アスファルト舗装部



土部



埋設配管外径寸法 (参考)

埋設配管	外径 (mm)
FEP30	40
FEP50	65

※埋設配管2本以上の場合は配管間を50以上離すこと。

注 記

1. 地中埋設配管において、照明柱盤立上分は厚銅電線管 (G) へ移行のこと。
(FEP30) → (G28)、(FEP50) → (G54)
2. 図中、 はハンドホールを示し、規格等は下記による。
HH11 : H1-6 (R8K-60)、HH12～14 : H1-6 (R2K-60)、その他 (破線細線) は既設を示す。
3. 図中、 はコンクリート壊し復旧箇所を示す。
4. 図中、 はアスファルト壊し復旧箇所を示す。
5. 既設を十分確認の上、施工のこと。

サッカー場照明柱配置・配線図 S=1/250

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

サッカー場照明柱配置・配線図

CHECKED, BY

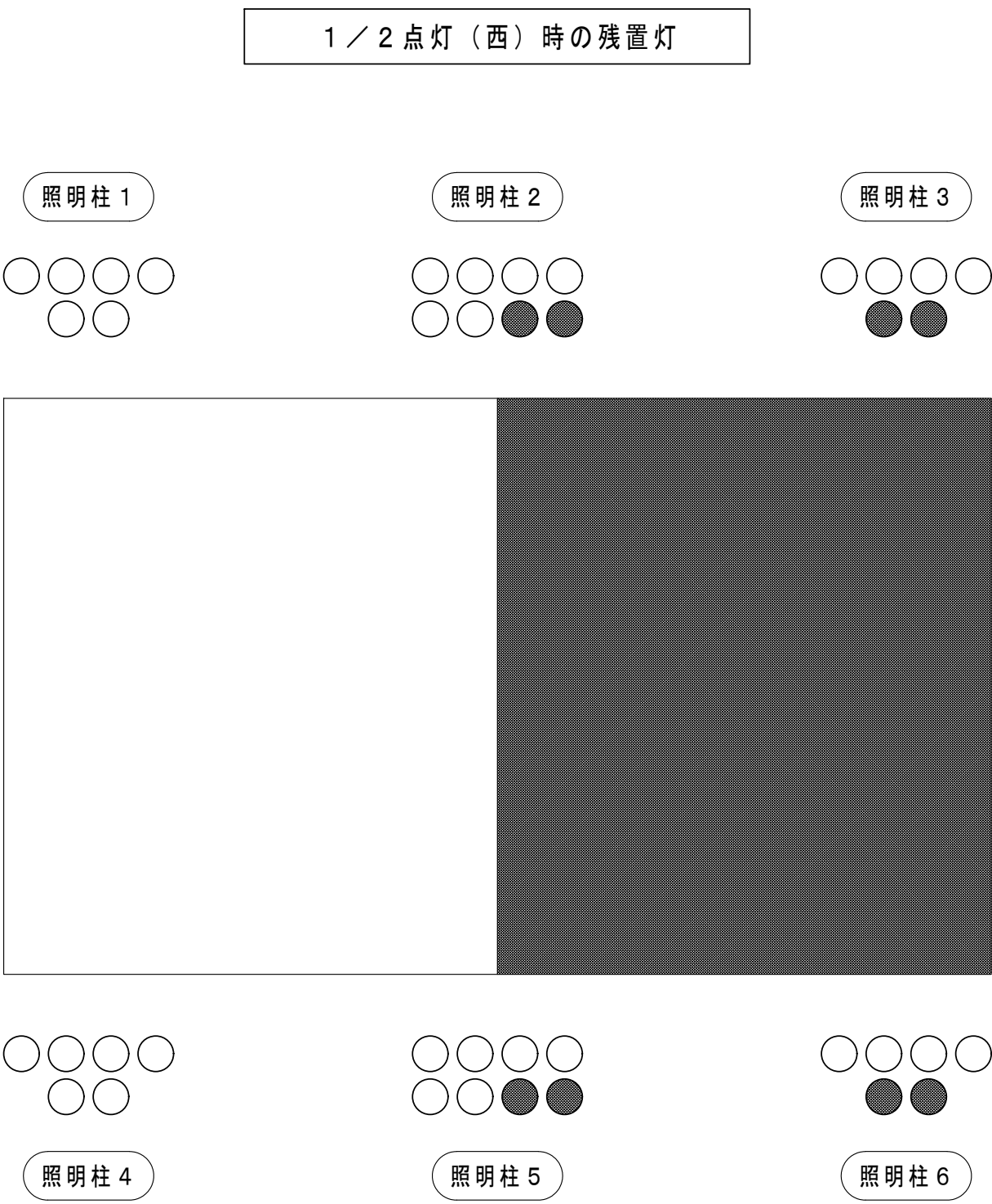
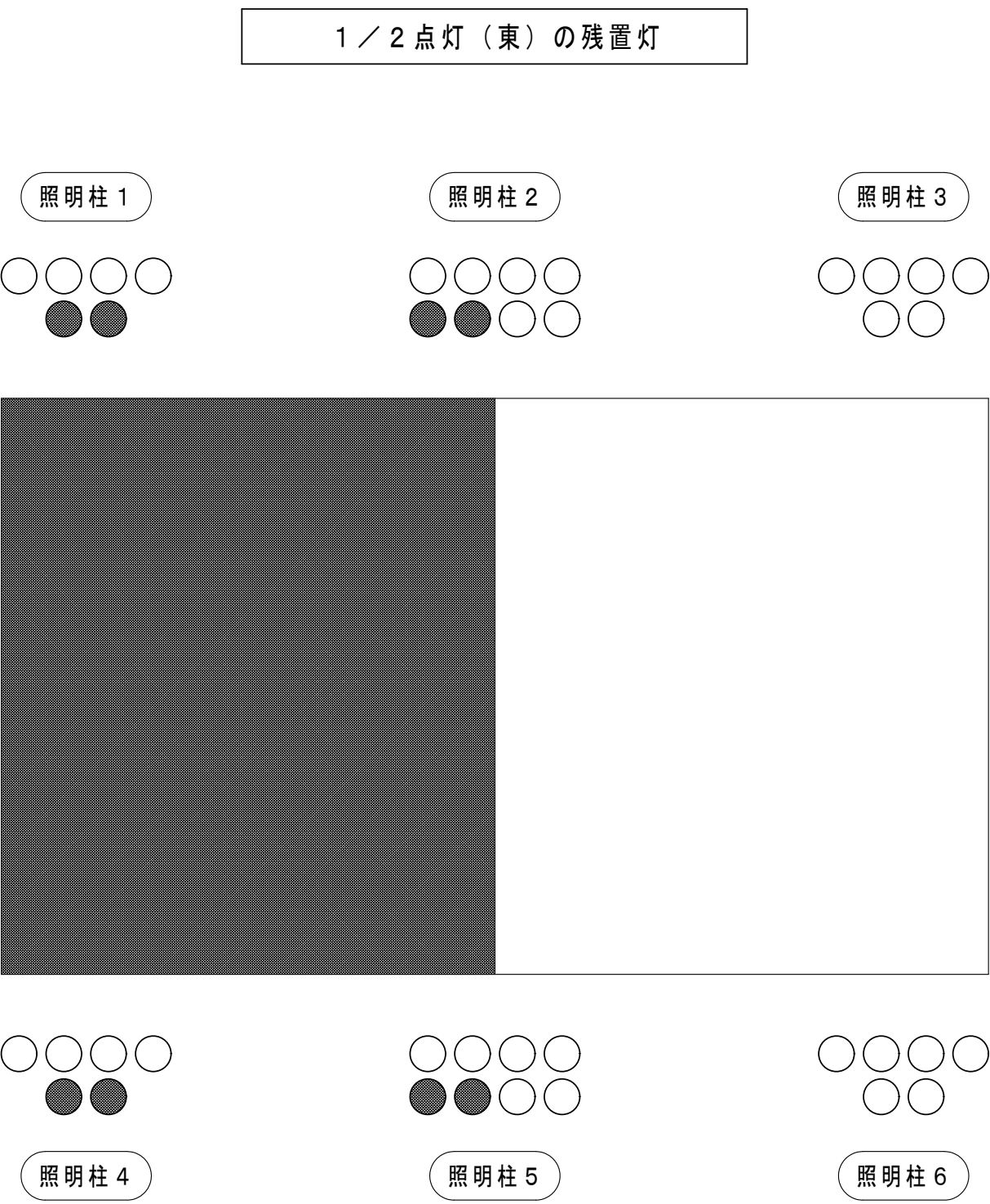
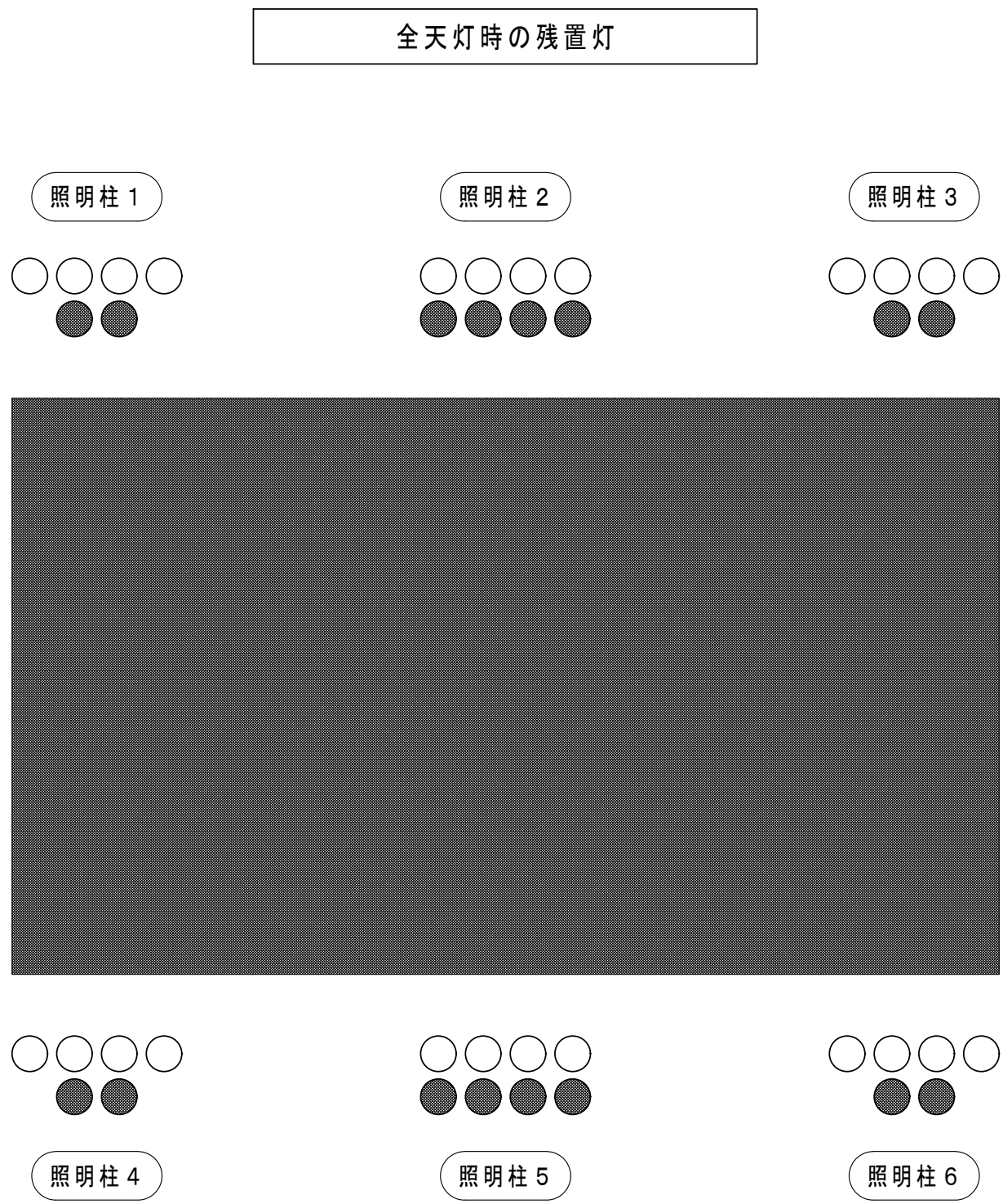
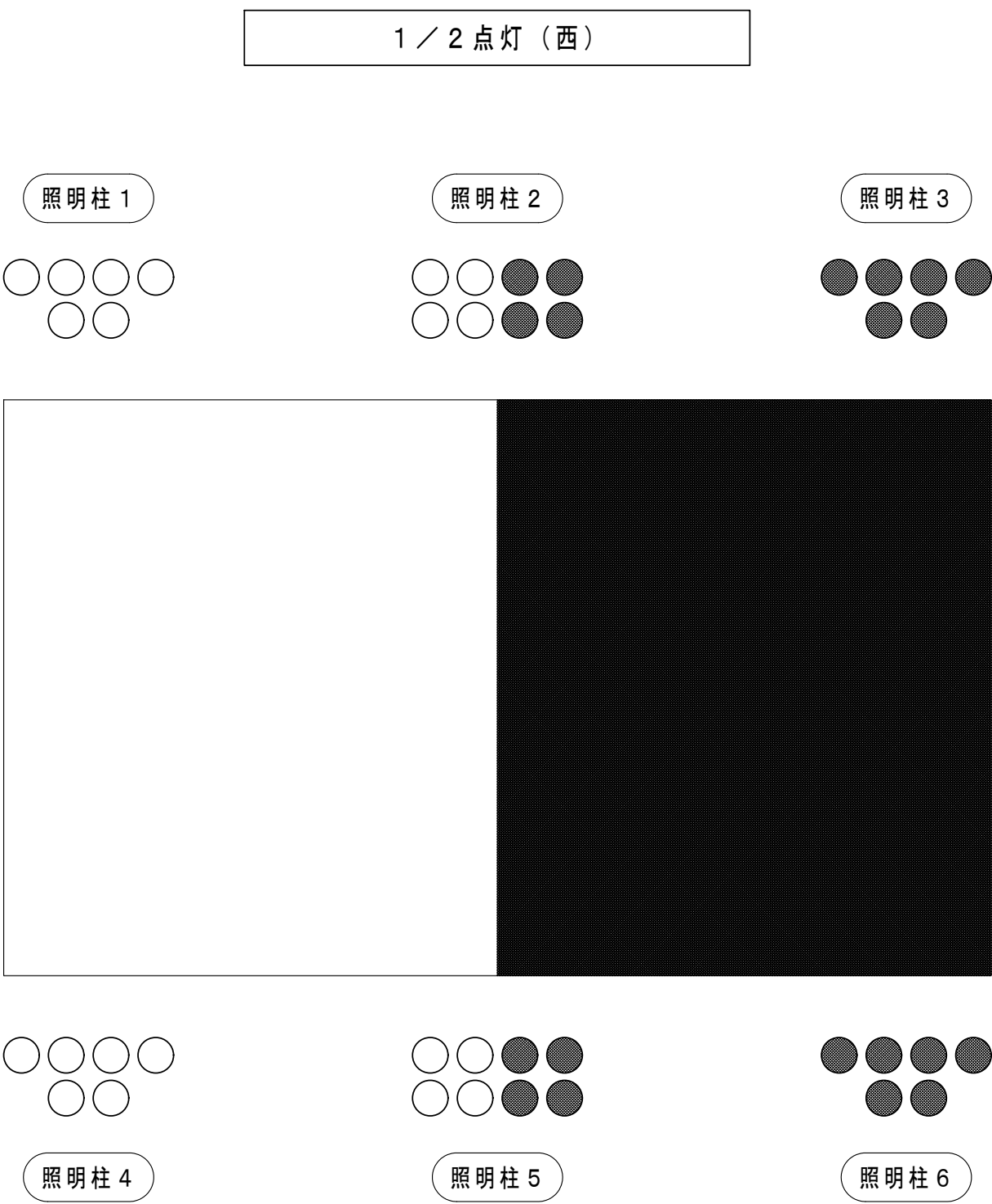
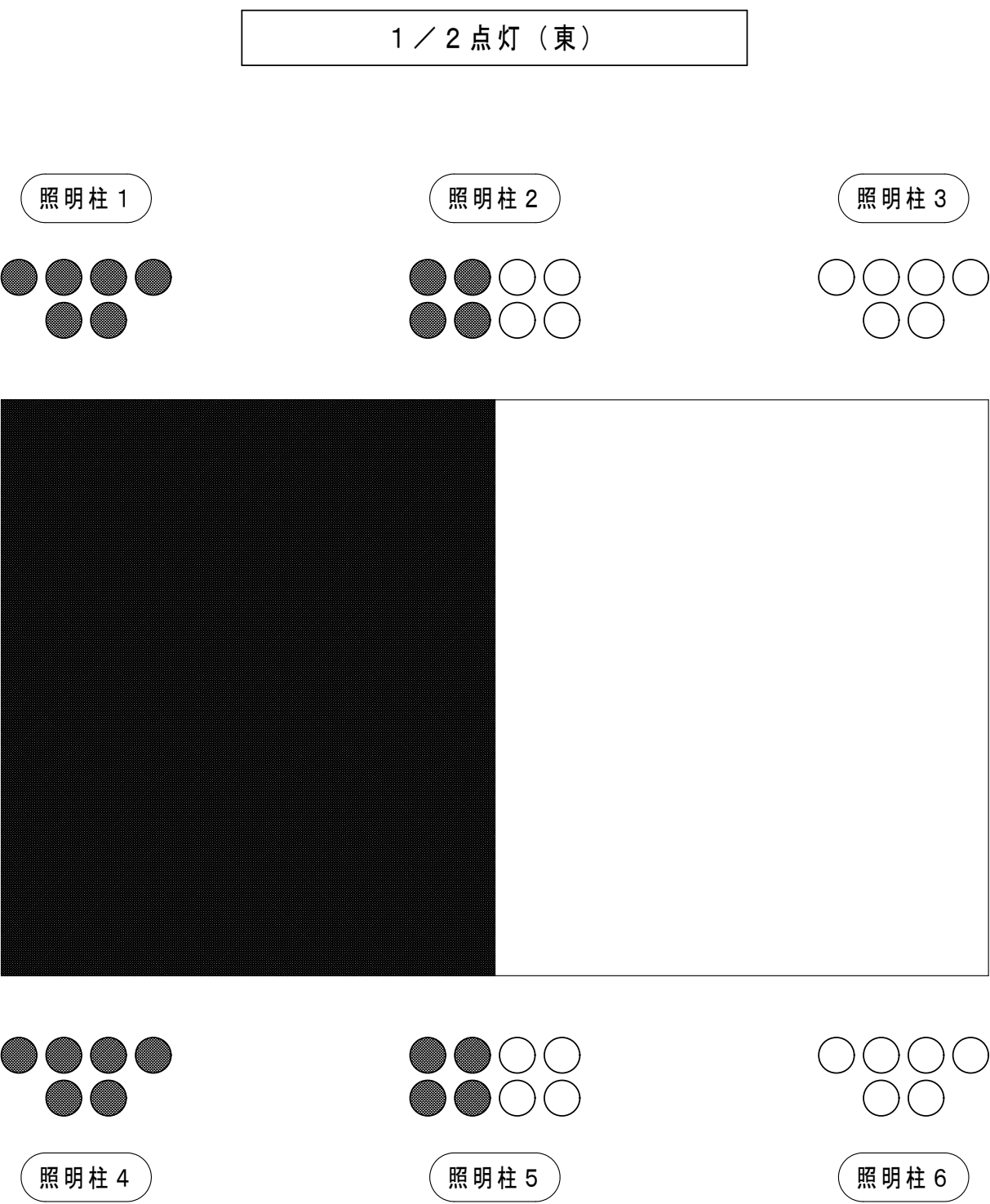
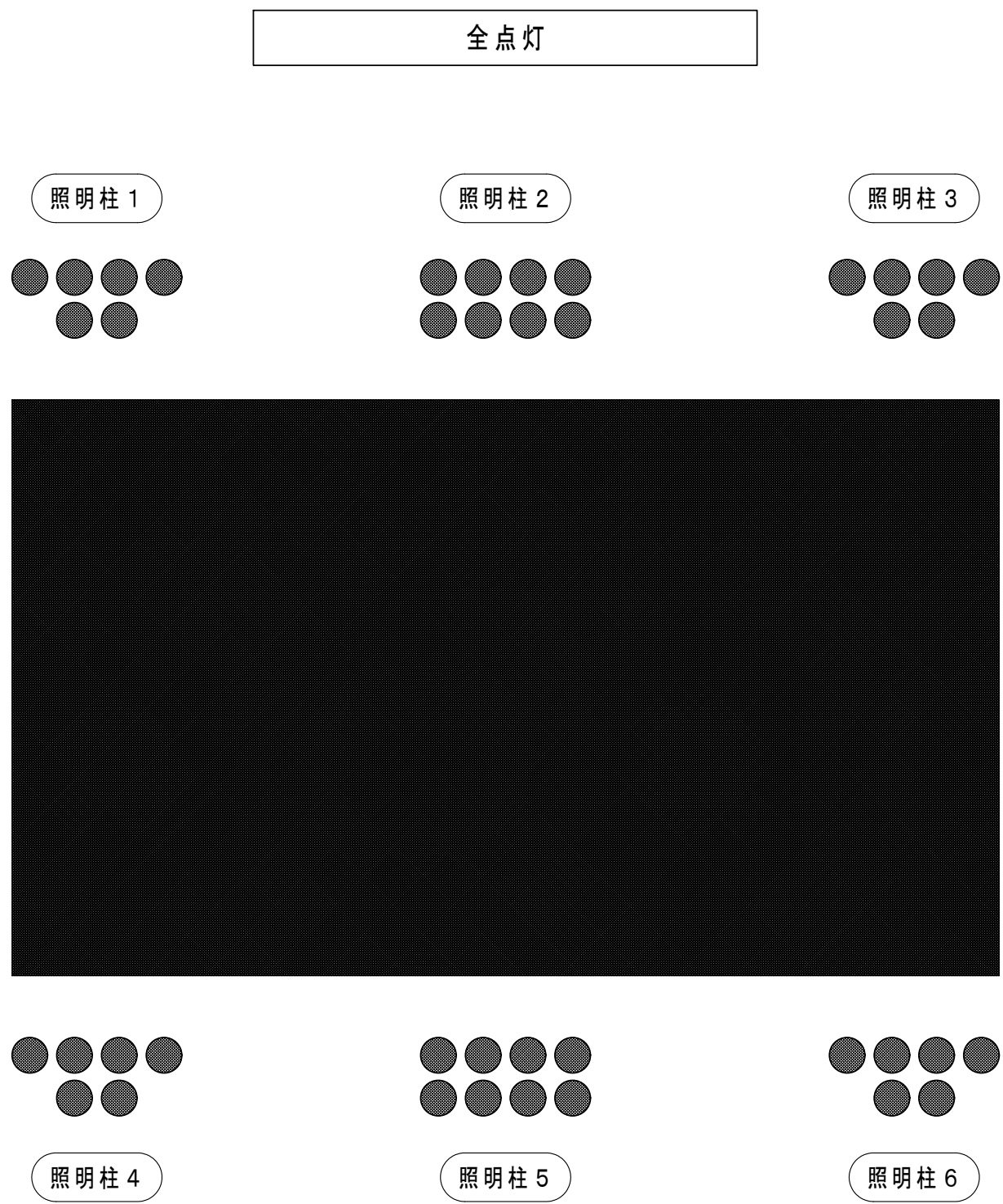
株式会社 白兔設計事務所

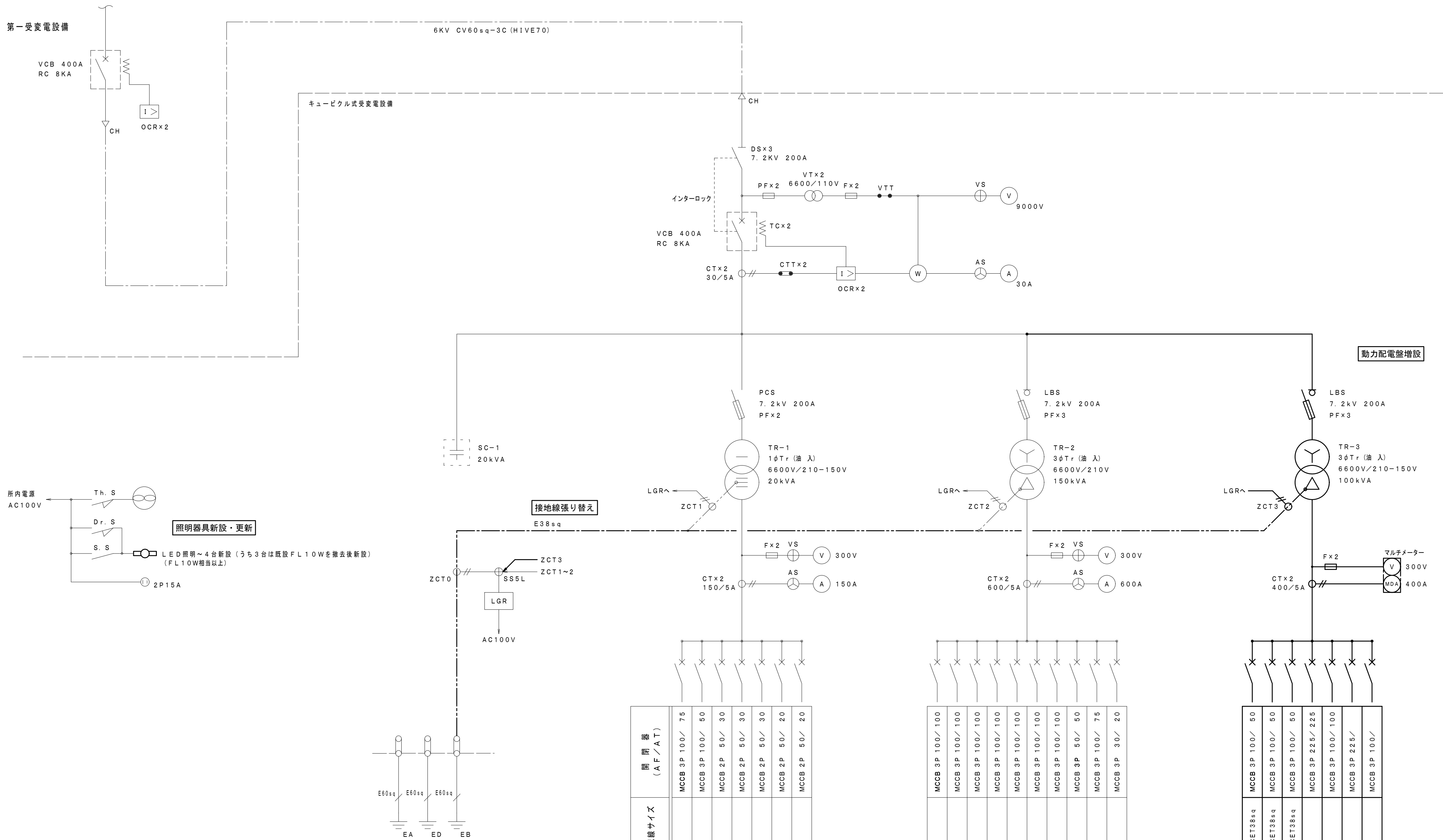
鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士 (一級建築士登録番号 318668) 田中 一義

PROJECT NO.	DATE	DRAWING, BY
2023K-10	2024.3	一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
DRAWING NO.	SCALE	
E-06	A1 : S=1/250 A3 : S=1/500	

照明柱点灯パターン図

● 点灯 ○ 消灯





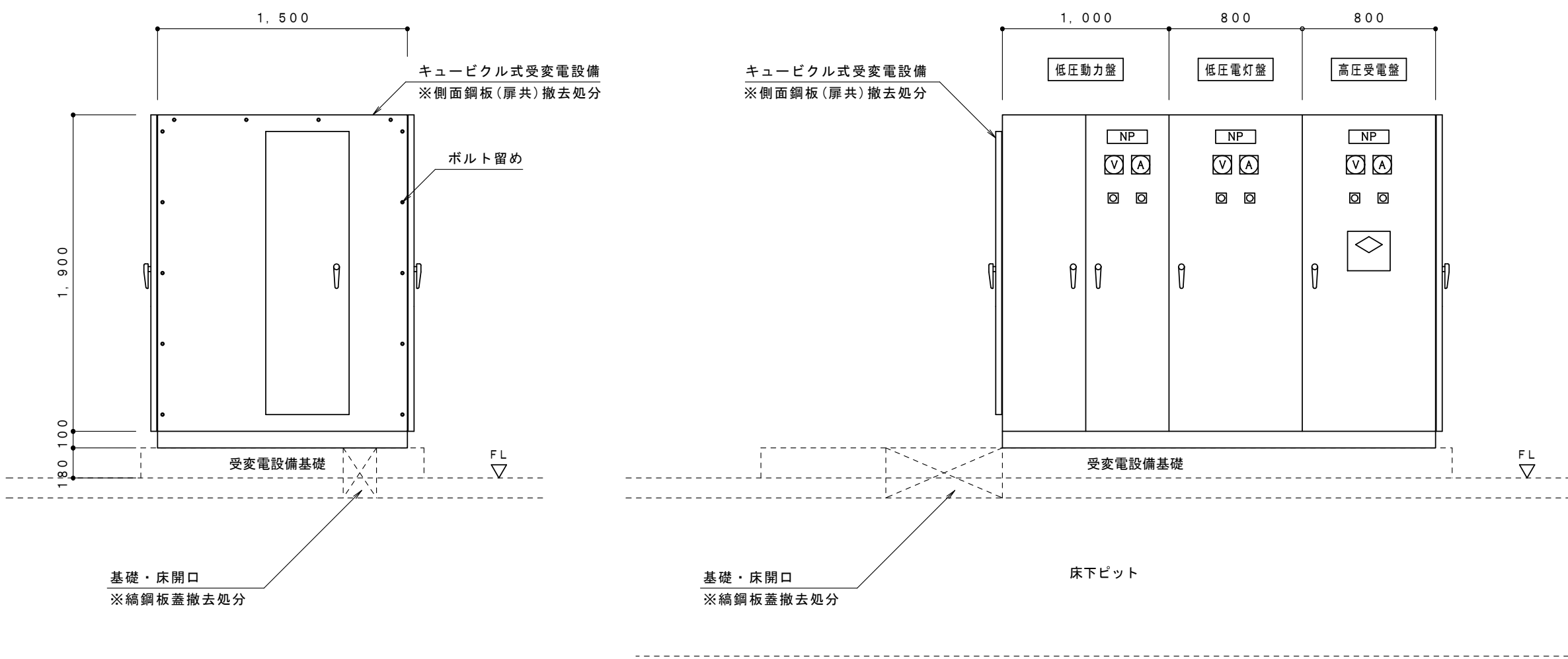
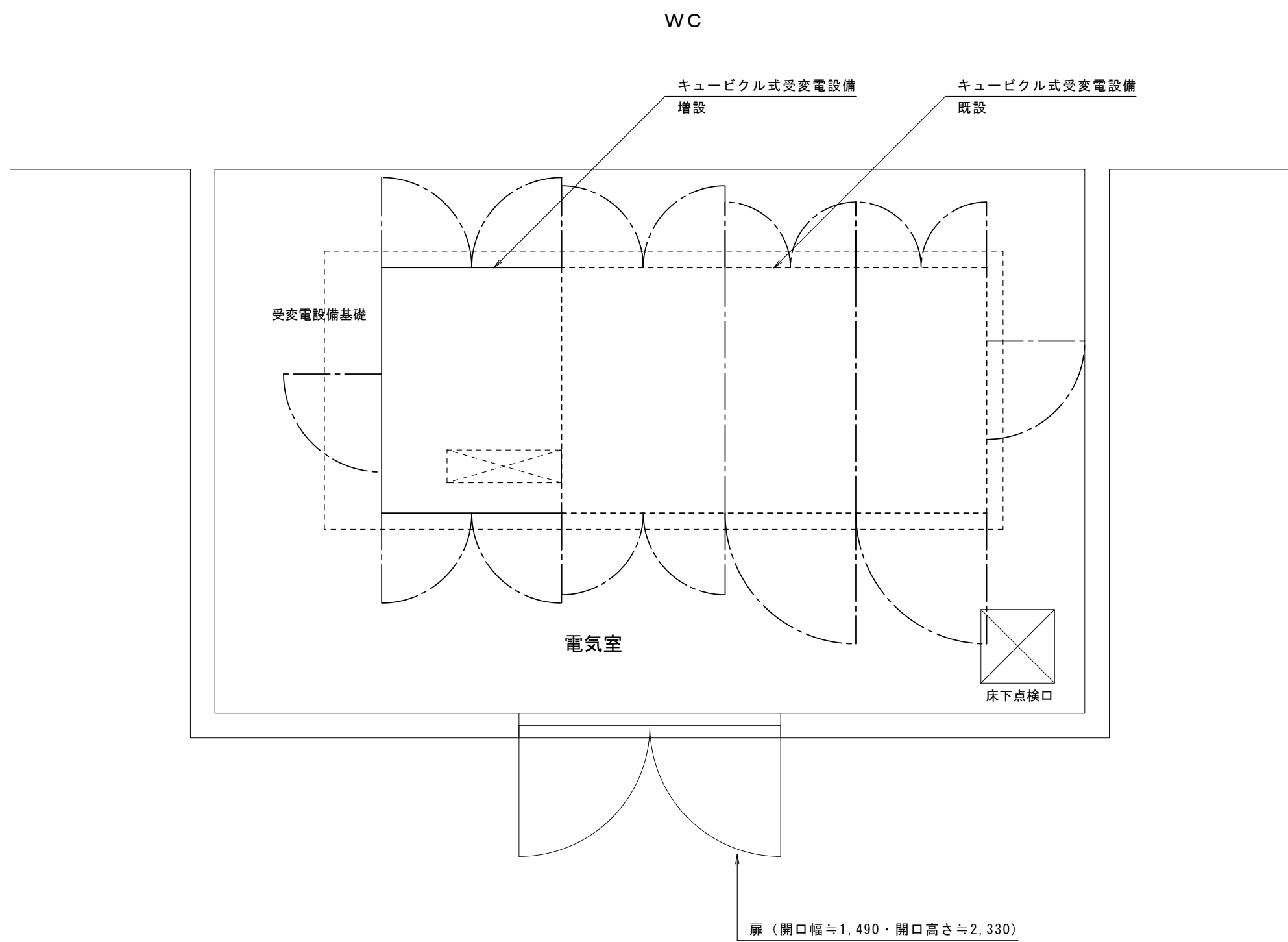
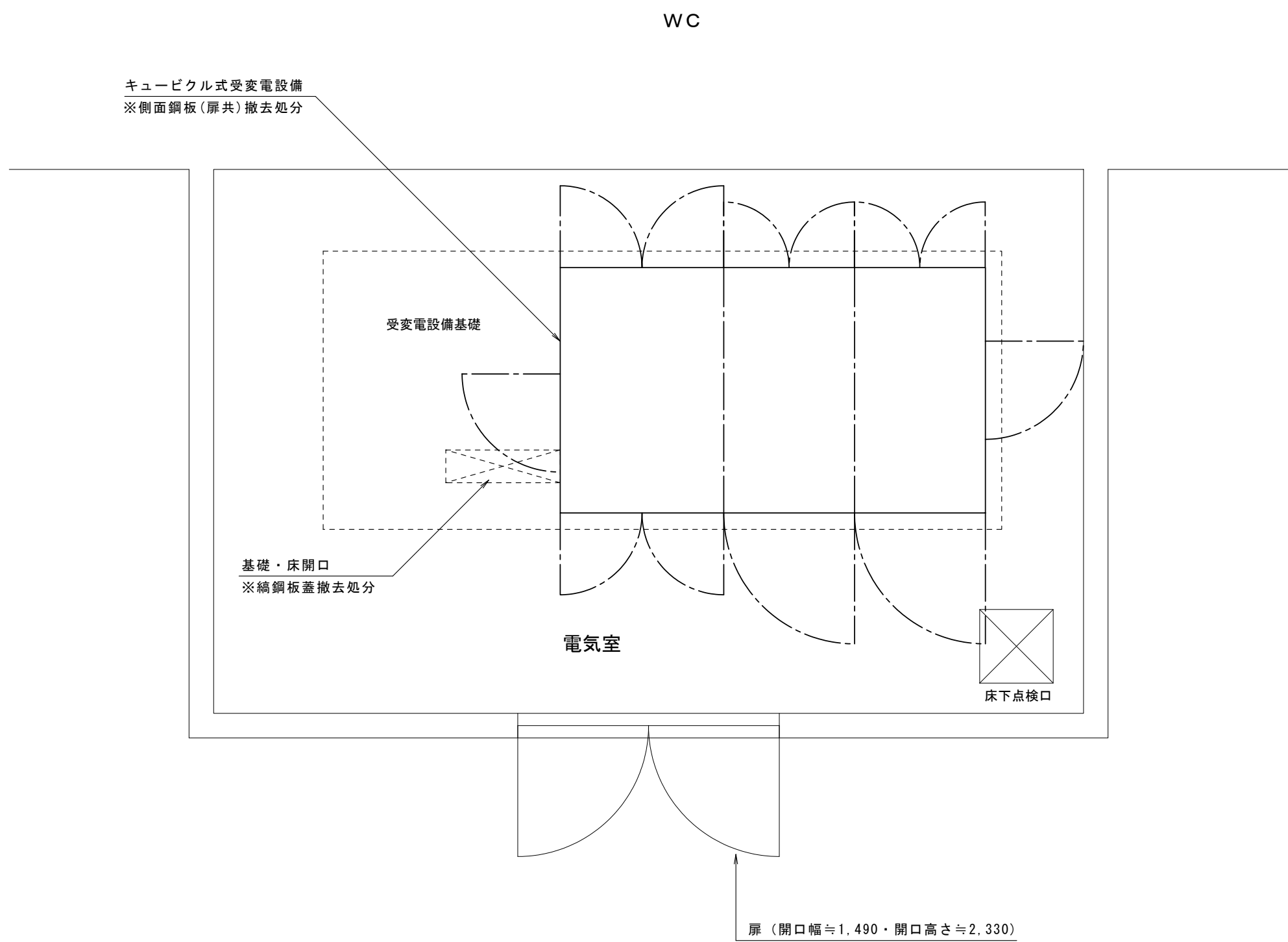
注 記 事 項	
1.	増設動力配電盤は銅板製（指定色塗装）とする。
2.	指示計は電子式とし、停電補償10日間以上とする。
3.	変圧器本体及びキュービクル内導体の接続部分へ不可逆性のサマーベルを貼付すること。
4.	表示ランプ（LED）及び高圧用・制御用ヒューズは現用数の各々20％、最低1組納入すること。
5.	盤はNo. 200とする。

幹線番号	負荷名称	容量 (kVA)	配線サイズ	開閉器 (A/F/A.T)
	スコアボード			MCCB 3P 100/ 75
	管理棟			MCCB 3P 100/ 50
	ダックアウト1区			MCCB 2P 50/ 30
	ダックアウト3区			MCCB 2P 50/ 30
	観望棟			MCCB 2P 50/ 30
	LGR電盤			MCCB 2P 50/ 20
	カード式タイマー			MCCB 2P 50/ 20

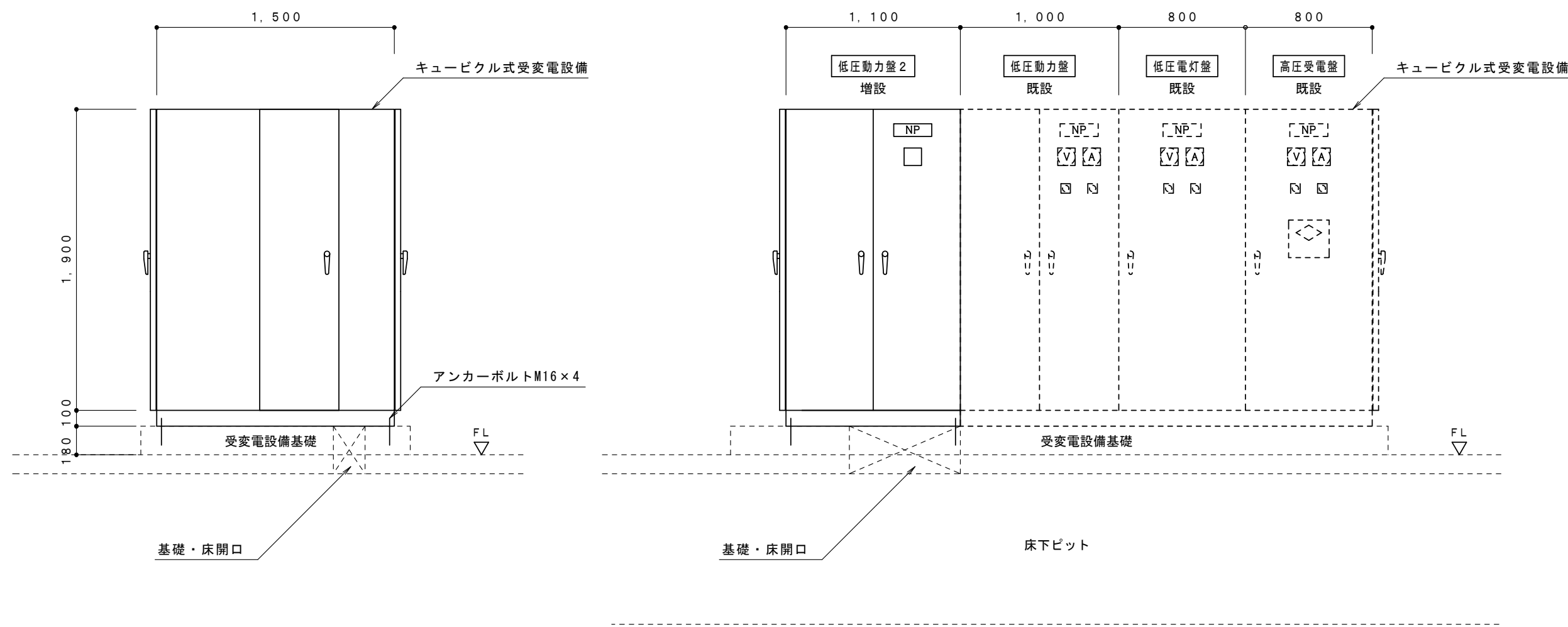
	P-1	MCCB 3P 100/ 100
	P-2	MCCB 3P 100/ 100
	P-3	MCCB 3P 100/ 100
	P-4	MCCB 3P 100/ 100
	P-5	MCCB 3P 100/ 100
	P-6	MCCB 3P 100/ 100
	多目的広場	MCCB 3P 100/ 100
	ポンプ	MCCB 3P 50/ 50
	サッカー場照明盤	MCCB 3P 100/ 75
	サッカー場	MCCB 3P 30/ 20

ML1	サッカー場照明柱1・2	MCCB 3P 100/ 50
ML2	サッカー場照明柱3・6	MCCB 3P 100/ 50
ML3	サッカー場照明柱4・5	MCCB 3P 100/ 50
ML4	予備	MCCB 3P 225/ 225
ML5	予備	MCCB 3P 100/ 100
ML6	予備スペース	MCCB 3P 225/
ML7	予備スペース	MCCB 3P 100/

受変電設備単線結線図（改造）



受変電設備配置・立面図 (改修前) S=1/30

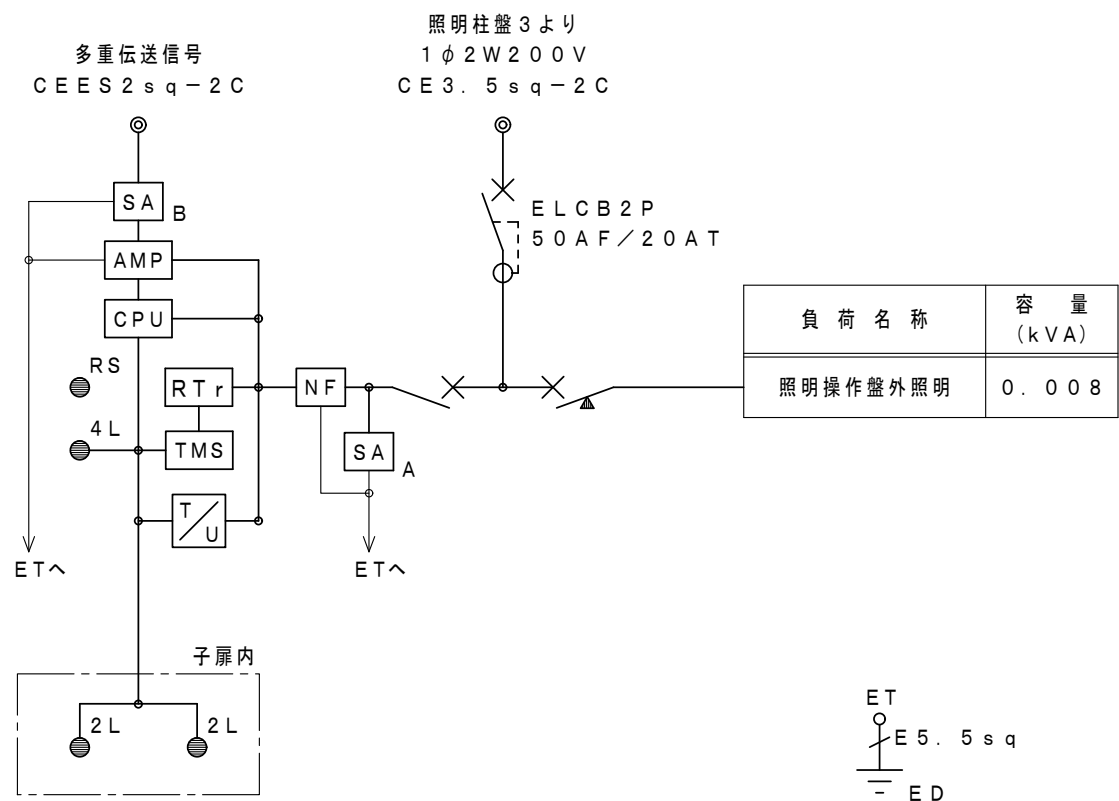


受変電設備配置・立面図 (改修後) S=1/30

※図中の記入寸法は全て参考とする。

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事	CHECKED, BY				株 式 白 兎 設 計 事 務 所	鳥取県知事 登録番号 第06-820 管理建築士（一級建築士登録番号 318668） 田中 一義	PROJECT NO・	DATE	DRAWING, BY	
							2023K — 10	2024.3		一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
							DRAWING NO・	SCALE		
							E — 09	A1 : S=1/30 A3 : S=1/60		
受変電設備配置・立面図（改修前・後）										

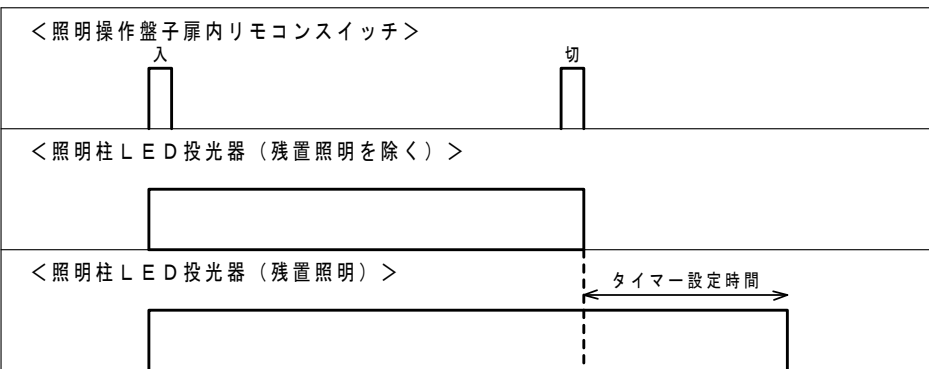
照明操作盤結線図



= 凡 例 =

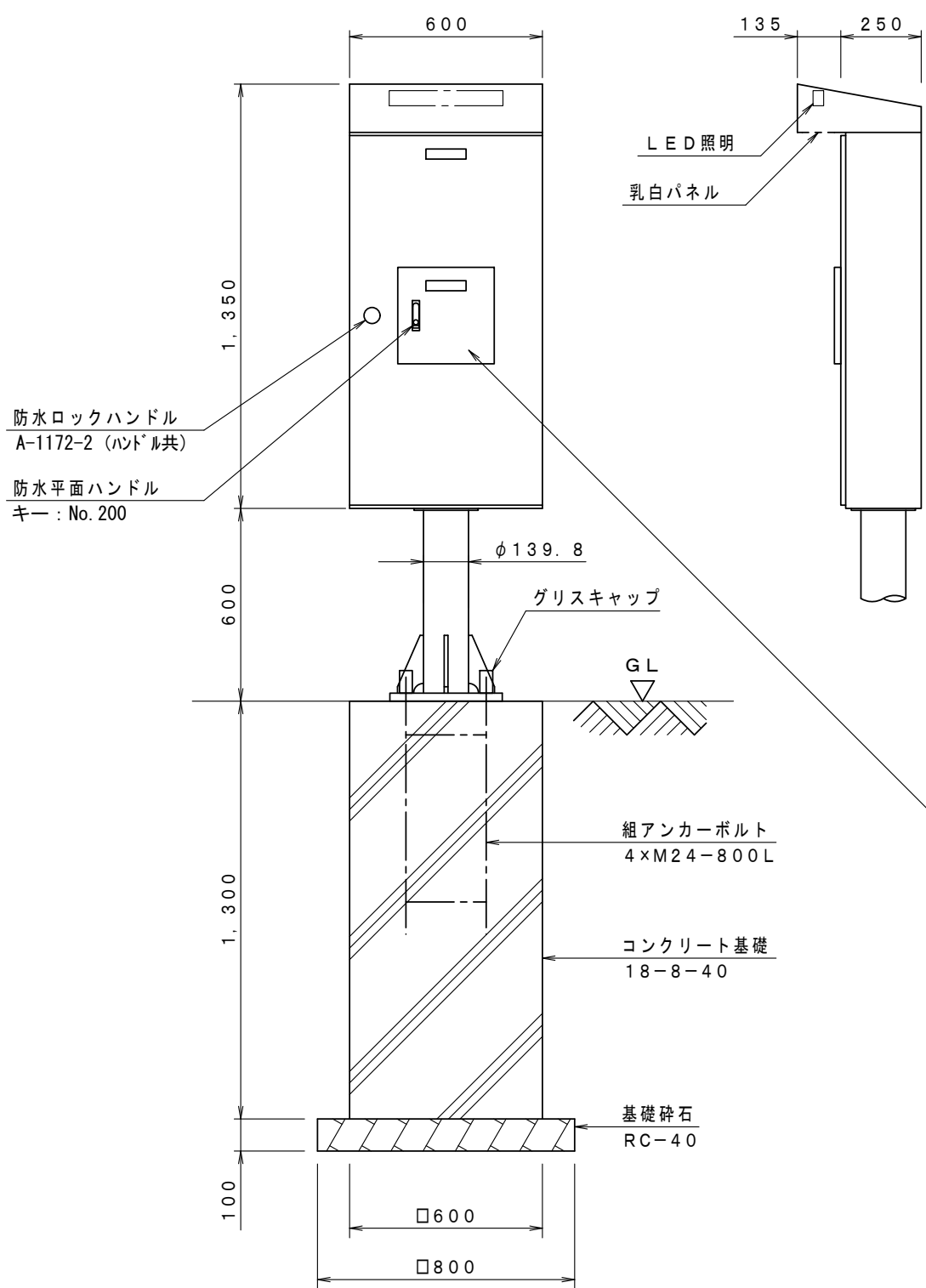
- × R-MCCB (CL)
2P50AF/15AT
MCCB
2P50AF/15AT
- CPU : 伝送ユニット WR2050
- RT r : リモコントランス WR2311
- AMP : 増幅器 WR3913
- TMS : プログラムタイマー
ソーラー機能付
R-MCCB制御用 WR34509K
端末器 (4回路用)
- TU : リモコンスイッチ nL
- Rn : 小型パターン・グループ設定器
(アドレス設定機能付) WR19600
- NF : ノイズフィルター WR2701
- SA A : サージアプソーバー (電源用)
- SA B : サージアプソーバー (信号用)

照明制御表



注1) 消し忘れ・日中点灯が無いよう操作盤内タイマーにて消灯時間を設定できること。
注2) 照明操作盤外照明は、操作盤内タイマーにて点灯及び消灯の設定ができること。

照明操作盤参考姿図 S=1/20

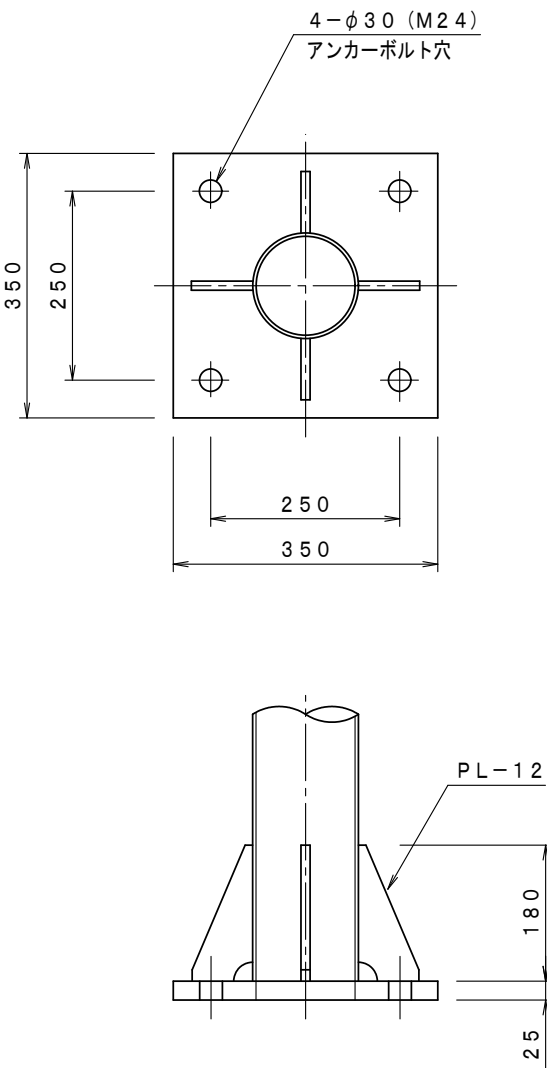


LED照明参考図

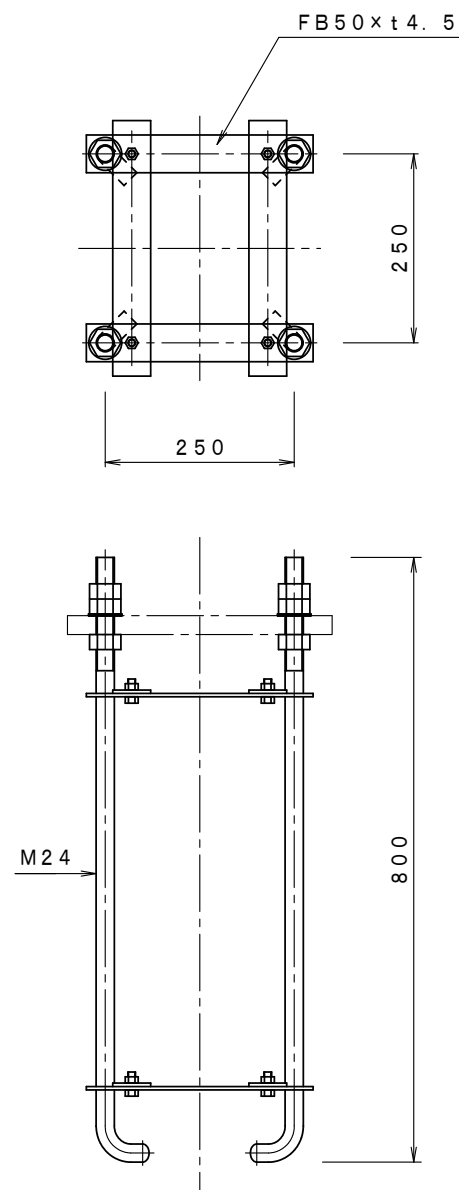


屋外自立型 (防水型)
図体: SUS304製 (指定色焼付塗装)
ポール: 鋼管 (溶融亜鉛メッキ・指定色焼付塗装)
中扉はマグネットキャッチとする。
内蔵LED照明を交換できる構造とすること。
タキゲンNo. 200キーは3個以上納入のこと。
図中寸法は、参考とする。

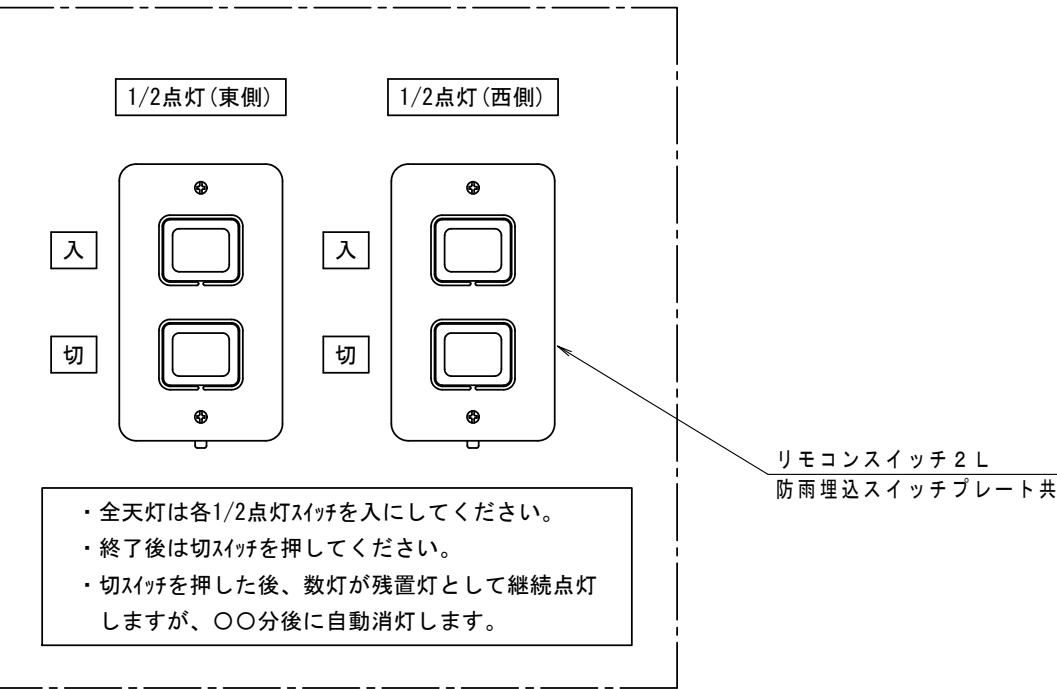
ベースプレート参考図 S=1/10



縦アンカーボルト参考図 S=1/10

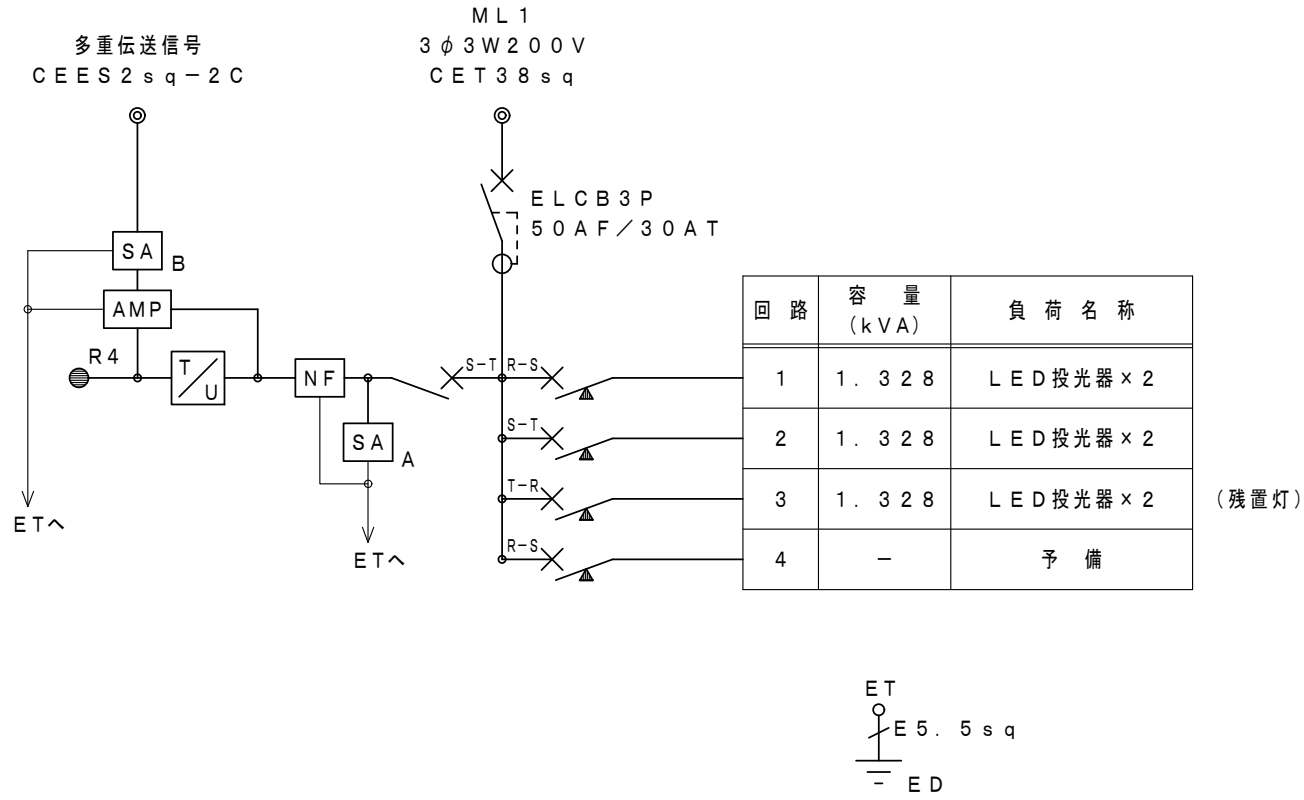


【子屋内】

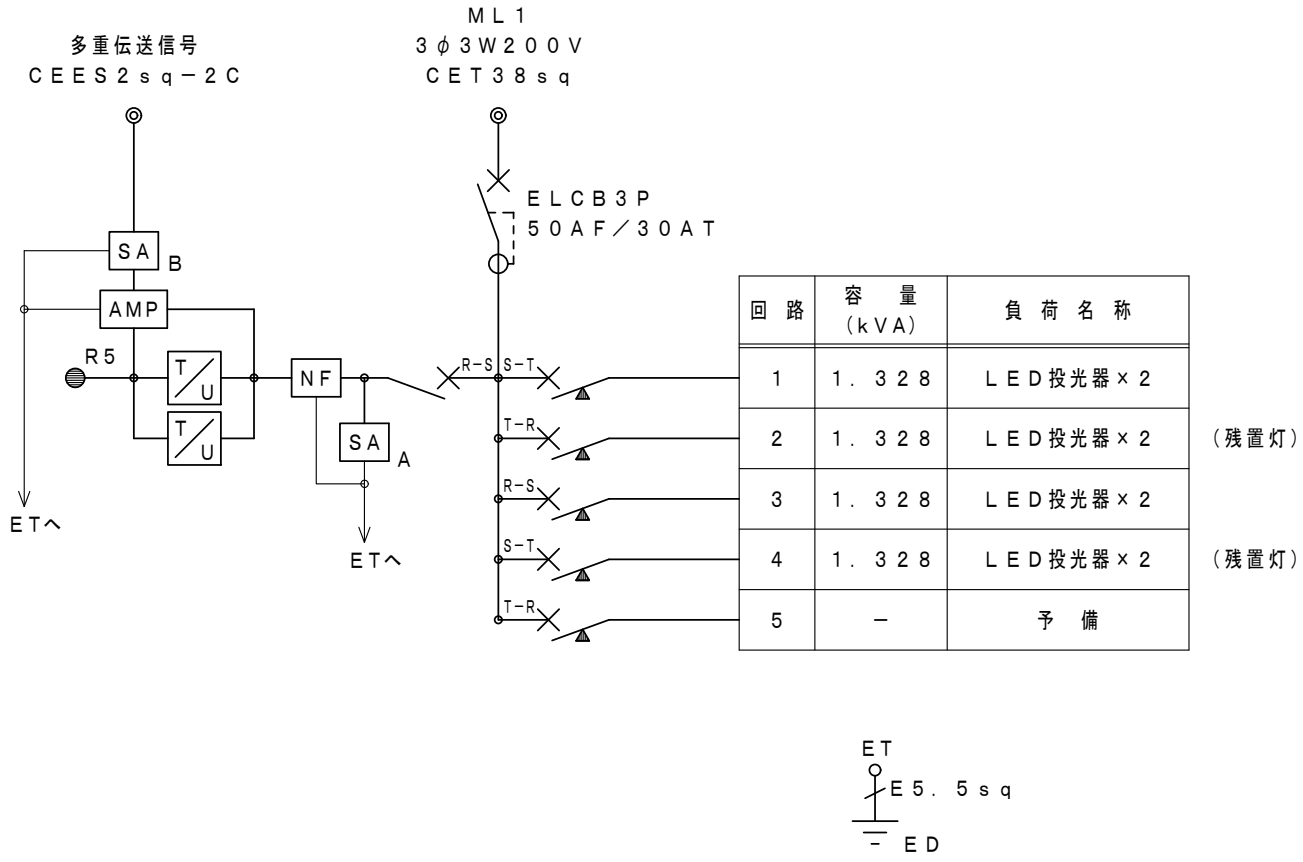


照明柱盤結線図・参考姿図

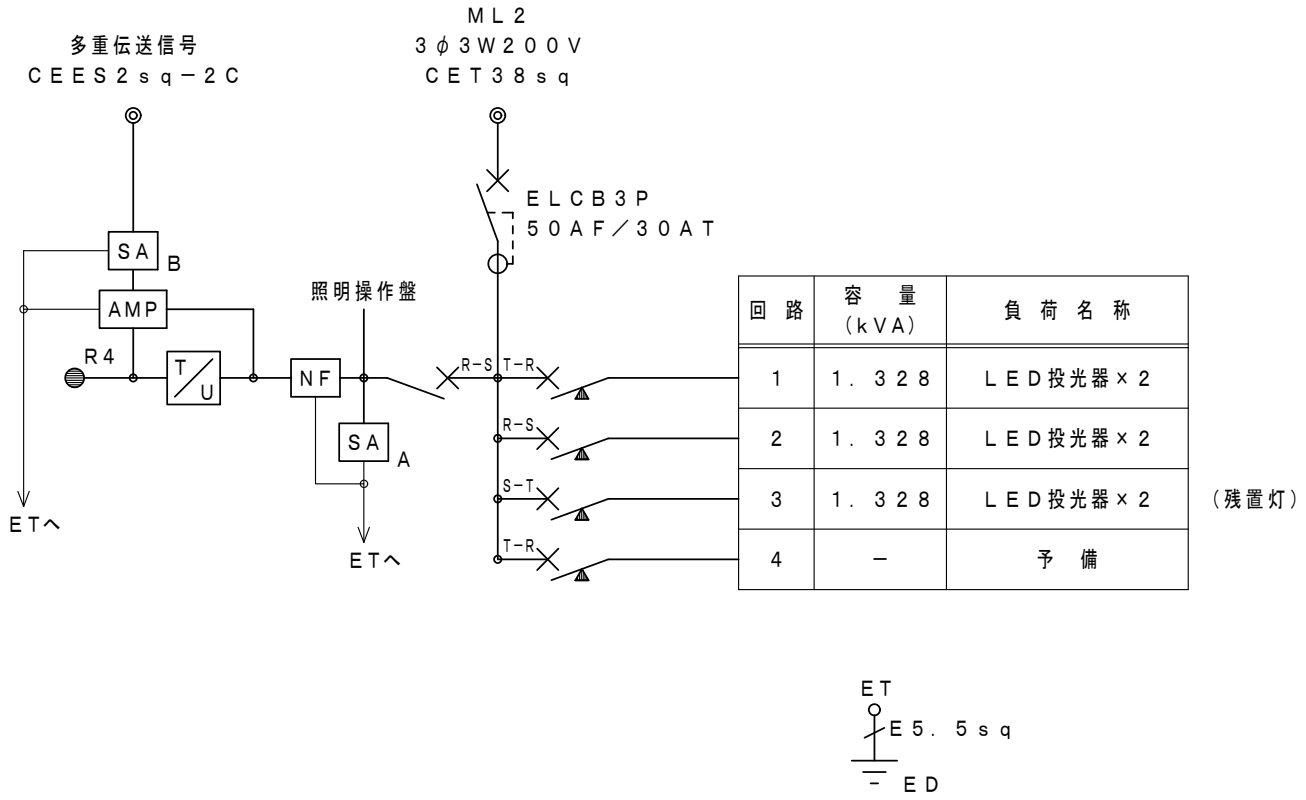
照明柱盤 1



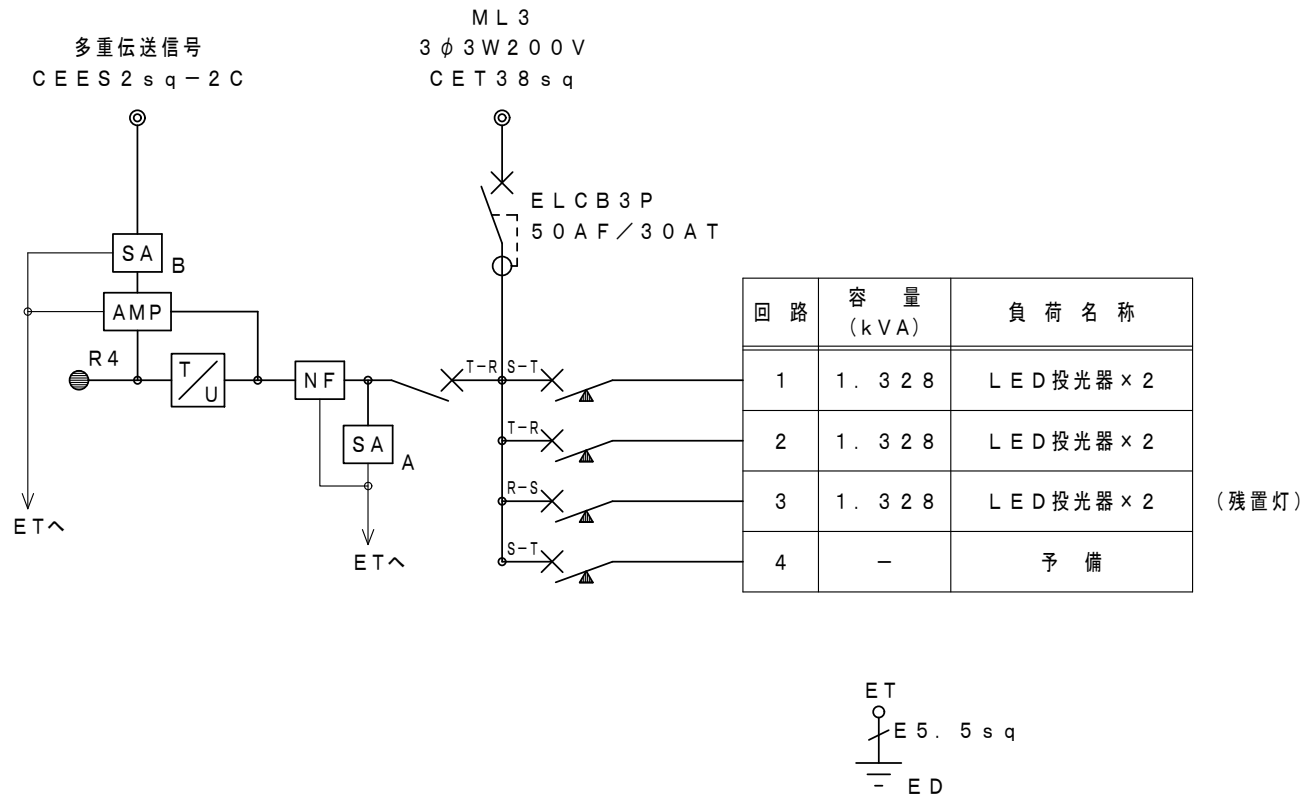
照明柱盤 2



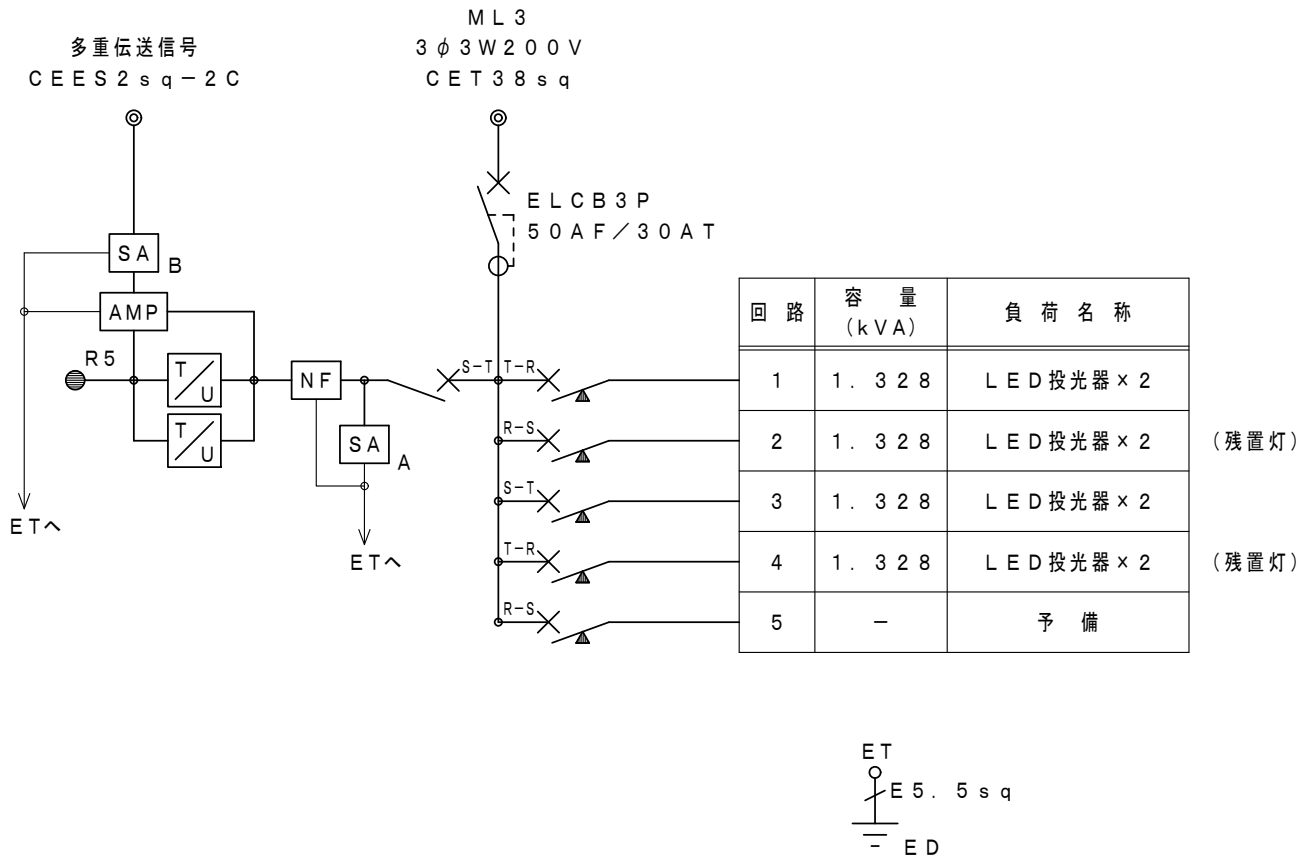
照明柱盤 3



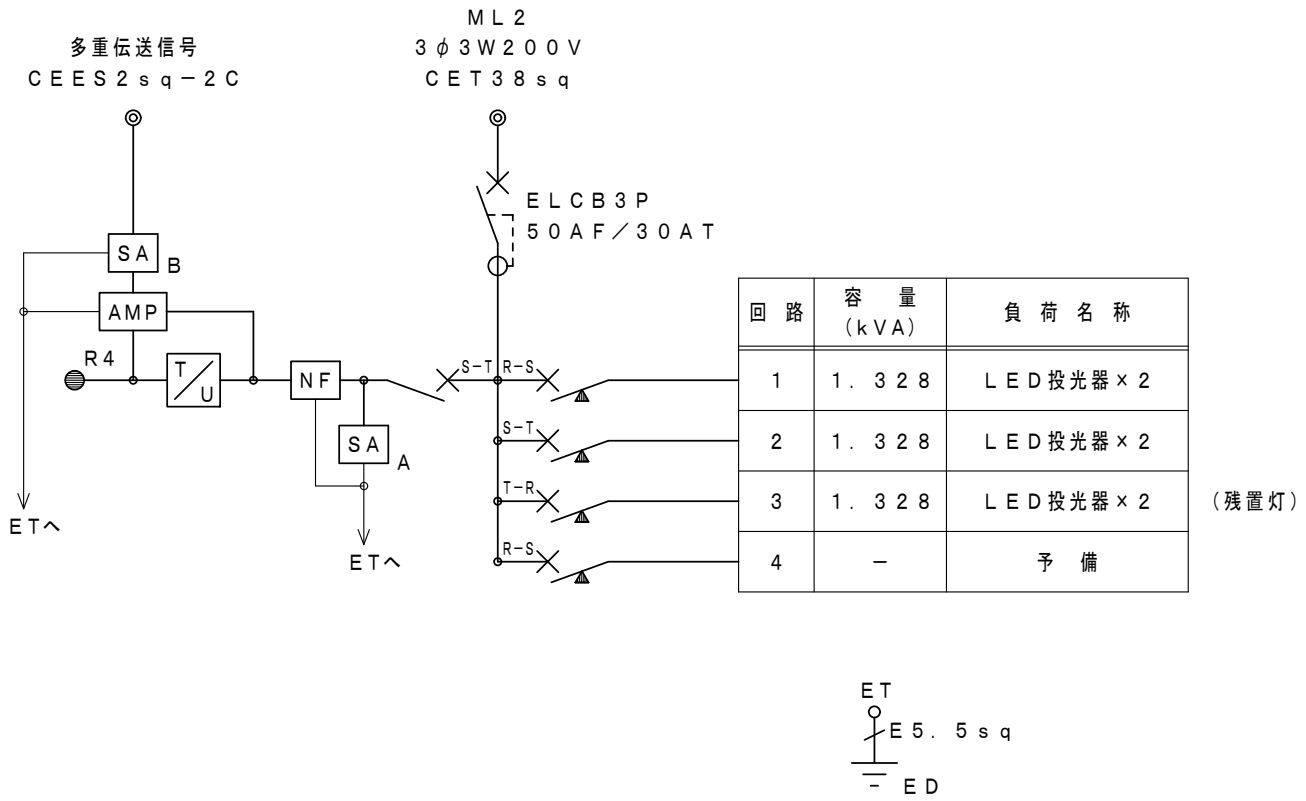
照明柱盤 4



照明柱盤 5

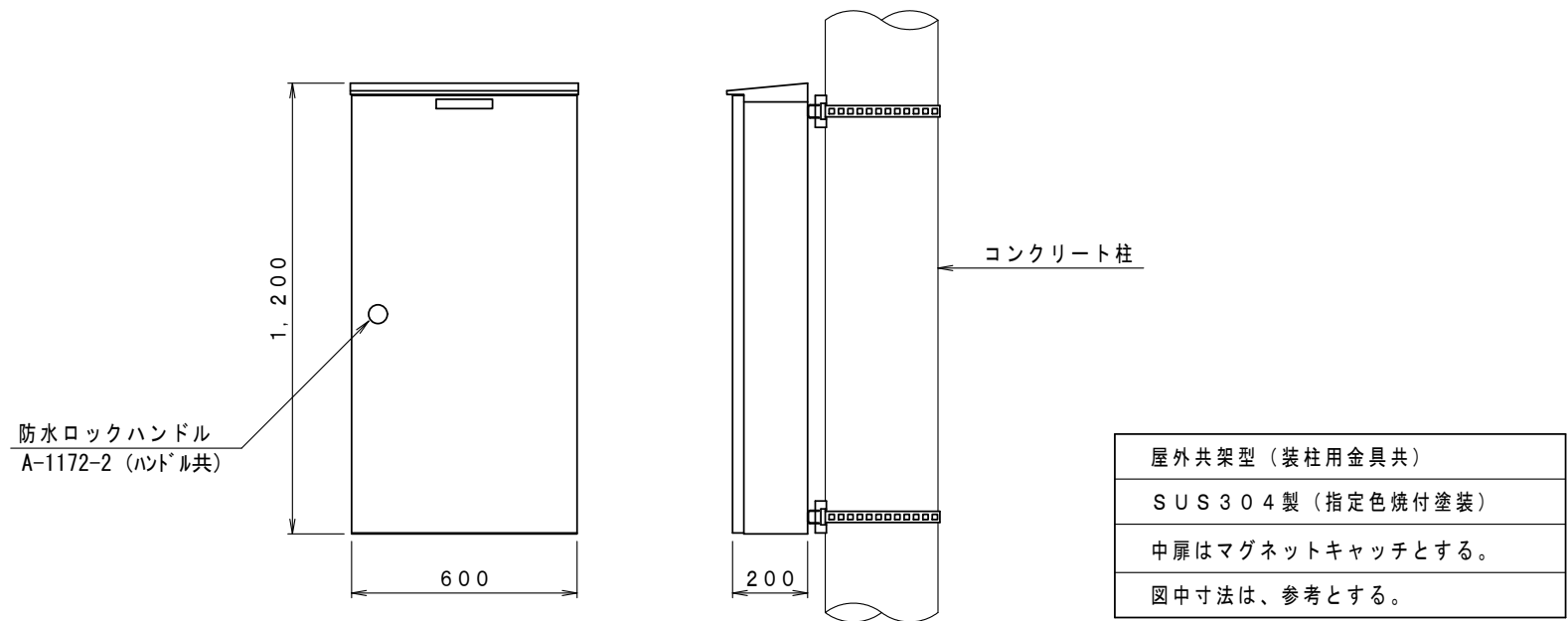


照明柱盤 6



= 凡 例 =

- R-MCCB (CL)
2P50AF/15AT
MCCB
2P50AF/15AT
- AMP : 増幅器 WR3913
- R-MCCB制御用
増設器 (4回路用)
- Rn : リモコンスイッチnL
- NF : ノイズフィルター WR2701
- SA A : サージアブソーバー (電源用)
- SA B : サージアブソーバー (信号用)
WR3925



東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

照明柱盤結線図・参考姿図

CHECKED, BY

株式会社 白兔設計事務所

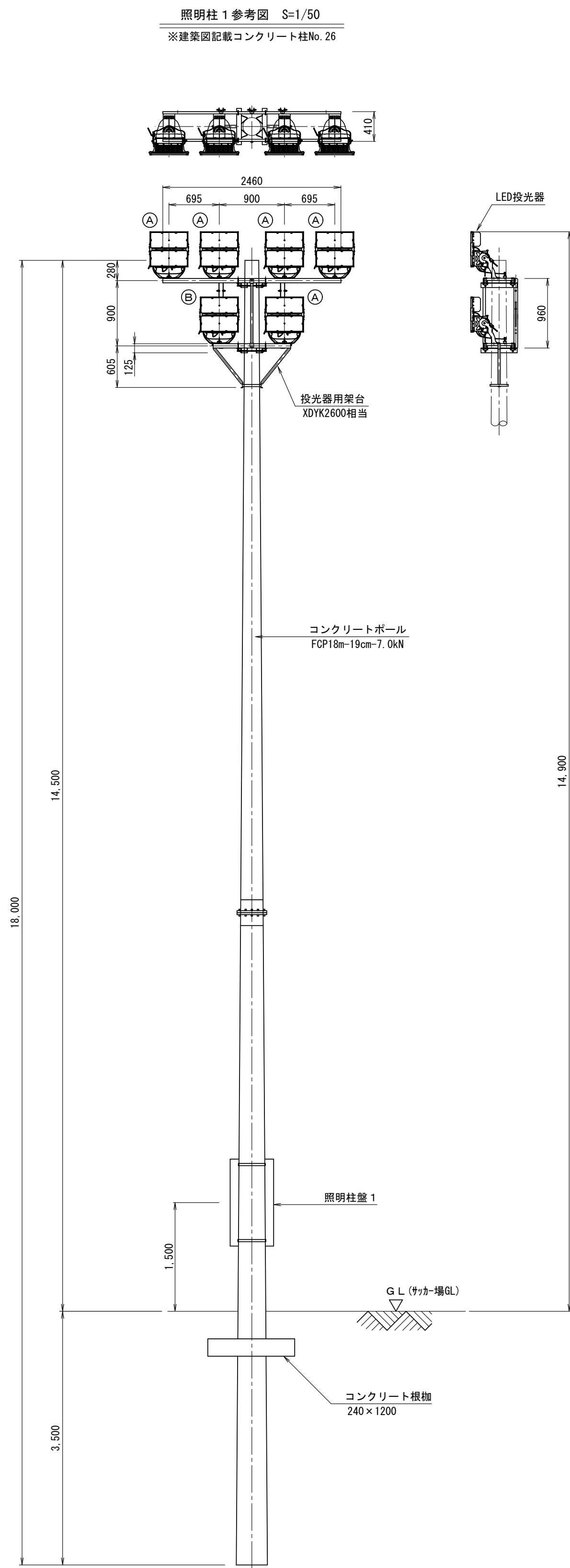
鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士 (一級建築士登録番号 318668) 田中 一義

PROJECT NO・
2023K-10
DRAWING NO・
E-11

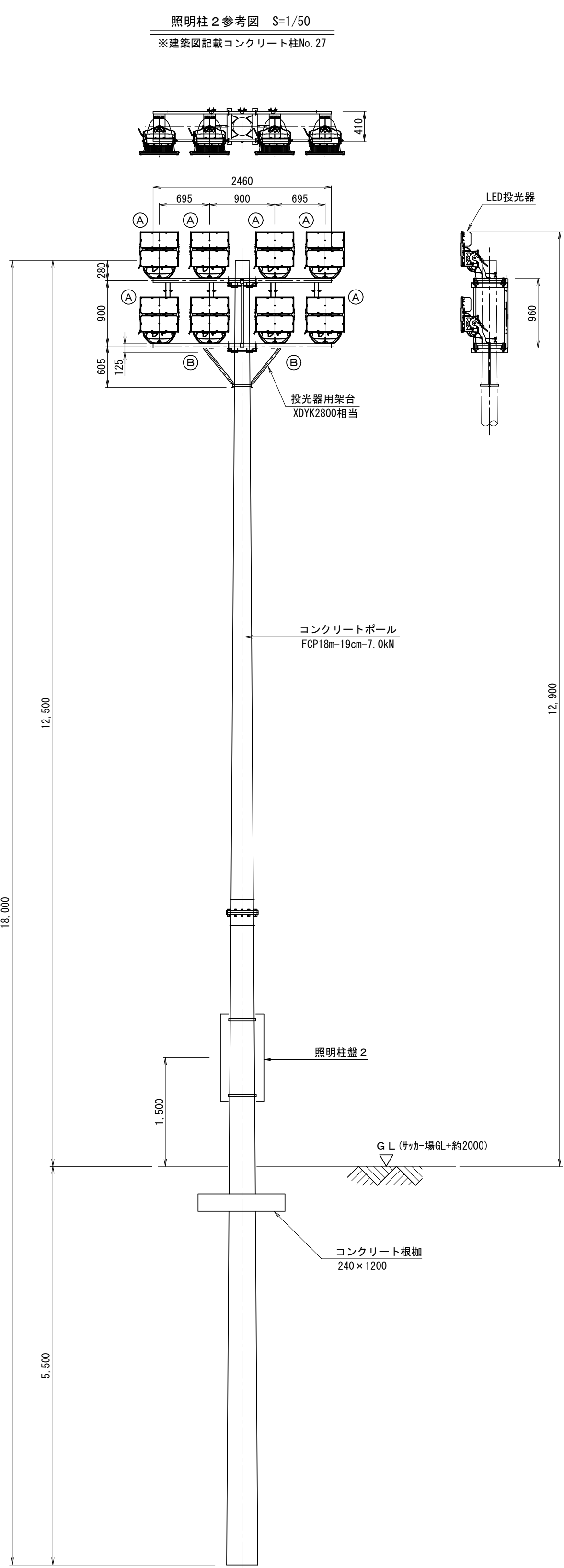
DATE
2024.3
SCALE
A1:-
A3:-

DRAWING, BY
一級建築士登録番号
第318668号
田中 一義

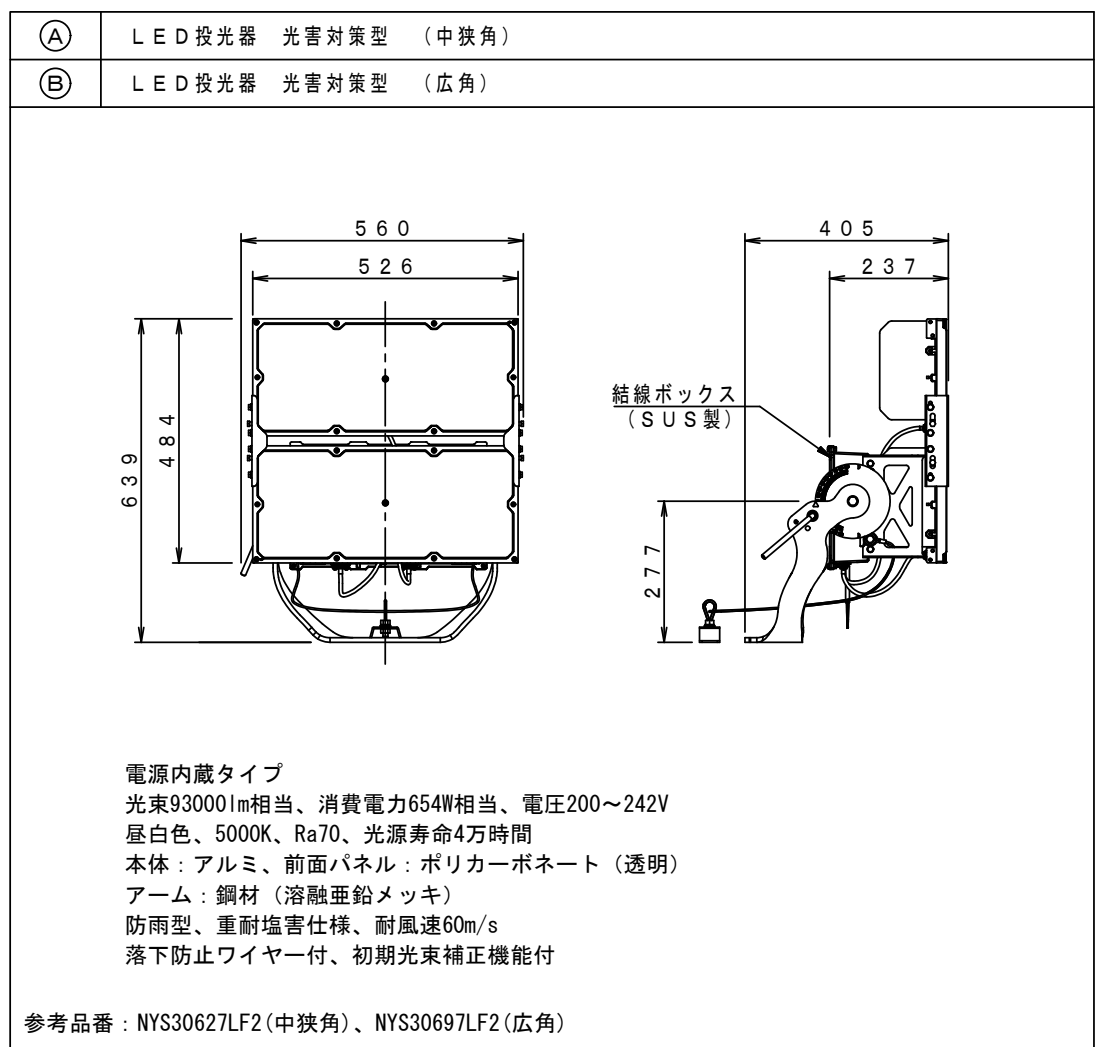
照明柱参考図（１）・照明器具参考図



- ※ 投光器架台表面仕上：溶融亜鉛メッキ仕上げ（HDZ46）
- ※ ボルト・ナット：亜鉛メッキ仕上げ
- ※ 図中の記入寸法はすべて参考とする。
- ※ コンクリート柱の詳細は建築図を参照のこと。
- ※ 施工前に必ず強度計算を行い監理員の承諾を得ること。



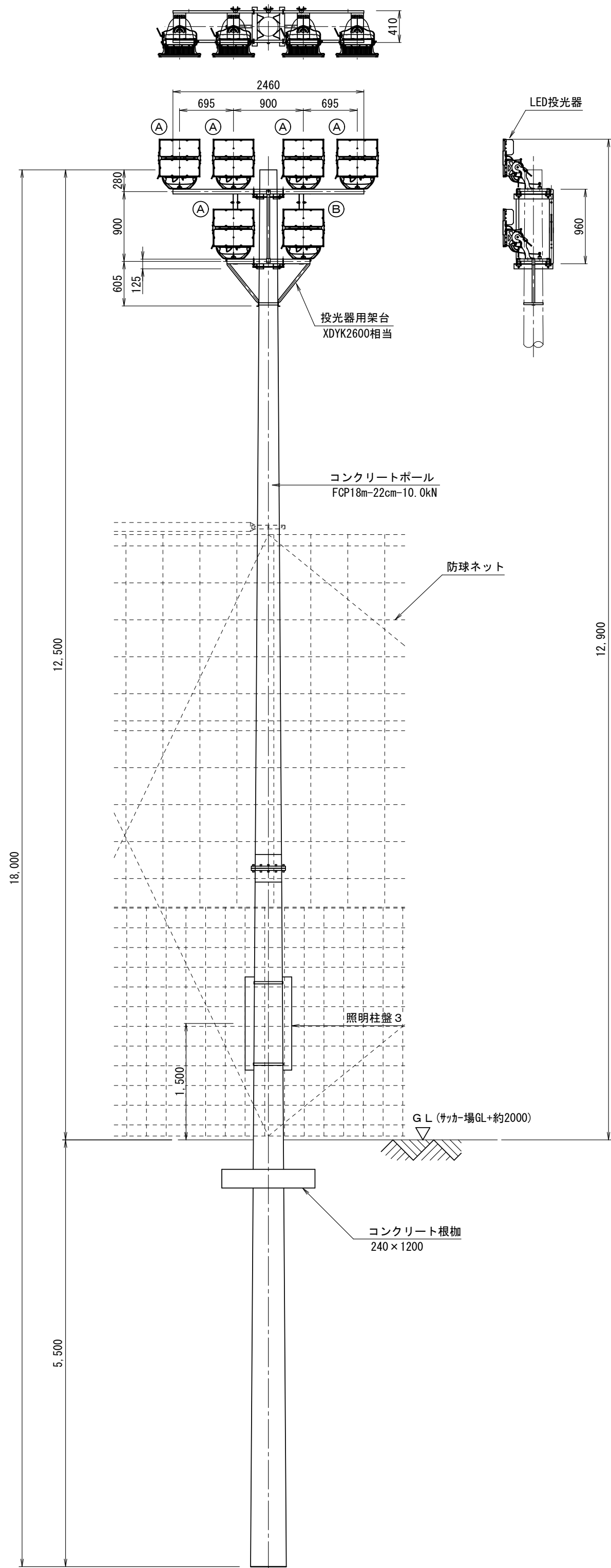
照明器具参考図



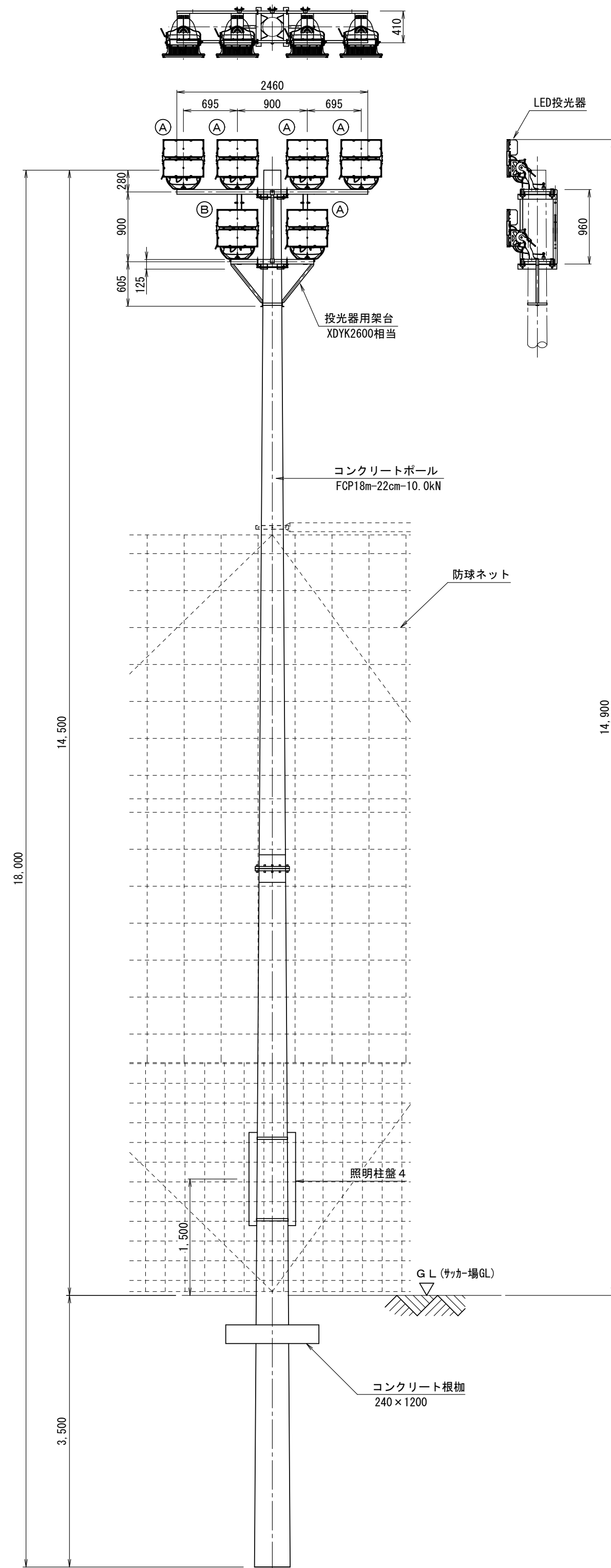
照明柱参考図（２）

- ※ 投光器架台表面仕上：溶融亜鉛メッキ仕上げ（H D Z ４５）
- ※ ボルト・ナット：亜鉛メッキ仕上げ
- ※ 図中の記入寸法はすべて参考とする。
- ※ 照明柱３・４は防球ネット柱と兼用となるため、配管・壁等
取付位置は要調整のこと。
- ※ コンクリート柱の鉄線は建築図を参照のこと。
- ※ 施工前に必ず強度計算を行い監督員の承認を得ること。

照明柱 3 参考図 S=1/50
※建築図記載コンクリート柱No. 2



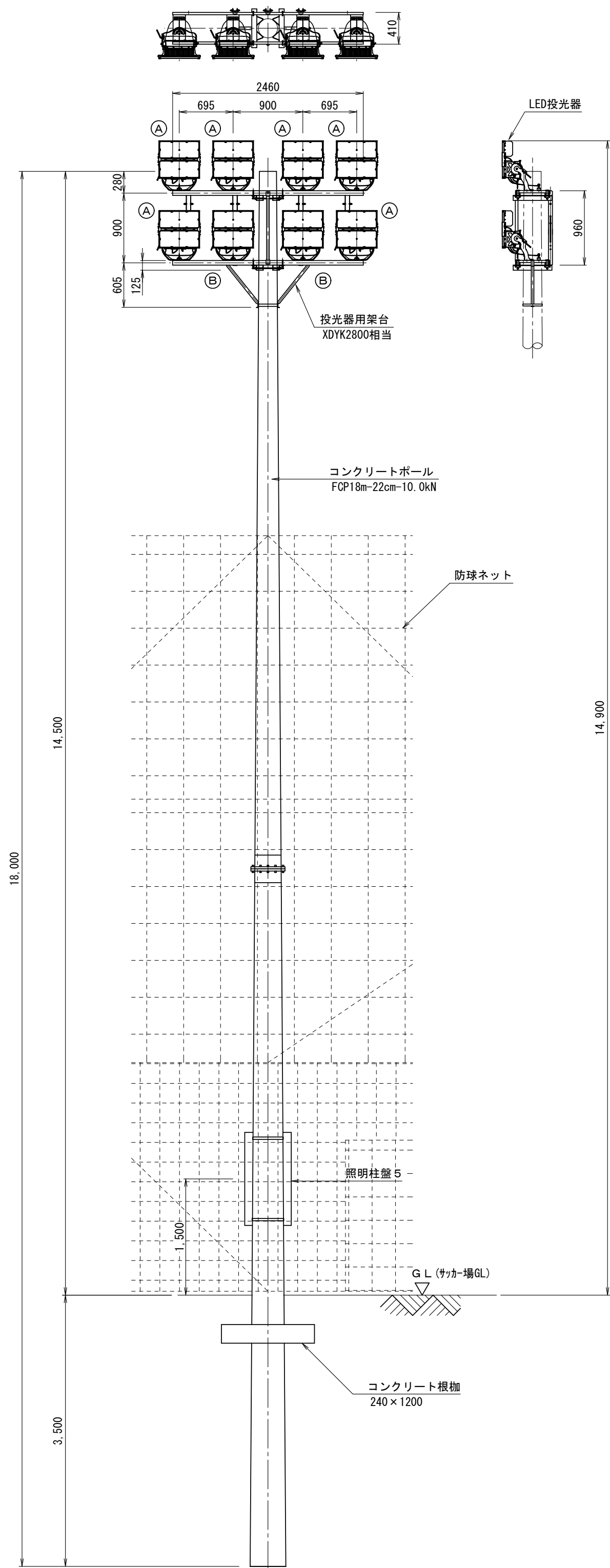
照明柱 4 参考図 S=1/50
※建築図記載コンクリート柱No. 24



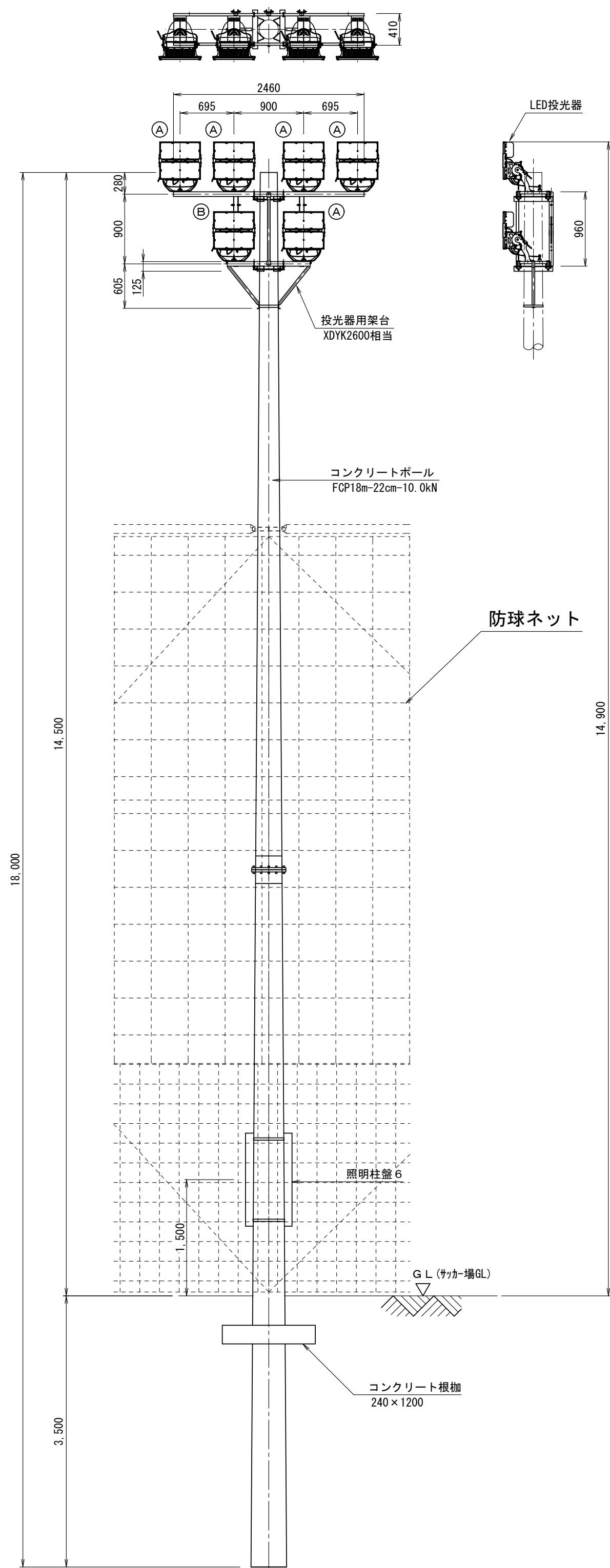
照明柱参考図（3）

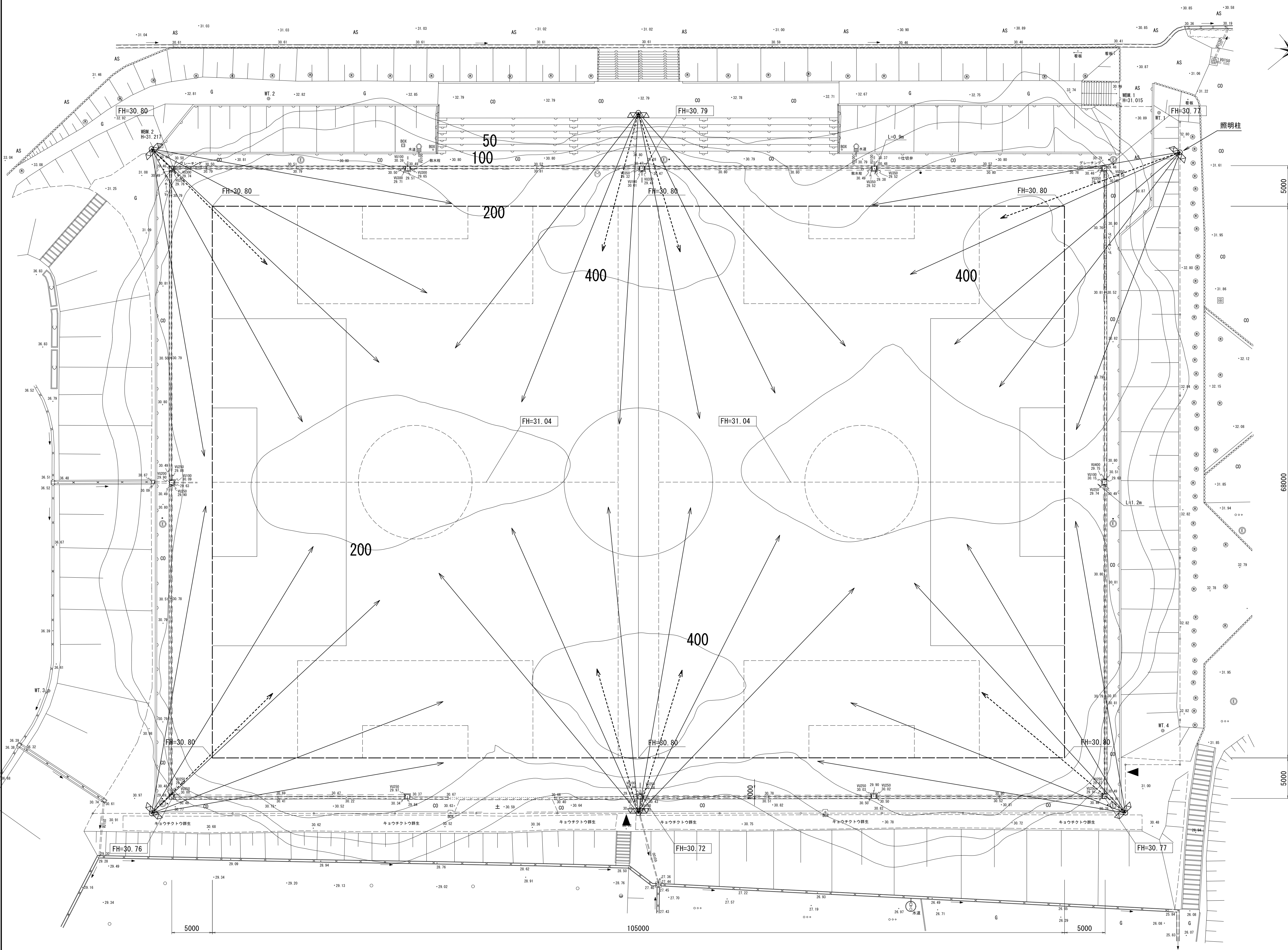
- ※ 投光器架台表面仕上：溶融亜鉛メッキ仕上げ（H D Z 4 5）
- ※ ボルト・ナット：亜鉛メッキ仕上げ
- ※ 図中の記入寸法はすべて参考とする。
- ※ 照明柱 5・6 は防球ネット柱と兼用となるため、配管・壁等
取付位置は要調整のこと。
- ※ コンクリート柱の鉄線は建築図を参照のこと。
- ※ 施工前に必ず強度計算を行い監督員の承認を得ること。

照明柱 5 参考図 S=1/50
※建築図記載コンクリート柱No. 18



照明柱 6 参考図 S=1/50
※建築図記載コンクリート柱No. 12





	→	-----→
器具品番	光害対策型投光器1.5kw(中挟角)	光害対策型投光器1.5kw(広角)
ランプ	LED	LED
全光束	93,000 lm	93,000 lm
保守率	0.81	0.81
取付高さ	14 m	13.75 m
取付角度	VA = 69 ～ 70 度	VA = 51.543 ～ 59.263 度
取付台数	32 台	8 台

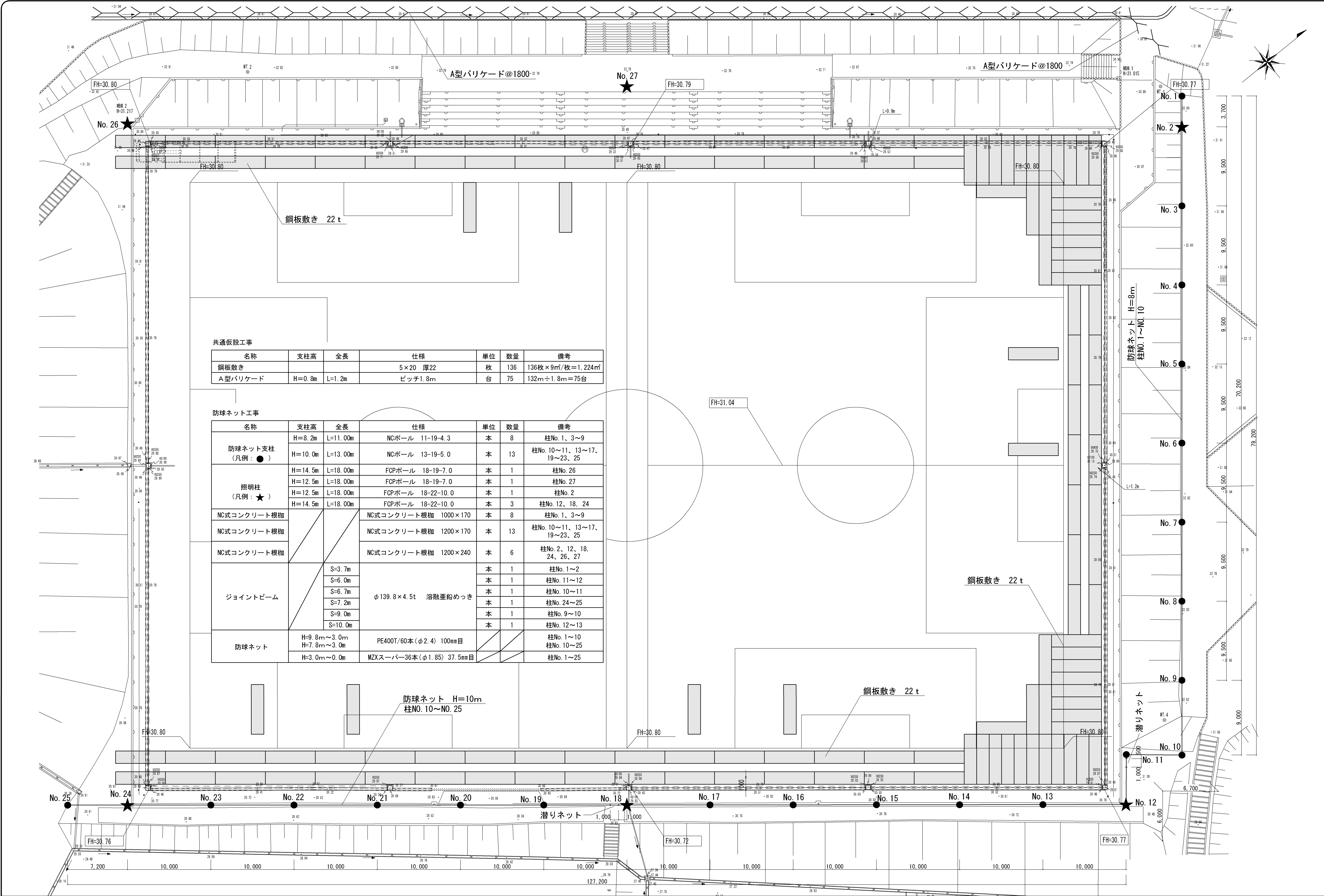
エリア	サッカー場
平均照度	287 lx
最小照度	146 lx
最大照度	606 lx
G1 (最小／平均)	0.509
G2 (最小／最大)	0.242

※平均照度 200 lx以上

※照度均斉度 0.5 以上

照度分布図 S=1/250

単位：lx



共通仮設工事						
名称	支柱高	全長	仕様	単位	数量	備考
鋼板敷き			5×20 厚22	枚	136	136枚×9㎡/枚=1,224㎡
A型バリケード	H=0.8m	L=1.2m	ピッチ1.8m	台	75	132m÷1.8m=75台

防球ネット工事						
名称	支柱高	全長	仕様	単位	数量	備考
防球ネット支柱 (凡例：●)	H=8.2m	L=11.00m	NCポール 11-19-4.3	本	8	柱No. 1、3～9
	H=10.0m	L=13.00m	NCポール 13-19-5.0	本	13	柱No. 10～11、13～17、19～23、25
照明柱 (凡例：★)	H=14.5m	L=18.00m	FCPポール 18-19-7.0	本	1	柱No. 26
	H=12.5m	L=18.00m	FCPポール 18-19-7.0	本	1	柱No. 27
	H=12.5m	L=18.00m	FCPポール 18-22-10.0	本	1	柱No. 2
	H=14.5m	L=18.00m	FCPポール 18-22-10.0	本	3	柱No. 12、18、24
NC式コンクリート根柢			NC式コンクリート根柢 1000×170	本	8	柱No. 1、3～9
NC式コンクリート根柢			NC式コンクリート根柢 1200×170	本	13	柱No. 10～11、13～17、19～23、25
NC式コンクリート根柢			NC式コンクリート根柢 1200×240	本	6	柱No. 2、12、18、24、26、27
ジョイントビーム		S=3.7m	φ139.8×4.5t 溶融亜鉛めっき	本	1	柱No. 1～2
		S=6.0m		本	1	柱No. 11～12
		S=6.7m		本	1	柱No. 10～11
		S=7.2m		本	1	柱No. 24～25
		S=9.0m		本	1	柱No. 9～10
		S=10.0m		本	1	柱No. 12～13
防球ネット	H=9.8m～3.0m H=7.8m～3.0m		PE400T/60本(φ2.4) 100mm目			柱No. 1～10 柱No. 10～25
	H=3.0m～0.0m		MZXスーパー36本(φ1.85) 37.5mm目			柱No. 1～25

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

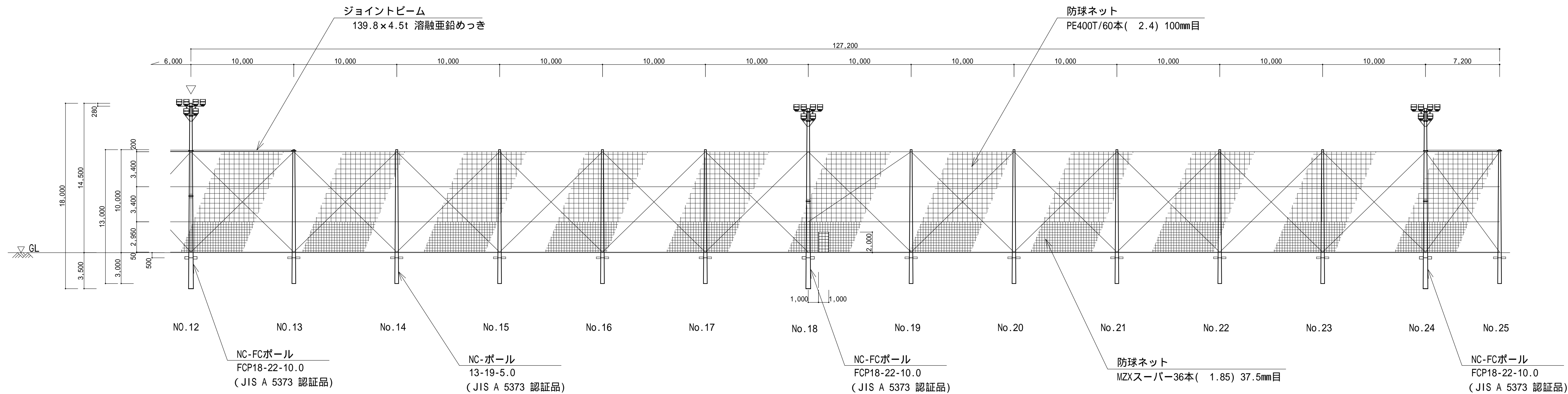
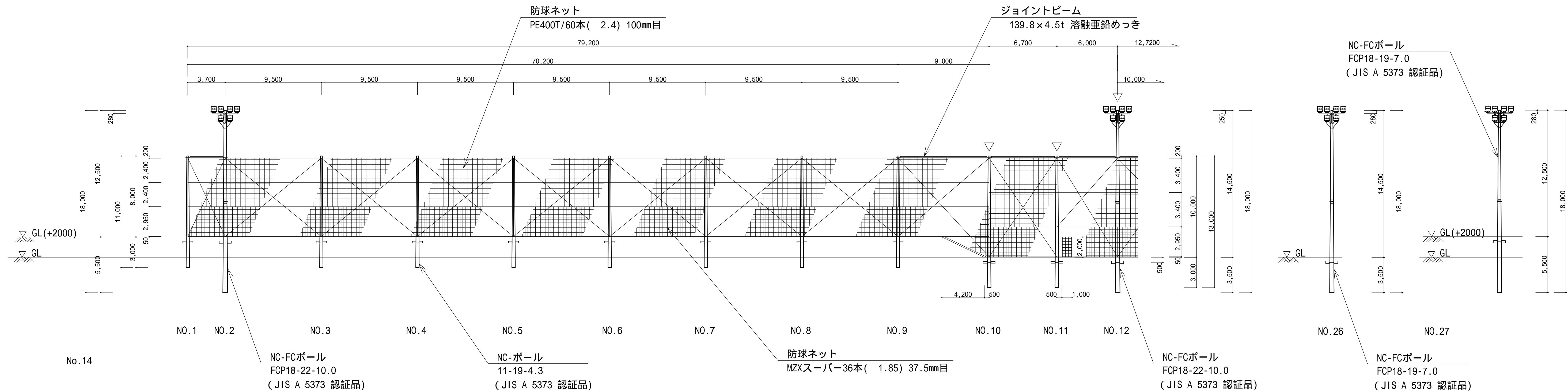
防球ネット平面図・共通仮設図

CHECKED, BY

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士 (一級建築士登録番号 318668) 田中 一義

PROJECT NO.	DATE	DRAWING, BY
2023K-10	2024.3	一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
DRAWING NO.	SCALE	
A-02	A1: S=1/200 A3: S=1/400	



東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

防球ネット展開図

CHECKED BY

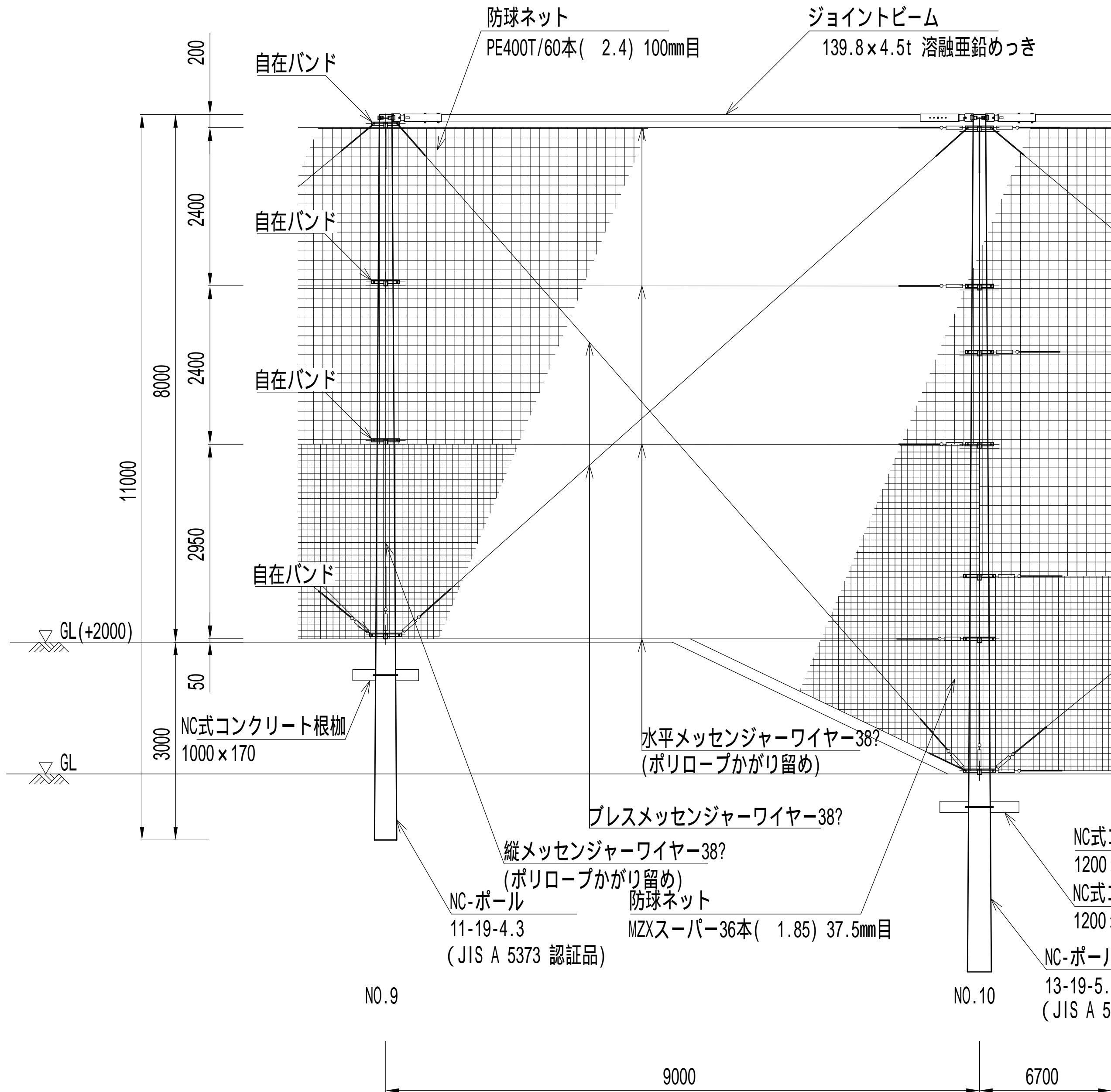
株式会社

白兔設計事務所

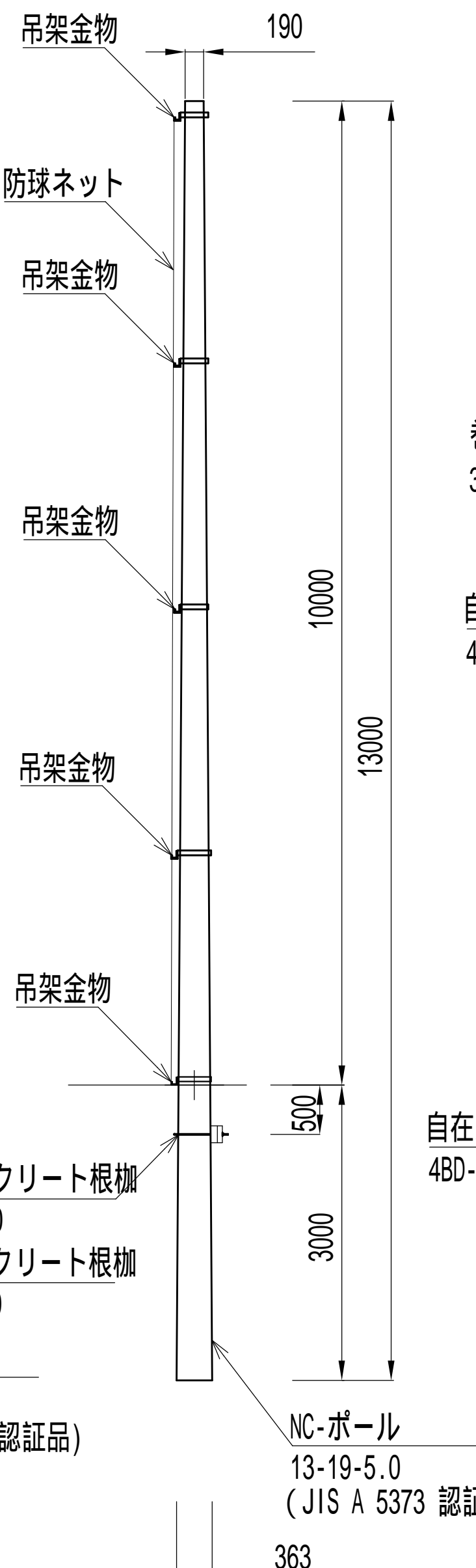
鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士 (一級建築士登録番号 318668) 田中 一義

PROJECT NO.	DATE	DRAWING BY
2023K-10	2024.3	一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
DRAWING NO.	SCALE	
A-03	A1: S=1/200 A3: S=1/400	

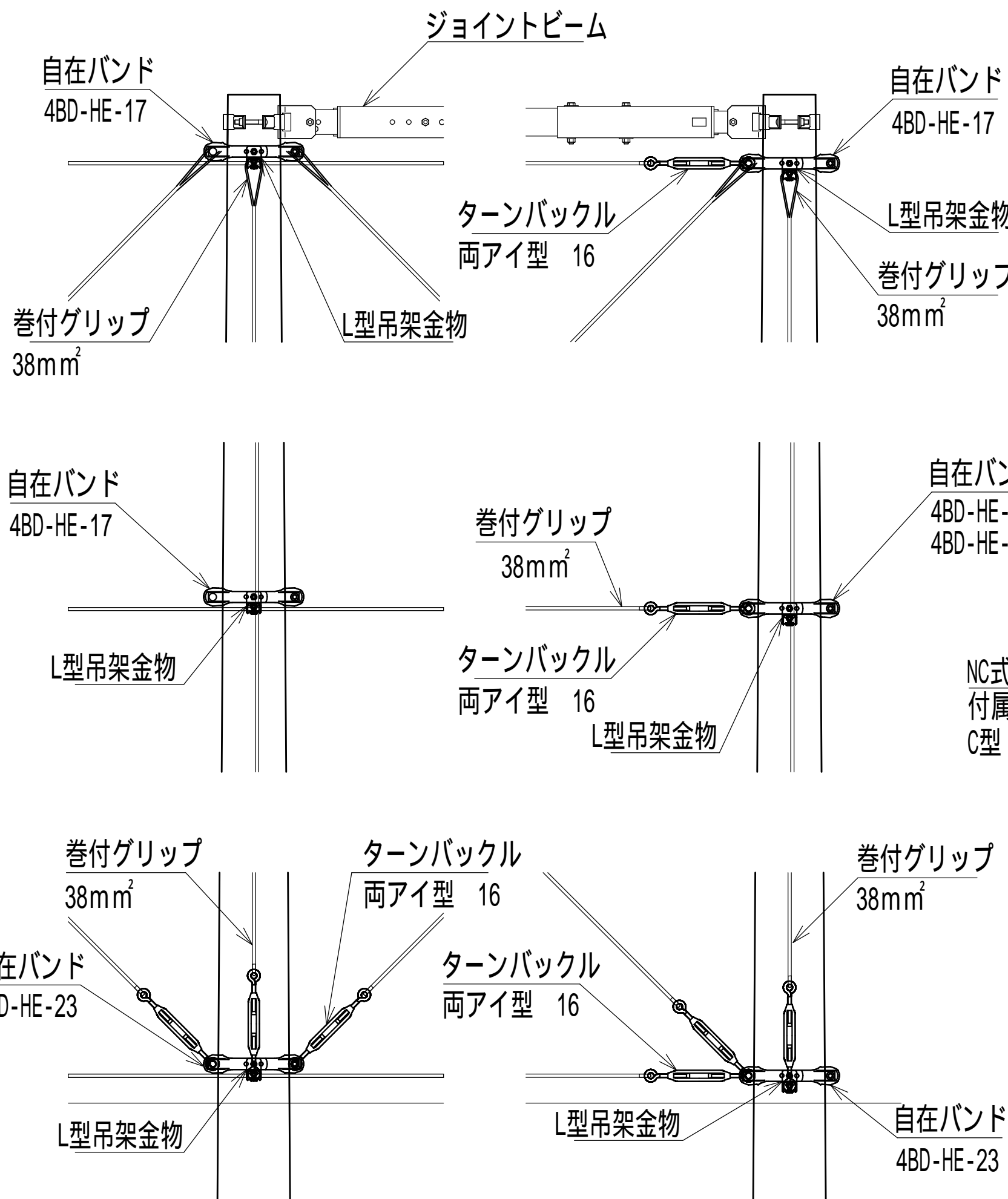
防球ネット詳細図 (N0.9 ~ N0.10)



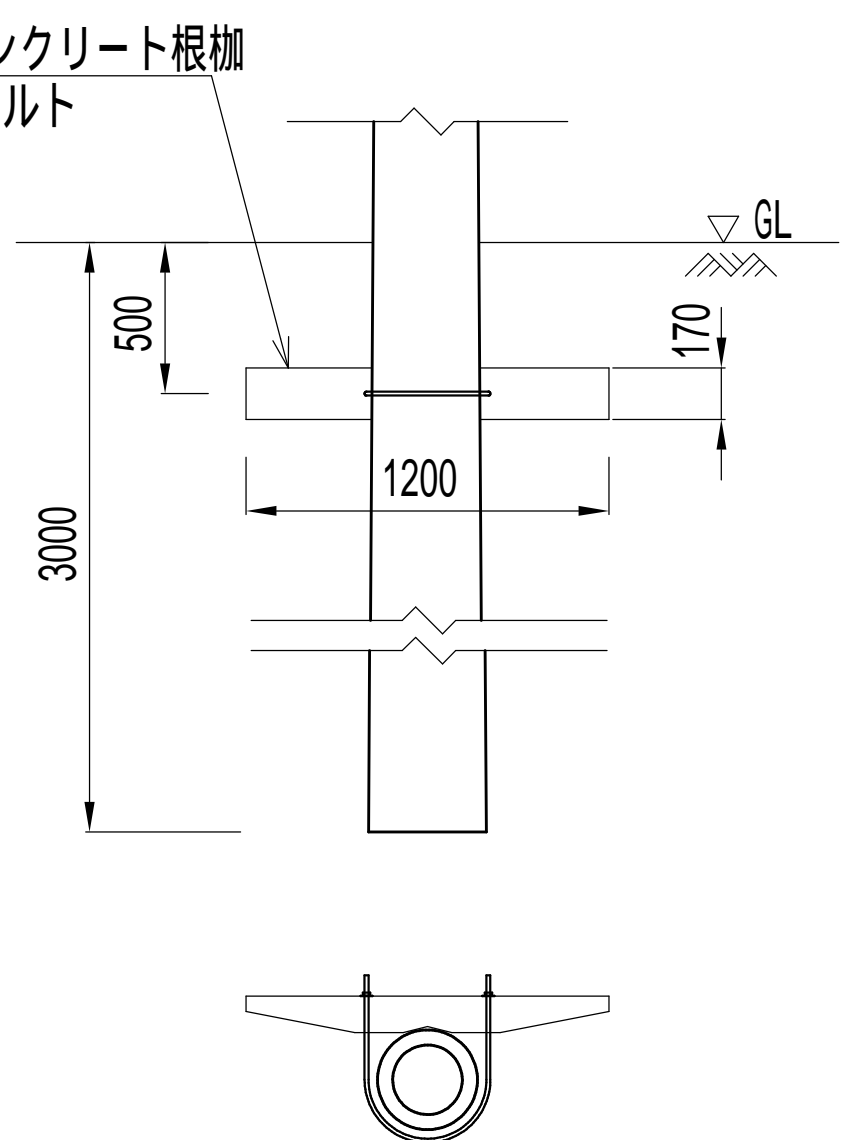
防球ネット正面図 (S=1/100)



防球ネット側面図 (S=1/100)



ネット取付詳細図



基礎詳細図 (S=1/50)

設計条件

風圧荷重：建築基準法施行令第87条の規程に基づき風圧力を算出

基準風速：30m/s

地表面粗度区分：

基礎条件：右表配電規程で区分する土質種別（A～D）のうち、土質（C）を選定

土質の判定方法および種別表（「配電規程」（社）日本電気協会より）

土質の種類		
普通土質	A	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などて硬い土の部類に属するもの
	B	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで柔らかい土の部類に属するもの
軟弱土質	C	流砂（土が混じらないもの）
	D	水分の多い粘土、腐植土、盛土など軟弱な土（深田を除く）

参考：土質種別とN値との関係について（「有線・無線通信工事共通仕様書」（財）防衛調達基盤整備協会より）

土質の判定				土質種別		代表的な地目 (参考)
砂質土	N値	粘性土	N値			
ハンマーで強くたたかなければ測量杭が打ち込めない	30～60	親指で凹ませられるが貫入できない	8～15	A	比較的堅い土	道路、グラウンド等
ハンマーで容易に測量杭が打ち込める	10～30	親指で強く押せば貫入する	4～8	B	普通の土	宅地、畑、道路法敷等
両手で努力すれば測量杭が貫入する	4～10	親指が容易に貫入する	2～4	C	比較的柔らかい土	水田、海岸、河川敷(砂)等
片手で容易に測量杭が打ち込める	4以下	にぎりこぶしが容易に貫入する	2以下	D	軟弱な土	泥炭湿田等 (深田、沼田を除く)

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

防球ネット詳細図 (NO . 9 ~ NO . 10)

CHECKED. E

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第06-820

管理建築士（一級建築士登録番号 318668） 田中 一孝

PROJECT NO.

2023K — 10 | 2024.3

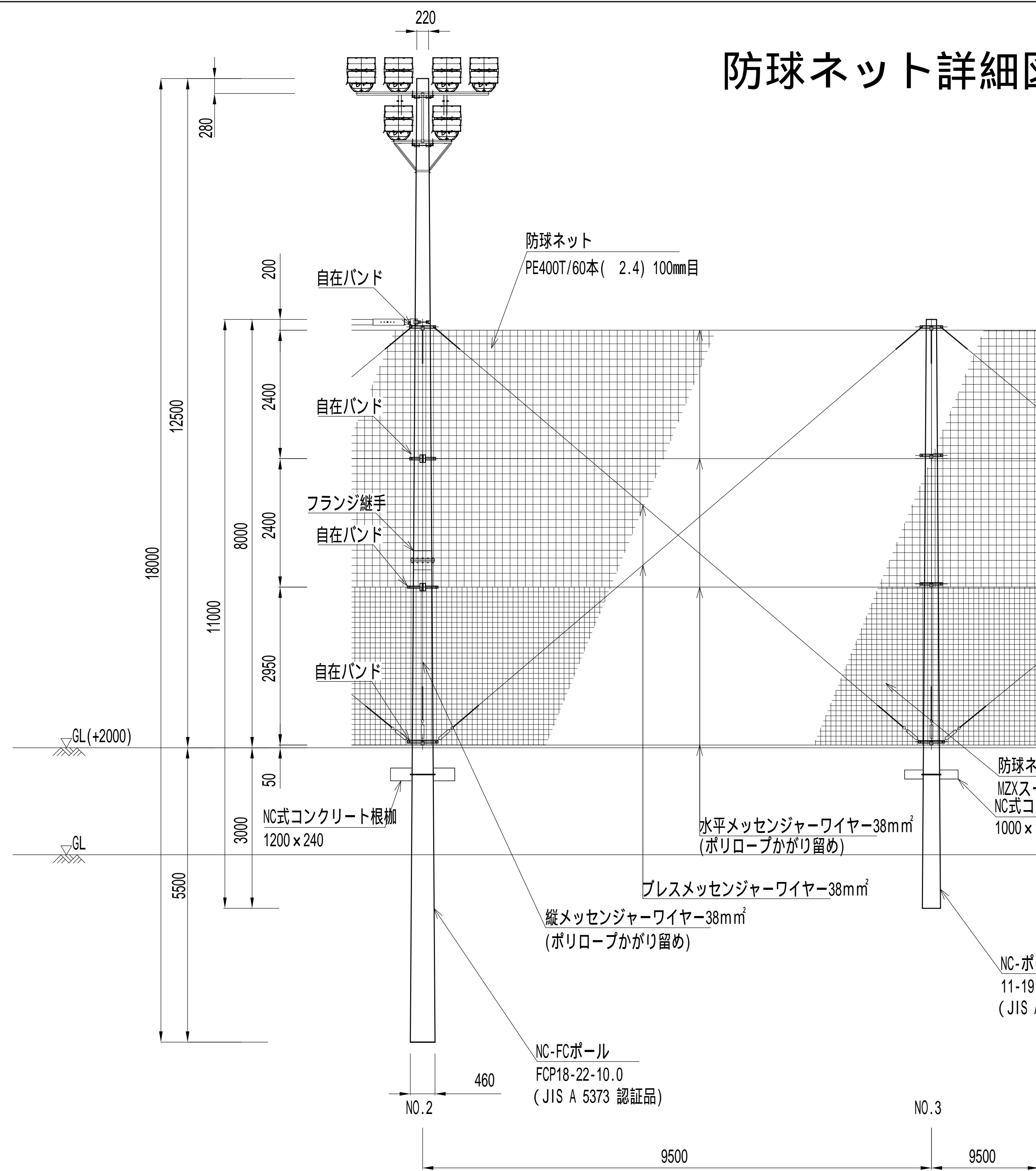
DRAWING NO.	SCALE
-------------	-------

DRAWING BY

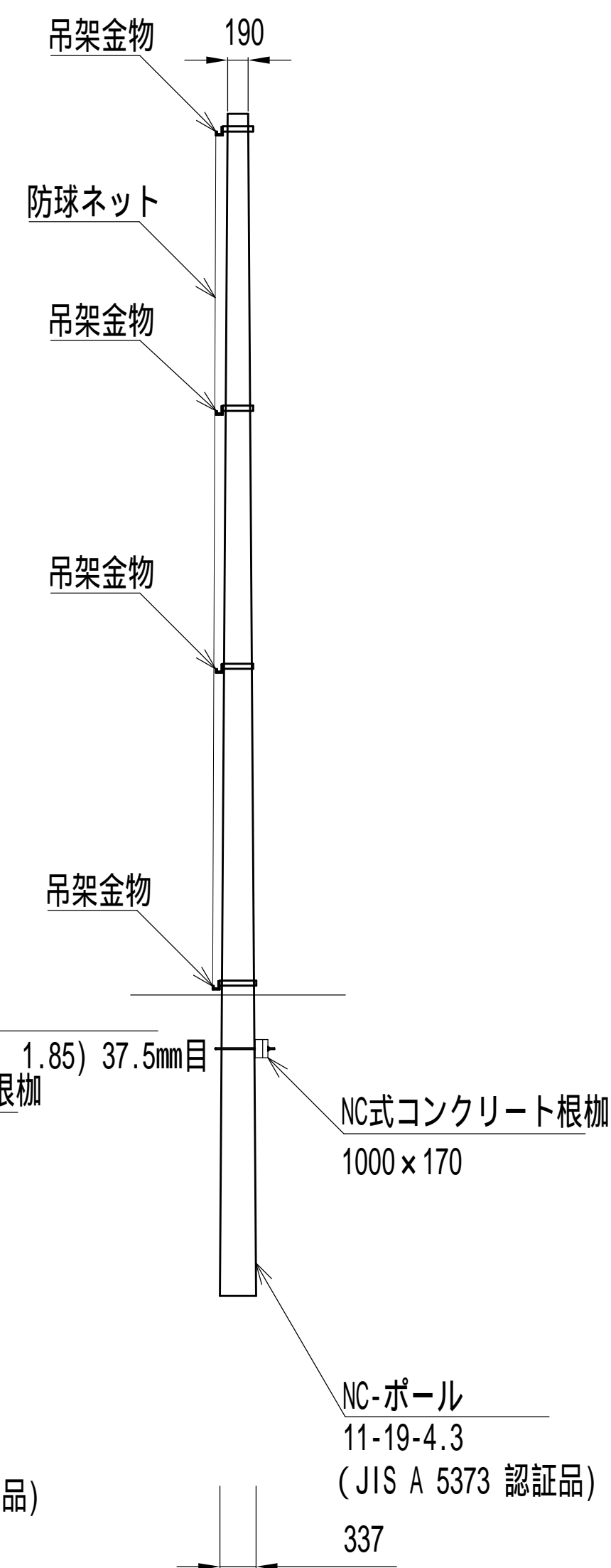
一級建築士登録番号

第318668号

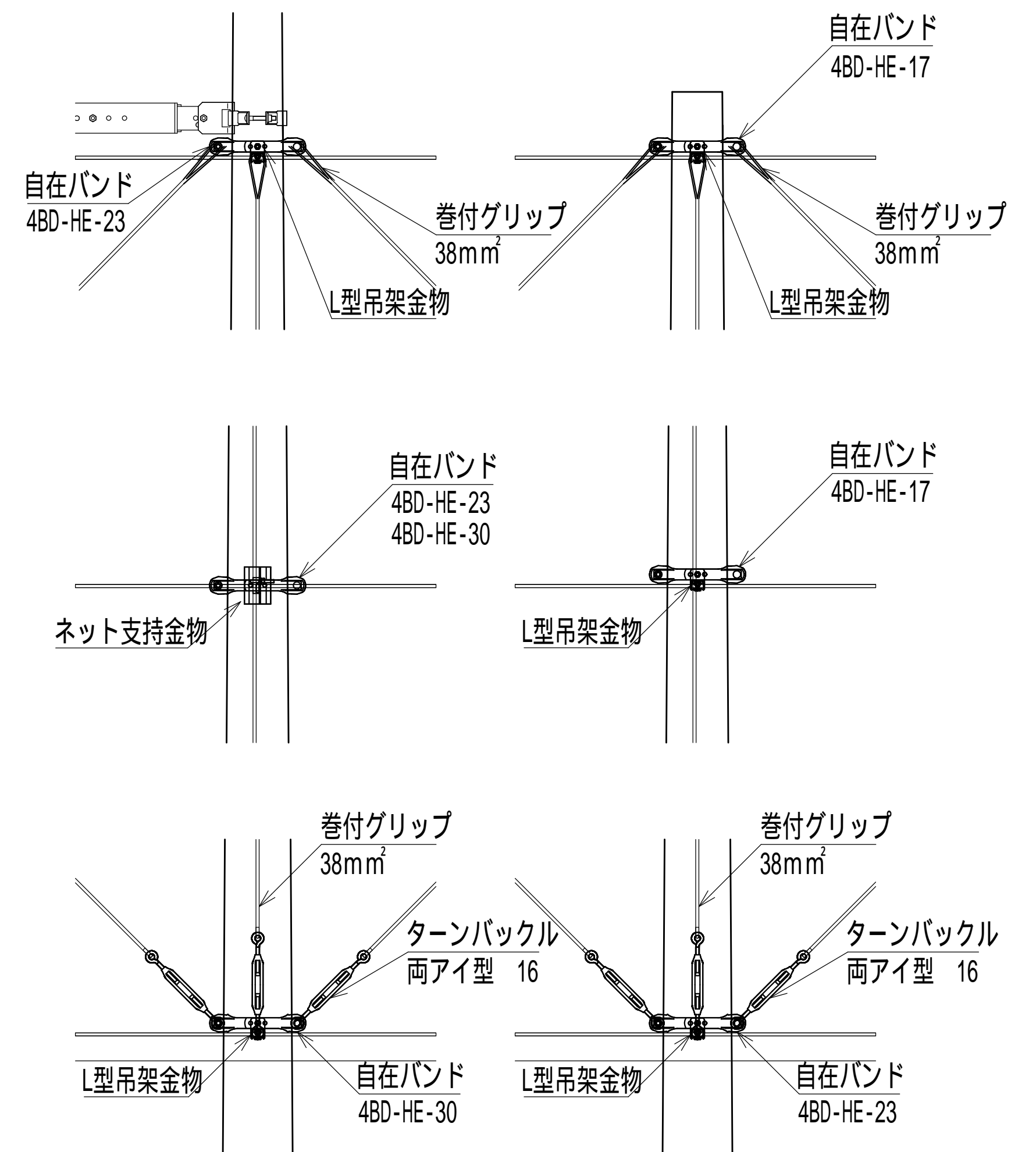
防球ネット詳細図 (NO.2～NO.3)



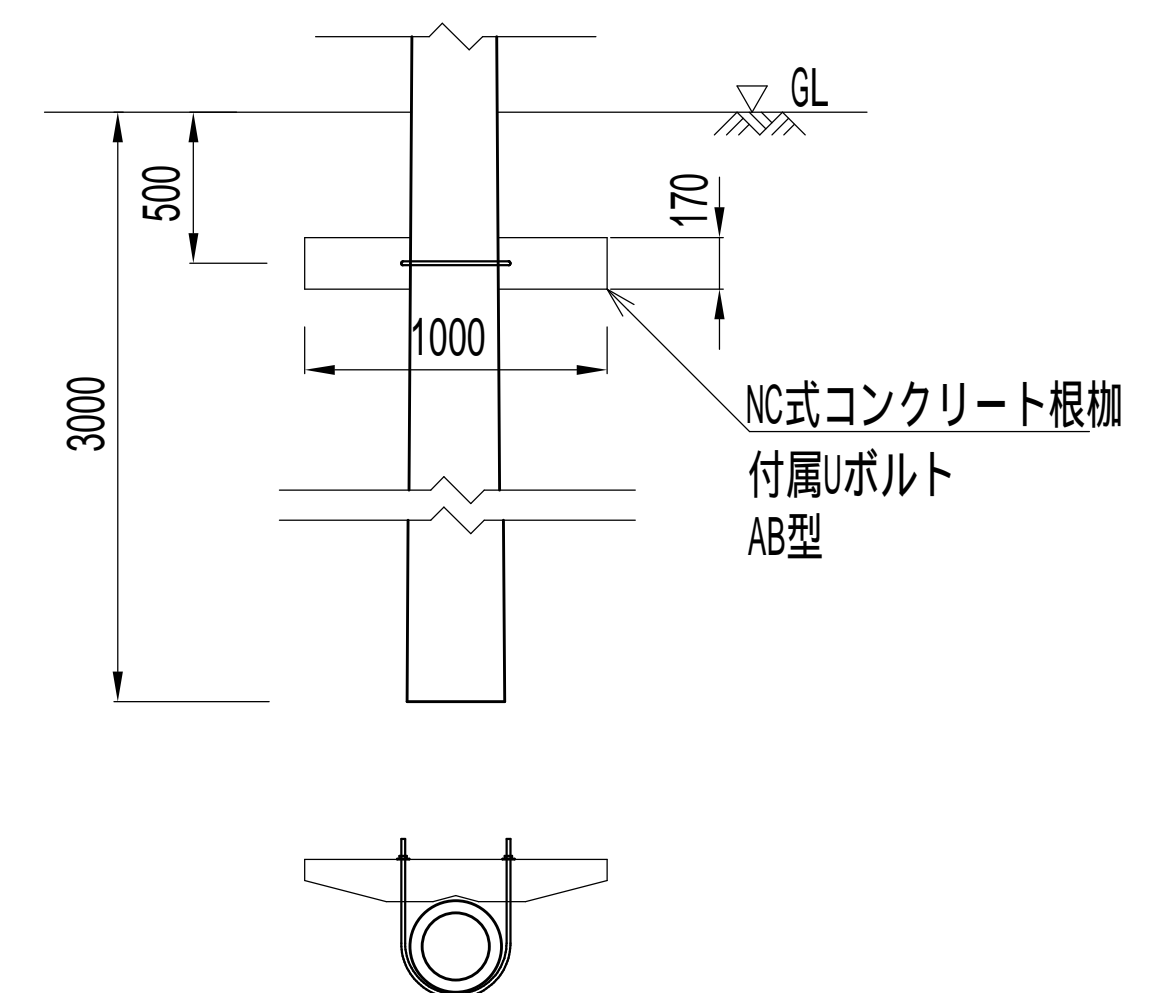
防球ネット正面図 (S=1/100)



防球ネット側面図 (S=1/100)



ネット取付詳細図



基礎詳細図 (S=1/50)

設計条件

風圧荷重：建築基準法施行令第87条の規程に基づき風圧力を算出
基準風速：30m/s
地表面粗度区分：
基礎条件：右表配電規程で区分する土質種別（A～D）のうち、土質（C）を選定

土質の判定方法および種別表（「配電規程」（社）日本電気協会より）

土質の種別		
普通土質	A	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで硬い土の部類に属するもの
	B	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで柔らかい土の部類に属するもの
軟弱土質	C	流砂（土が混じらないもの）
	D	水分の多い粘土、腐植土、盛土など軟弱な土（深田を除く）

参考：土質種別とN値との関係について（「有線・無線通信工事共通仕様書」（財）防衛調達基盤整備協会より）

土質の判定				土質種別	代表的な地目 (参考)
砂質土	N値	粘性土	N値		
ハンマーで強くたたかなければ測量杭が打ち込めない	30～60	親指で凹ませられるが貫入できない	8～15	A 比較的堅い土	道路、グラウンド等
ハンマーで容易に測量杭が打ち込める	10～30	親指で強く押せば貫入する	4～8	B 普通の土	宅地、畑、道路法敷等
両手で努力すれば測量杭が貫入する	4～10	親指が容易に貫入する	2～4	③ 比較的柔らかい土	水田、海岸、河川敷(砂)等
片手で容易に測量杭が打ち込める	4以下	にぎりこぶしが容易に貫入する	2以下	D 軟弱な土	泥炭湿田等 (深田、沼田を除く)

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

防球ネット詳細図(NO. 2 ~ NO. 3)

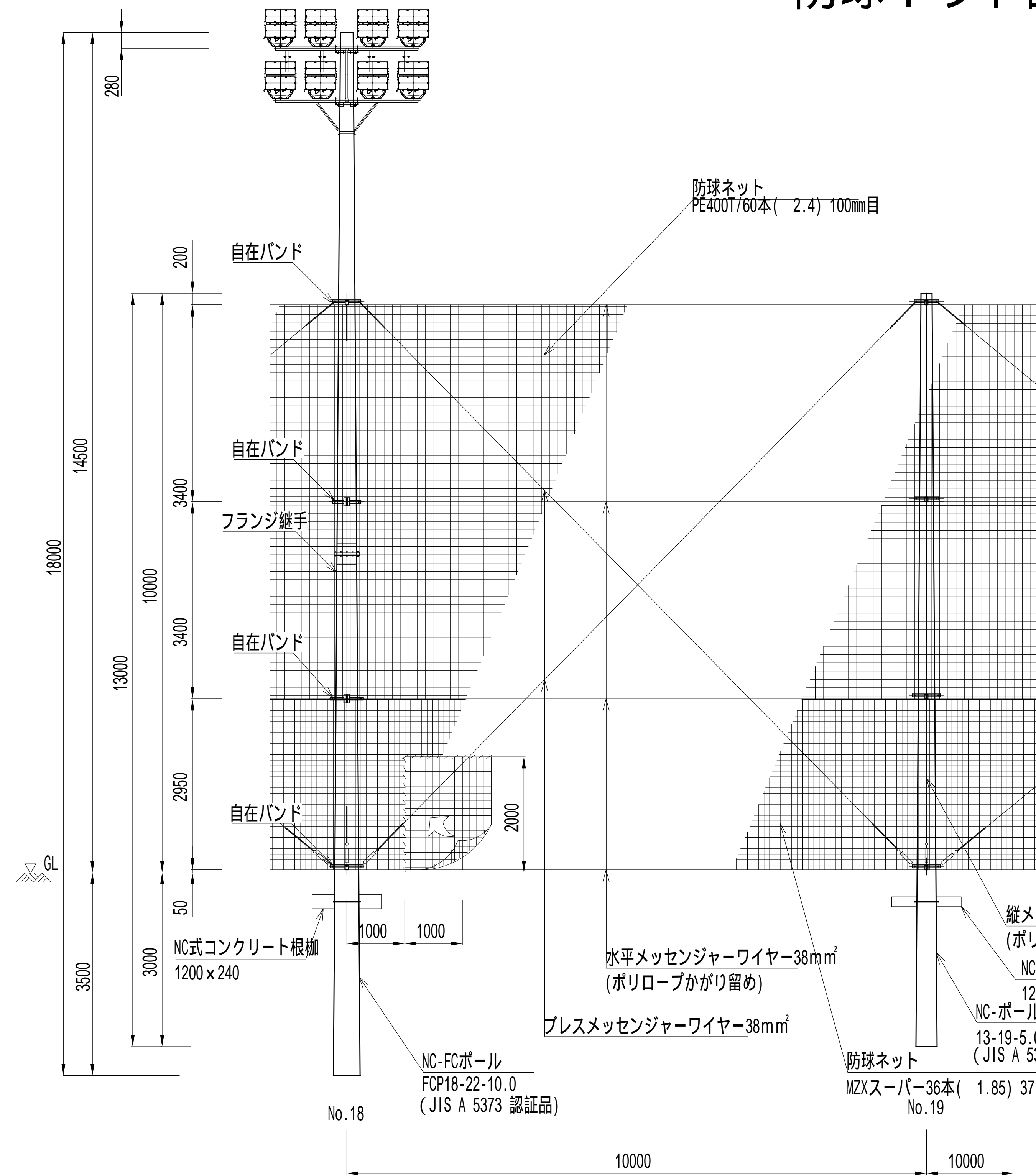
CHECKED BY

株式会社 白兔設計事務所

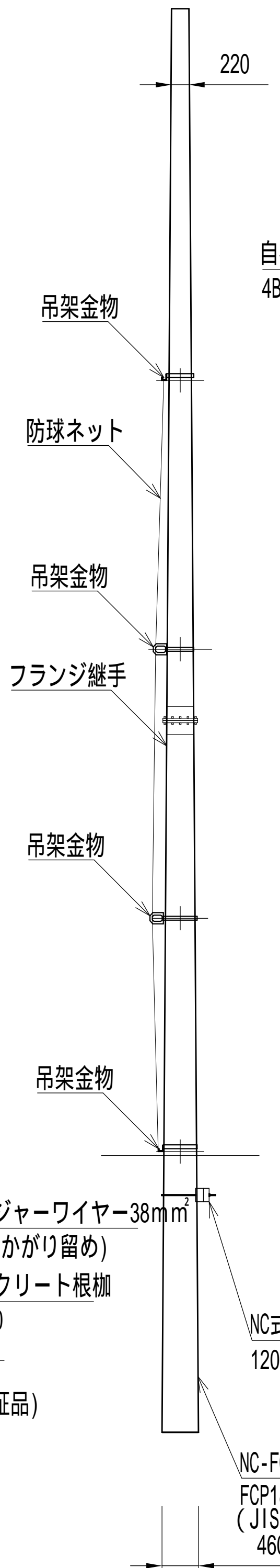
鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士(一級建築士登録番号 318668) 田中 一義

PROJECT NO.	DATE	DRAWING BY
2023K — 10	2024.3	一級建築士登録番号 第318668号
DRAWING NO.	SCALE	田中 一義
A — 05	A1 : S=1/50 A3 : S=1/100	

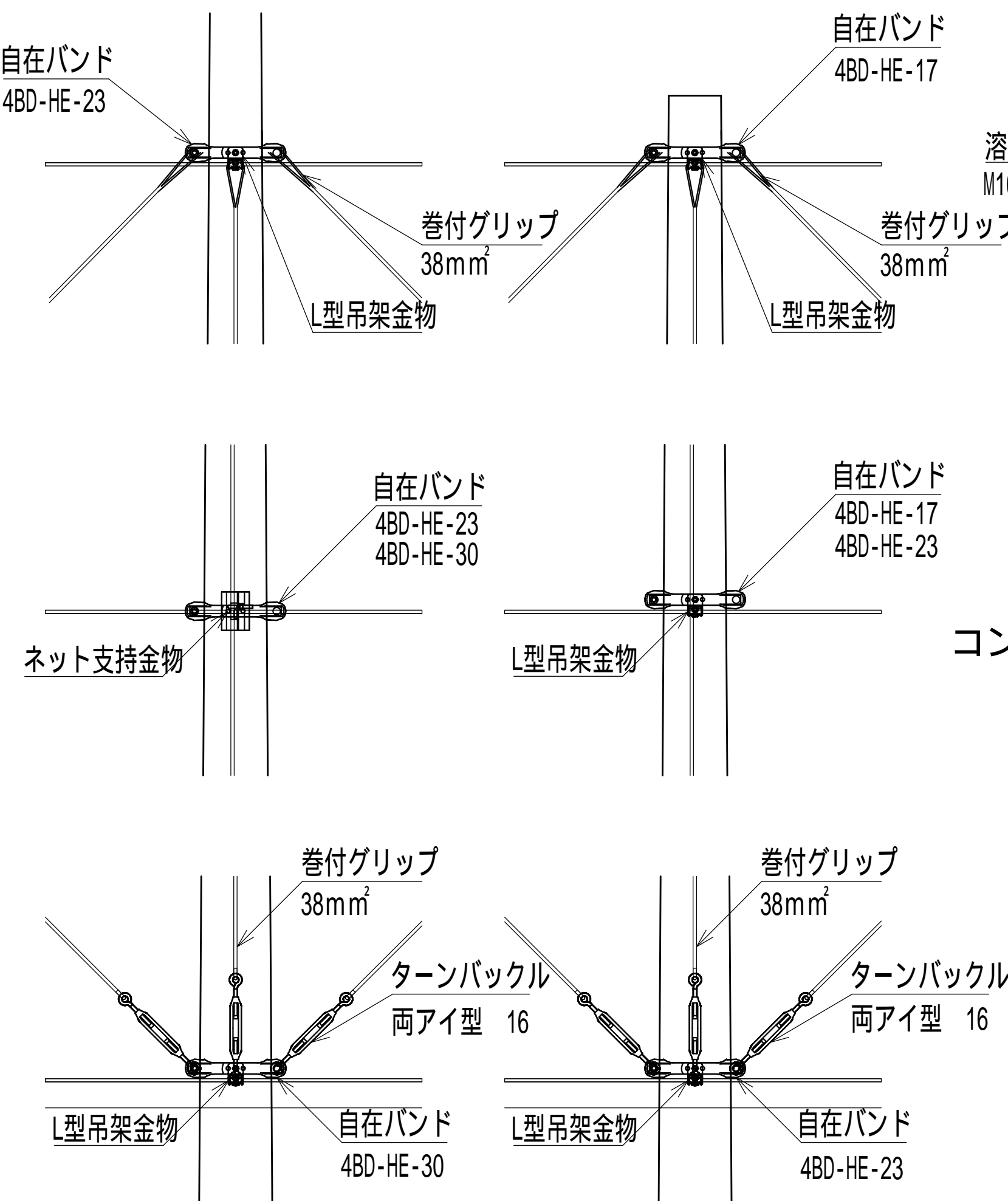
防球ネット詳細図 (NO.18～NO.19)



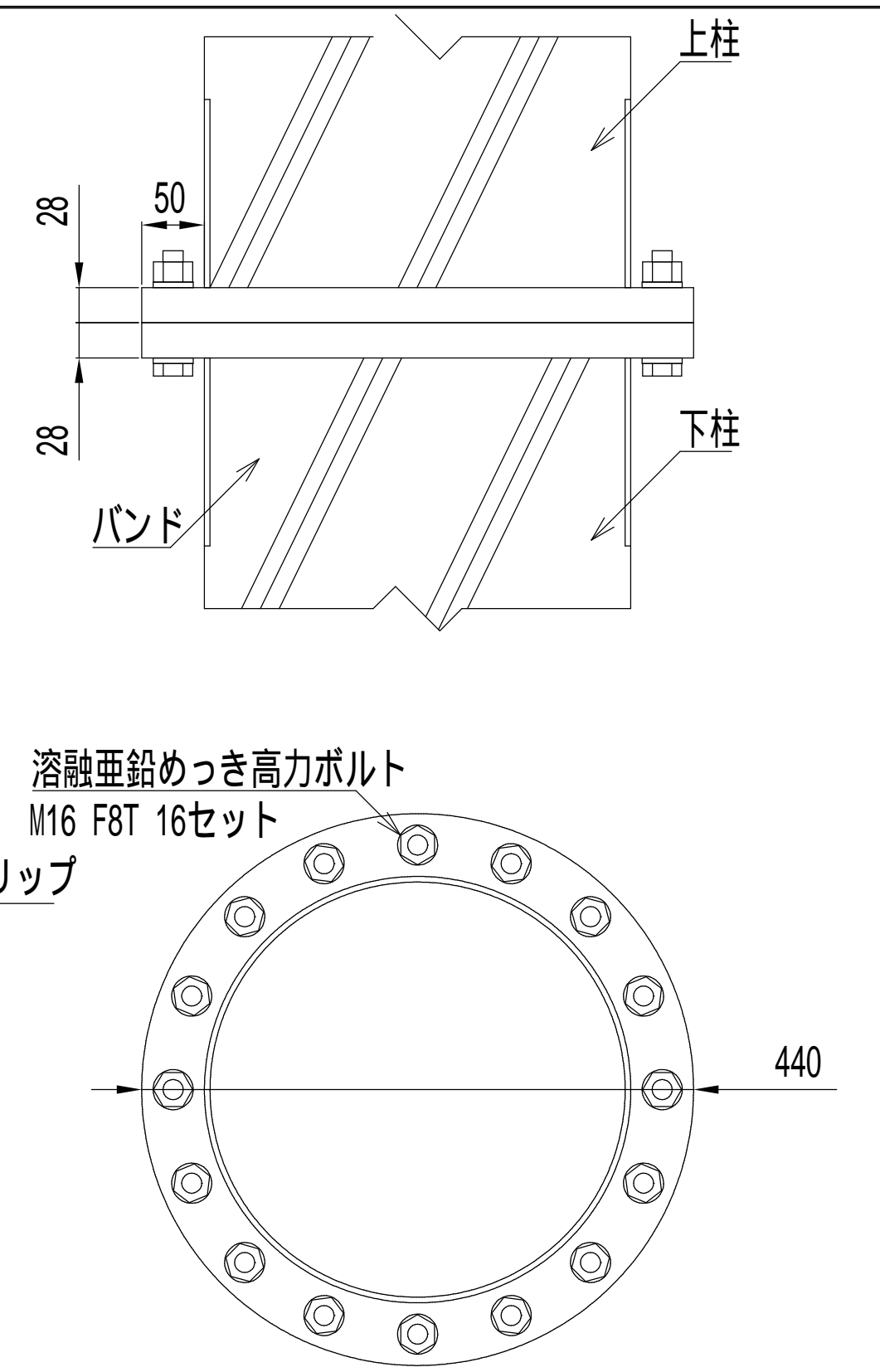
防球ネット正面図 (S=1/100)



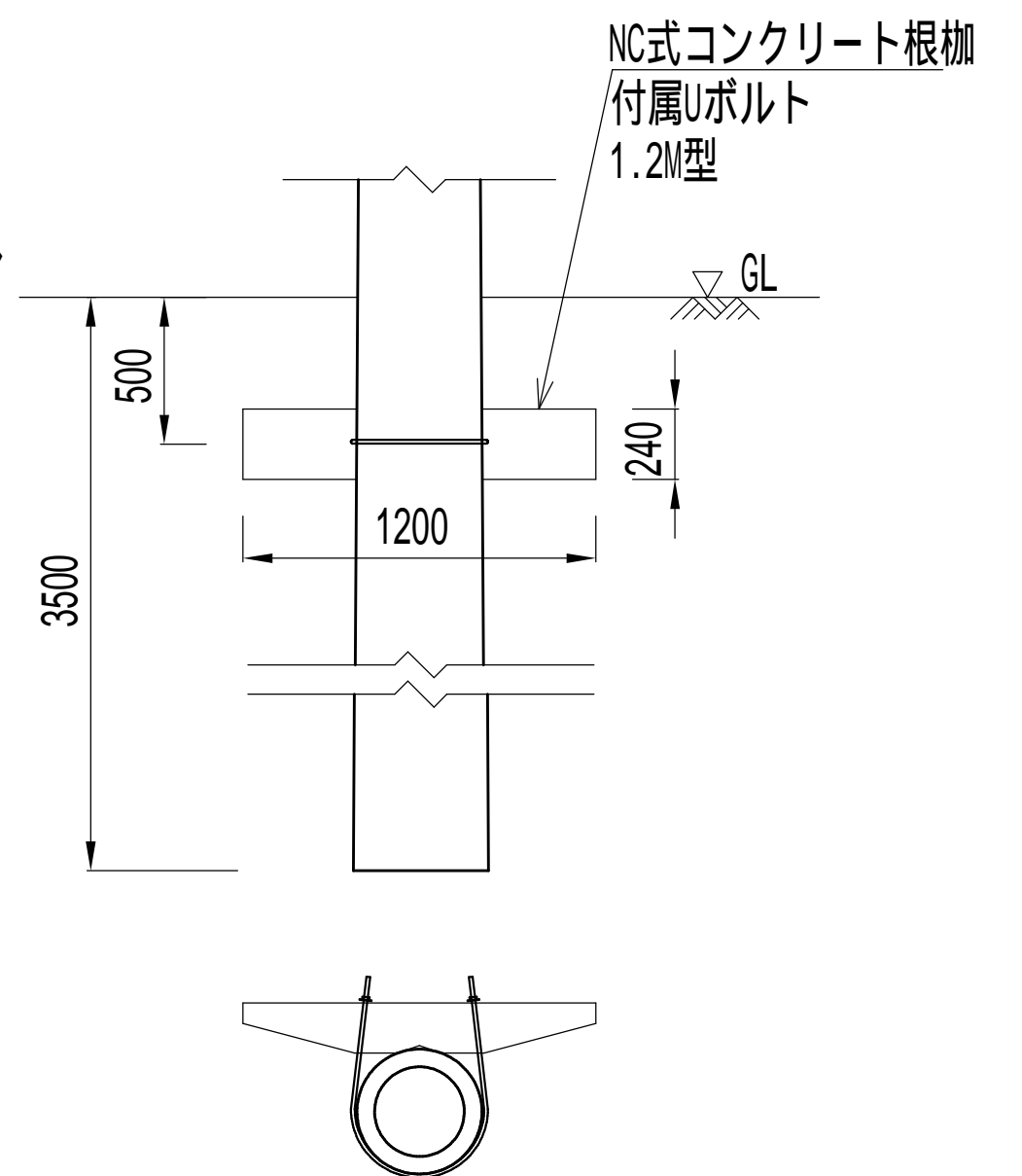
防球ネット側面図 (S=1/100)



ネット取付詳細図



コンクリートポールフランジ部 詳細図
(S=1/10)



基礎詳細図 (S=1/50)

土質の判定方法および種別表（「配電規程」（社）日本電気協会より）

参考：土質種別とN値との関係について（「有線・無線通信工事共通仕様書」（財）防衛調達基盤整備協会より）

土質の種別		
普通土質	A	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで硬い土の部類に属するもの
	B	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで柔らかい土の部類に属するもの
軟弱土質	C	流砂（土が混じらないもの）
	D	水分の多い粘土、腐植土、盛土など軟弱な土（深田をくく）

土質の判定				土質種別		代表的な地目 (参考)
砂質土	N値	粘性土	N値			
ハンマーで強くたたかなければ測量杭が打ち込めない	30～60	親指で凹ませられるが貫入できない	8～15	A	比較的 強い土	道路、 グランド等
ハンマーで容易に測量杭が打ち込める	10～30	親指で強く押せば貫入する	4～8	B	普通の土	宅地、畑、 道路法敷等
両手で努力すれば測量杭が貫入する	4～10	親指が容易に貫入する	2～4	C	比較的 柔らかい土	水田、海岸、 河川敷(砂)等
片手で容易に測量杭が打ち込める	4以下	にぎりこぶしが容易に貫入する	2以下	D	軟弱な土	泥炭湿田等 (深田、沼田を除く)

設計条件

風圧荷重：建築基準法施行令第87条の規程に基づき風圧力を算出

基準風速：30m/s

地表面粗度区分：

基礎条件：右表配電規程で区分する土質種別（A～D）のうち、土質（C）を選定

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

防球ネット詳細図(NO. 18 ~ NO. 19)

CHECKED BY

株式会社

式社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第06-820

管理建築士（一級建築士登録番号 318668） 田中 一義

PROJECT NO.	
-------------	--

2023K — 10	
------------	--

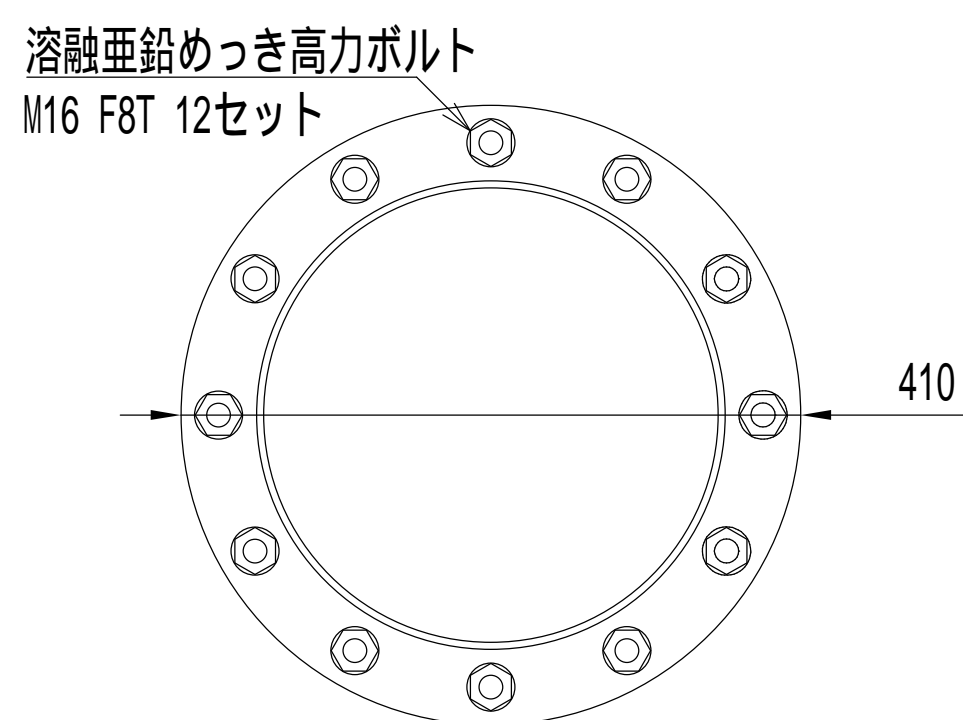
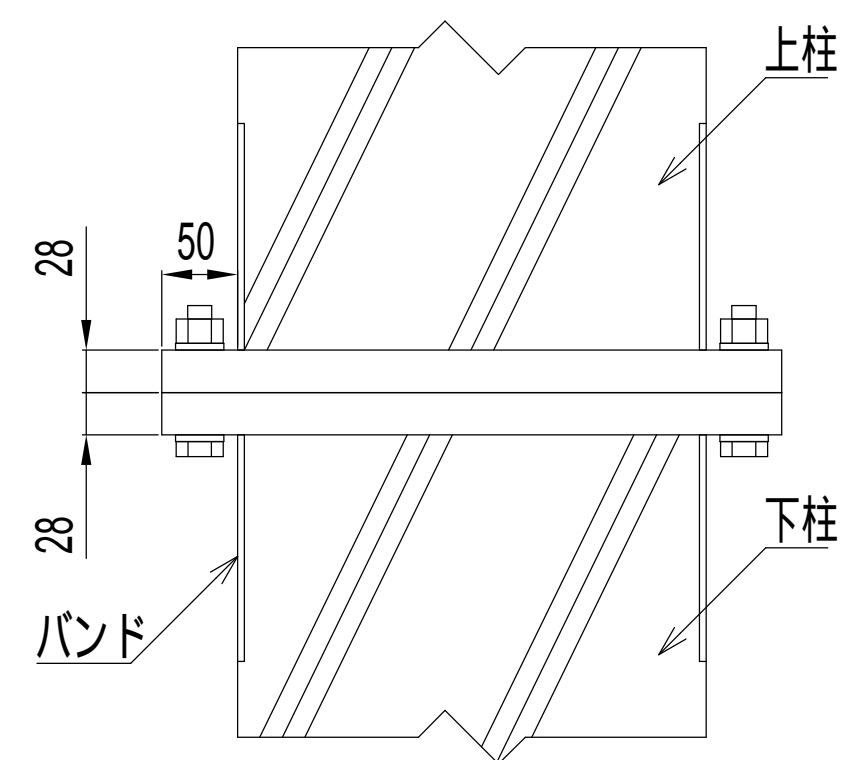
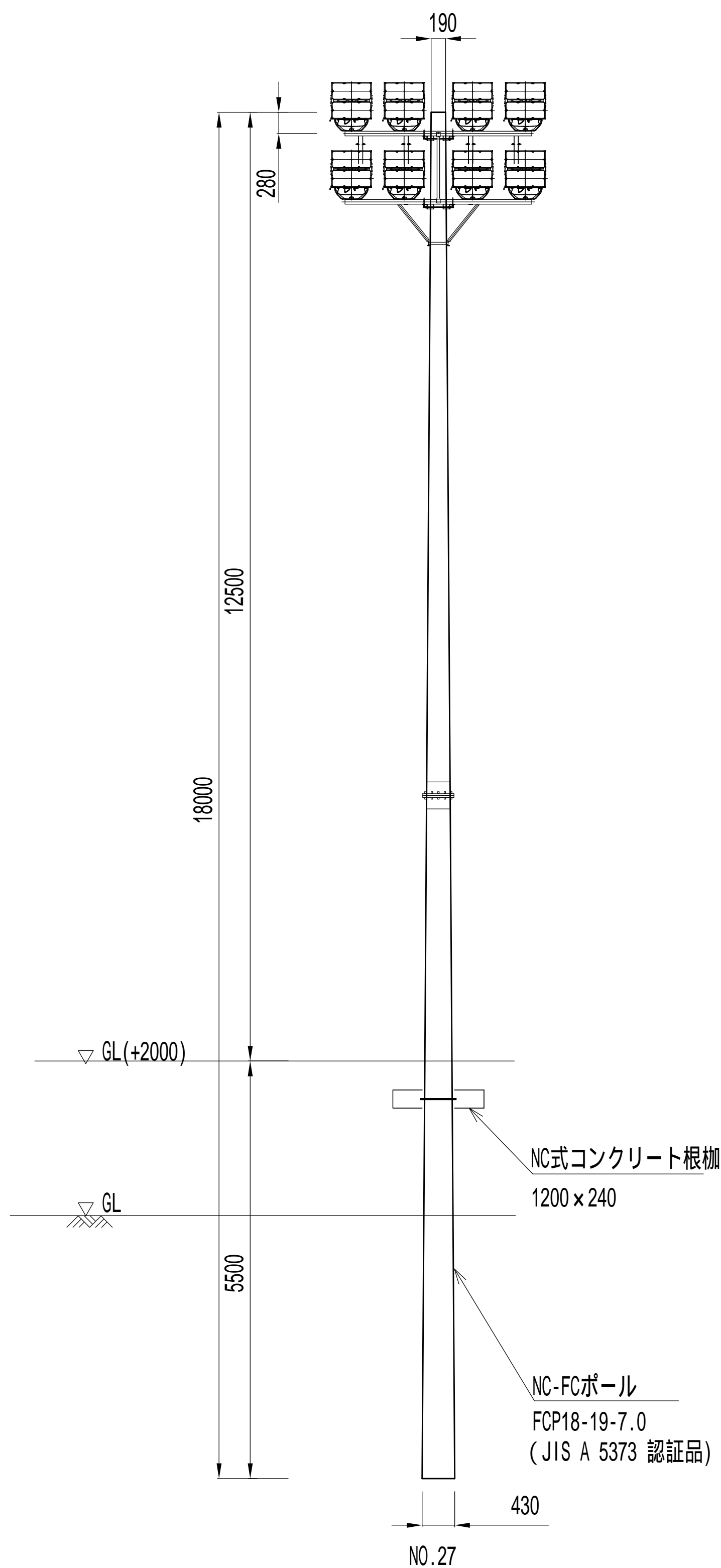
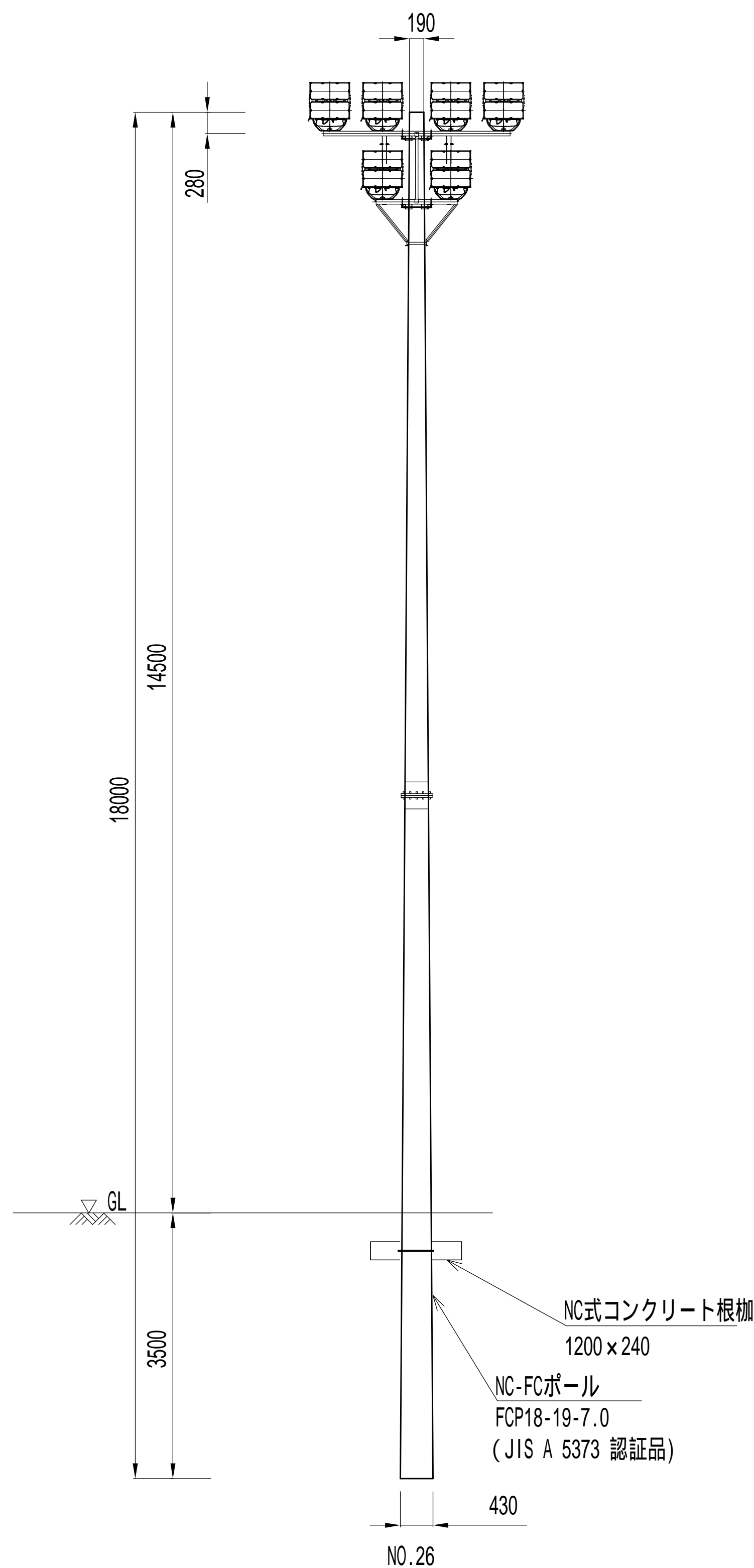
DRAWING NO.	SCALE
	1:1

DRAWING . BY

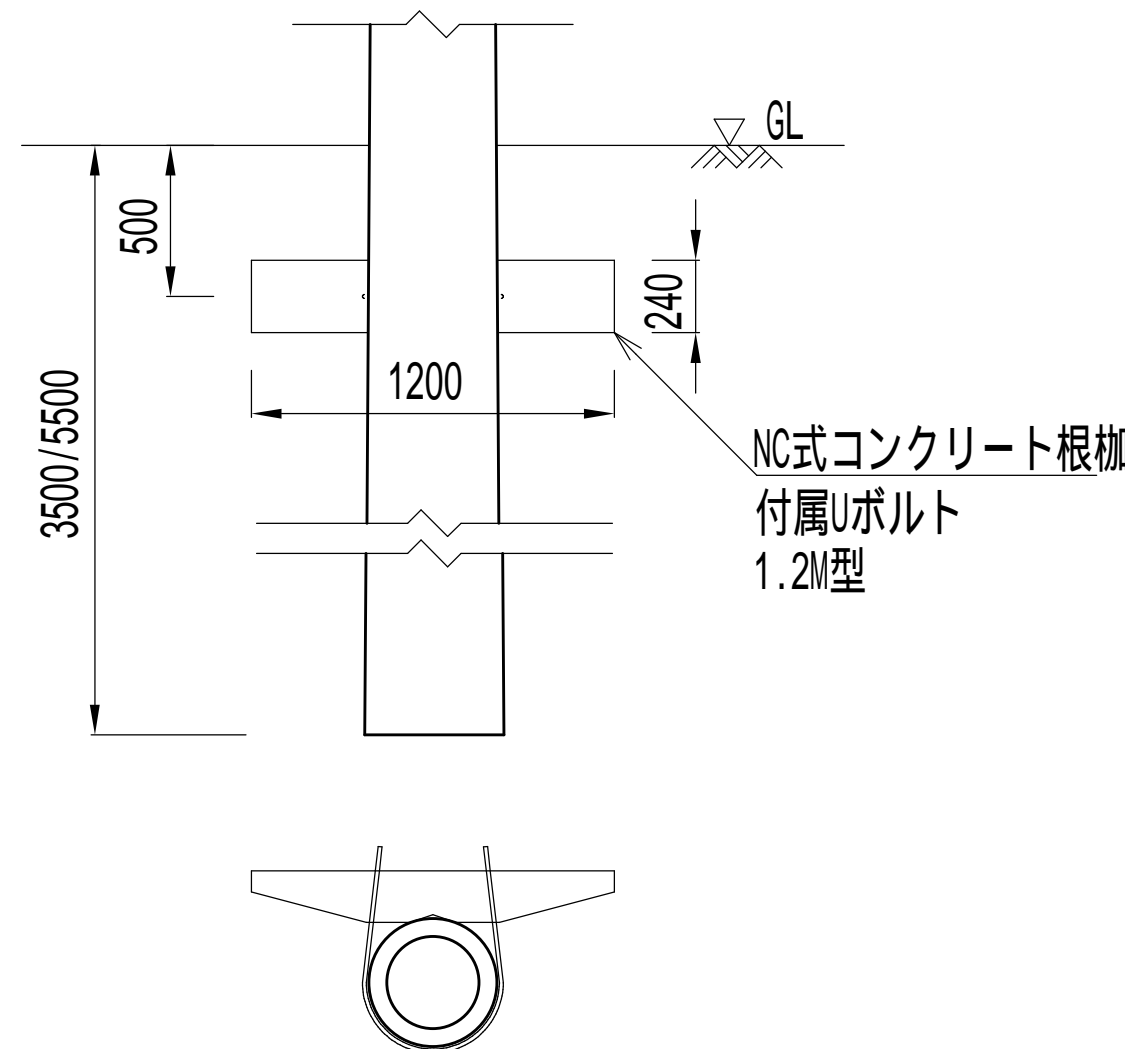
一級建築士登録番号

第318668号

照明柱詳細図 (NO.26 / NO.27)



コンクリートポールフランジ部 詳細図 (S=1/10)



基礎詳細図 (S=1/50)

設計条件
風圧荷重：建築基準法施行令第87条の規程に基づき風圧力を算出
基準風速：30m/s
地表面粗度区分：
基礎条件：右表配電規程で区分する土質種別（A～D）のうち、土質（C）を選定

土質の判定方法および種別表（「配電規程」？日本電気協会より）

土質の種別			
普通土質	A	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで硬い土の部類に属するもの	
	B	固まっている土又は砂、多数の砂利、石塊まじりの土などで柔らかい土の部類に属するもの	
軟弱土質	C	流砂（土が混じらないもの）	
	D	水分の多い粘土、腐植土、盛土など軟弱な土（深田を除く）	

参考：土質種別とN値との関係について（「有線・無線通信工事共通仕様書」？防衛調達基盤整備協会より）

土質の判定				土質種別		代表的な地目（参考）
砂質土	N値	粘性土	N値			
ハンマーで強くたたかなければ測量杭が打ち込めない	30～60	親指で凹ませられるが貫入できない	8～15	A	比較的堅い土	道路、グラウンド等
ハンマーで容易に測量杭が打ち込める	10～30	親指で強く押せば貫入する	4～8	B	普通の土	宅地、畑、道路法敷等
両手で努力すれば測量杭が貫入する	4～10	親指が容易に貫入する	2～4	C	比較的柔らかい土	水田、海岸、河川敷（砂）等
片手で容易に測量杭が打ち込める	4以下	にぎりこぶしが容易に貫入する	2以下	D	軟弱な土	泥炭湿田等（深田、沼田を除く）

東伯総合運動公園サッカー場夜間照明等新設工事

防球ネット詳細図（NO.26 / NO.27）

CHECKED BY

株式会社 白兔設計事務所

鳥取県知事 登録番号 第06-820
管理建築士（一級建築士登録番号 318668） 田中 一義

PROJECT NO.	DATE	DRAWING BY
2023K-10	2024.3	一級建築士登録番号 第318668号 田中 一義
DRAWING NO.	SCALE	
A-07	A1: S=1/50 A3: S=1/100	